

2019 年度

— 藤田医科大学 学生生活・学修実態調査 —  
医療科学部 報告書



藤田医科大学 I R 推進センター  
医療科学部・保健衛生学部 I R 分室

2019年 11月 26日

# 藤田医科大学 I R 推進センター

## 医療科学部・保健衛生学部 I R 分室の分析報告

### 2019 年度 藤田医科大学 学生生活・学修実態調査

#### 医療科学部 報告書

1. 学生生活・学修実態調査の方法
  1. 1. 調査対象と方法
  1. 2. アンケート調査項目
2. 学生生活・学修実態調査結果報告の分析
  2. 1. 学生生活・学修実態調査報告の総括及び考察
  2. 2. 学生生活・学修実態調査報告の全データ分析
3. 自由記載の分析
  3. 1. 臨床検査学科
  3. 2. 放射線学科
  3. 3. 臨床工学科
  3. 4. 医療経営情報学科

## 「2019年度 藤田医科大学 学生生活・学修実態調査」の実施について

この調査は、医療職を目指している本学の学生の皆さんとの日常生活の状況や学修状況について、学部又は学科ごとに選定した学年の方々に実施するものです。調査の目的は、皆さんのが将来、医療職の professional になるための基礎づくりとして、学生生活や学修状況等について約 50 項目の設問により実態を把握し、本学のカリキュラム等教育に関する問題を検討する資料とするものです。また、設問の終盤では、本学の教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）及び学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）のほか、建学の理念やポリシーについても、学生の皆さんから率直なご意見を頂きたく思います。

本調査への参加は強制ではありません。また、参加・不参加は成績等の評価に影響することもありません。しかし、出来る限り多くの意見を頂きたいと思っています。入力いただいた回答並びにご意見等は、本調査の目的以外に使用することはありませんので、皆さんのご協力をお願ひいたします。

2019年7月

藤田医科大学  
学長 才藤栄一

## 「2019年度 藤田医科大学 学生生活・学修実態調査」医療科学部の分析について

本学の教育目標を達成するため、教育及び学生支援に関する諸データの統合分析と情報提供等を行い、本学の教育活動の充実発展に寄与することを目的として、藤田医科大学 I R (Institutional Research)推進センターが設置されています。今回、下部組織の医療科学部・保健衛生学部 I R 分室では、I R 推進センターが実施した 2019 年度学生生活・学修実態調査における医療科学部学生のアンケート回答を集計・分析した結果を報告いたします。

2019年11月26日

2019年度 藤田医科大学 I R 推進センター 医療科学部・保健衛生学部 I R 分室  
山田晃司、鈴木康司、世古留美、寺本篤司、大塚 圭、日比谷 信、武藤晃一、  
近藤宏美

# 1. 学生生活・学修実態調査の方法

## 1. 1. 調査対象と方法

本アンケート調査の目的は、学生が医療職の professional になるための基礎づくりとして、学生生活や学修状況等について設問し実態を把握することで、本学のカリキュラム等教育に関する問題を検討する資料とするものである。本学の教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）および学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）のほか、建学の理念やポリシーについても調査する。

本調査の対象は 2019 年度の医学部、医療科学部、保健衛生学部、看護専門学校の全 2 年生、全 4 年生（医療経営情報学科のみ 3 年生）である。学生の調査への参加は任意とし、e ラーニングシステムである Moodle のフィードバック機能を利用して調査を実施した。図 1 に学生へのアンケート回答方法についての通知を掲載する。

本調査報告書における分析対象は、医療科学部の臨床検査学科 2 年生・4 年生、放射線学科 2 年生・4 年生、臨床工学科 2 年生・4 年生、医療経営情報学科 2 年生・3 年生である。

**学生生活・学修実態調査（アンケート）の回答方法**

学生生活・学修実態調査（アンケート）は匿名で実施され、誰がどんな回答をしたかはわかりません。率直に回答ください。なお、アンケートサイトへのログイン、回答の送信完了については記録されます。

**1. アンケートサイトにアクセスし、ログインする。**

1-(1) 学内外のインターネットに接続されているスマートフォン、タブレット端末、パソコンで、ブラウザを起動し、<https://lms01.med.fujita-hu.ac.jp/moodle> にアクセスします。

1-(2) 画面右上、または、下の[ログイン]をクリックします。

1-(3) ログイン画面が表示されます。ユーザ名、パスワードとともに学籍番号を入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

**2. アンケートに回答する**

2-(1) 表示されるコース（所属の学部、学科、または、学校名）をクリックします。

2-(2) フィードバックアイコンがついた、学生生活・学修実態調査をクリックします。

2-(3) 「質問に回答する...」をクリックします。  
(アンケートを中断した場合は「質問への回答を続ける ...」と表示)

**【注意事項】**

※ アンケートは【基本属性】から 9 項目あります。  
※ 設問に「\*」がついているものは必須項目です。  
※ 回答数を指定している設問があります。設問文をよく読み、回答してください。

**1. 回答を送信する**

3-(1) 最後の設問の下に、図のようなボタンが表示されます。  
全部の設問に回答できましたら、[あなたの回答を送信する]ボタンをクリックします。

3-(2) 回答が問題なく送信されましたら、図のようなメッセージ画面が表示されます。

**2. アンケート完了の確認**

4-(1) 画面左上部のダッシュボードをクリックし、最初の画面に戻ります。

4-(2) 完了している場合は、画面右部にバッジが表示されます。これでアンケート完了です。  
ご協力ありがとうございました。

図 1. 学生へのアンケート回答方法の通知

## 1. 2. アンケート調査項目

Moodle で実施したアンケート調査の項目を表 1 に示す。

表1. 2019年度学生生活・学修実態調査 アンケート調査項目

### 【基本属性】

(A-01) どこの学部・学科に所属していますか。

- 1. 医学部医学科
- 2. 医療科学部臨床検査学科
- 3. 医療科学部看護学科
- 4. 医療科学部放射線学科
- 5. 医療科学部リハビリテーション学科 理学療法専攻
- 6. 医療科学部リハビリテーション学科 作業療法専攻
- 7. 医療科学部臨床工学科
- 8. 医療科学部医療経営情報学科
- 9. 看護専門学校

(A-02) 何学年ですか。

- 1. 1年生
- 2. 2年生
- 3. 3年生
- 4. 4年生
- 5. 5年生
- 6. 6年生

(A-03) 本年度（今年3月31日時点）の満年齢を教えてください。

[ ] 歳

(A-04) 性別は

- 1. 男
- 2. 女

### ＜大学全体について＞（または看護専門学校について）

(1) 大学（または看護専門学校）へはどのような選抜方法で入学しましたか。

- 1. 推薦入試
- 2. 一般入試
- 3. センター試験利用（大学のみ）
- 4. その他（具体的に記述してください）

(2) 希望の大学（または看護専門学校）へ入学できましたか。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. どちらでもない

(3) 授業の出席状況について、当てはまるものを1つ選んでください。

- 1. よく出席する（出席率98%以上）
- 2. 出席する方である（出席率90%以上）
- 3. どちらともいえない（出席率80%程度）
- 4. あまり出席しない（出席率70%程度）
- 5. ほとんど出席しない（無資格科目が散見）

(4) 大学（または看護専門学校）の学修面は充実していますか。

- 1. 充実している
- 2. まあまあ充実している
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり充実していない
- 5. 全く充実していない

(5) 大学（または看護専門学校）のクラブ活動や学外での活動などは充実していますか。

- 1. 充実している
- 2. まあまあ充実している
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり充実していない
- 5. 全く充実していない

(6) 大学（または看護専門学校）の学生生活は、総合的にみて満足していますか。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. どちらともいえない

### ＜通学について＞

(7) どこから通学していますか。

- 1. 自宅から通学
- 2. 自宅外（下宿）から通学
- 3. その他（具体的に記述してください）

(8) どのように大学（または看護専門学校）まで通っていますか。（複数選択可）

- 1. 公共交通機関（バス・電車等）
- 2. 自転車
- 3. バイク
- 4. 車
- 5. 徒歩
- 6. その他（「自動車での送り迎え」など具体的に記述してください）

(9) 通学（片道）に何時間くらいかかりますか。

- 1. 30分未満
- 2. 30分～1時間未満
- 3. 1～1時間30分未満
- 4. 1時間30分～2時間未満
- 5. 2時間以上

#### ＜経済面について＞

(10) 趣味や娯楽等に1か月間でいくらぐらい費やしますか。

- 1. 1万円未満
- 2. 1～2万円未満
- 3. 2～3万円未満
- 4. 3～4万円未満
- 5. 4～5万円未満
- 6. 5～10万円未満
- 7. 10万円以上

(11) 奨学金を受けていますか。（複数回答可）

- 1. 受けていない
- 2. 日本学生支援機構の奨学金を受けている
- 3. 地方公共団体の奨学金を受けている
- 4. 民間育英団体等の奨学金を受けている
- 5. その他の奨学金（具体的に記述してください）

#### ＜アルバイトについて＞

(12) 現在、アルバイトをしていますか。アルバイトをしている人は、アルバイトの主な目的は何ですか。

（「ある」と回答した場合は最も多い理由を2～8から1つ選んでください）

ない→1. していない（したことがない）

- ある→2学費を得るため
- 3. 生活費・教養費を得るため
- 4. クラブ活動費を得るため
- 5. 旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため
- 6. 耐久消費財（電化用品、家具など）を購入するため
- 7. 貯金をするため
- 8. その他（具体的に記述して下さい）

(13) 1週間に何日、アルバイトしますか。

※注：(12) で「ある」を回答した人への設問（2～8を選択した人のみ回答）

- 1. ごくたまに
- 2. 1～2日
- 3. 3～4日
- 4. 4～5日
- 5. 5～6日
- 6. 7日（毎日）

(14) 1日あたり何時間くらい、アルバイトしますか。

※注：(12) で「ある」を回答した人への設問（2～8を選択した人のみ回答）

- 1. 2時間未満
- 2. 2～3時間未満
- 3. 3～4時間未満
- 4. 5～6時間未満
- 5. 6時間以上

(15) アルバイトの主な職種は何ですか。

- 1. フード・飲食
- 2. 各種販売
- 3. アミューズメント
- 4. 事務・デスクワーク
- 5. 警備・清掃・土木・建築
- 6. 製造系作業員
- 7. 医療・介護・福祉
- 8. 教育（家庭教師・塾講師等）
- 9. その他（具体的に記述してください）

#### ＜クラブ活動/ボランティア活動等について＞

(16) 現在、クラブ活動に参加していますか。

- 1. はい、1つのクラブ活動に参加しています。
- 2. はい、2つ以上のクラブ活動に参加しています。
- 3. いいえ、参加していません。

(17) クラブ活動に参加している人は、きっかけや理由を3つまで選んでください。

※注：(16) で「はい」と回答した人への設問（1、2を選択した人のみ回答）

1. 活動内容が好きまたは興味がある
2. 教養・知識、技術の向上
3. 健康のため
4. 友人を得るため
5. 交友関係を広げるため
6. 免許・資格取得のため
7. 社会貢献
8. 誘われて何となく
9. その他（具体的に記述してください）

(18) クラブ活動に参加しない理由を3つまで選んでください。

※注：(16) で「いいえ」と回答した人への設問（3を選択した人のみ回答）

1. 勉学の妨げになる
2. 健康上の理由
3. 自分の関心に合うものがない
4. アルバイトや通学等で時間がない
5. 拘束されたくない
6. 経済的な負担が大きい
7. 対人関係が面倒
8. 練習が苦痛
9. 活動を行う施設・設備がない
10. 特に理由はない
11. その他（具体的に記述してください）

(19) 現在、ボランティア活動（学内美化、社会奉仕、親切運動、福祉活動等の無償奉仕）をしていますか。

1. 定期的に参加している。
2. 不定期（ときどき）だが、参加している。
3. 以前は参加していたが、現在はしていない。
4. 参加したことがない。
5. 参加したいが、時間や機会がない。

#### ＜学修及び学校生活について＞

(20) 1日の平均予習時間は何時間ですか。

1. ほとんどなし
2. 1時間未満
3. 1～2時間未満
4. 2～3時間未満
5. 3～4時間未満
6. 4時間以上

(21) 1日の平均復習時間（課題、レポート等の作成時間を含む）は何時間ですか。

1. ほとんどなし
2. 1時間未満
3. 1～2時間未満
4. 2～3時間未満
5. 3～4時間未満
6. 4時間以上

(22) どこで自主学修することが多いですか。

1. 自宅
2. 友人宅
3. 教室
4. 研究室
5. 学生ホール・オープンスペース
6. 学生食堂
7. 図書館
8. PC室
9. 学外の飲食店
10. その他（具体的に記述してください）

(23) 自主学修をどのようにしますか。よく行う方法を3つ（必須）選んでください。

1. 自分のノートを中心に学修
2. 講義用教材を中心に学修
3. 教科書・参考書を中心に学修
4. 同級生、先輩が作成した資料を中心に学修
5. 視聴覚材料を利用
6. eラーニングを利用
7. インターネット検索を利用
8. SNSを利用
9. その他（具体的に記述してください）

(24) 誰と学修することが多いですか。

1. 自分一人で
2. 友人と一緒に
3. 教員と一緒に
4. その他（具体的に記述してください）

(25) 講義・実習には満足していますか。

1. 満足している
2. まあまあ満足している
3. やや不満である
4. 不満である

(26) 教育や制度に関して、整備・充実してほしいものを3つ（必須）選んでください。

1. カリキュラム
2. 授業・試験・成績などの教務情報
3. 資格取得講座（対策授業）
4. 就職支援・進路相談
5. 奨学金制度の新設や増額
6. 留学制度・海外研修プログラム
7. 他学・海外との交流
8. クラブ活動・ボランティア活動支援
9. 学生自治活動（学友会）支援
10. その他（具体的に記述してください）

(27) キャンパス内の施設・設備について、整備・充実してほしいものを3つまで、選んでください。

- 1. 教室・実習室 2. 図書館 3. PC 教室など情報系教室 4. インターネット環境
- 5. 体育館等スポーツ施設 6. クラブ活動の設備・施設 7. 食堂 8. 駐輪場 9. 駐車場
- 10. 学生ホール・ラウンジ 11. その他（具体的に記述してください）

#### ＜健康について＞

(28) 平均睡眠時間はどれくらいですか。

- 1. 4時間未満 2. 4～5時間未満 3. 5～6時間未満 4. 6～7時間未満 5. 7～8時間未満
- 6. 8～9時間未満 7. 9～10時間未満 8. 10時間以上

(29-1) 朝食はどのようにとっていますか。

- 1. 自宅・下宿での自炊 2. 持参したおにぎりや弁当 3. 学内の食堂 4. 学外の飲食店等
- 5. コンビニやファーストフード等で弁当などを購入 6. ほとんど食べない
- 7. その他（具体的に記述してください）

(29-2) 昼食はどのようにとっていますか。

- 1. 自宅・下宿での自炊 2. 持参したおにぎりや弁当 3. 学内の食堂 4. 学外の飲食店等
- 5. コンビニやファーストフード等で弁当などを購入 6. ほとんど食べない
- 7. その他（具体的に記述してください）

(29-3) 夕食はどのようにとっていますか。

- 1. 自宅・下宿での自炊 2. 持参したおにぎりや弁当 3. 学内の食堂 4. 学外の飲食店等
- 5. コンビニやファーストフード等で弁当などを購入 6. ほとんど食べない
- 7. その他（具体的に記述してください）

#### ＜その他悩み事＞

(30) 現在、悩んでいることを3つまで選んでください。

- 1. 金銭面 2. 学修面 3. クラブ関係 4. 健康上の問題 5. 性格や能力について
- 6. 就職・将来の進路 7. 友人関係 8. 異性問題 9. 性の問題 10. 家庭の問題
- 11. 特に悩んでいない 12. その他（具体的に記述してください）

(31) 学生生活上の悩みや不安、困ったときに相談し易いのはどなたですか（複数回答可）

- 1. 親 2. 兄弟 3. 同級生 4. 先輩・後輩 5. 学外の友人 6. 恋人 7. 教員
- 8. 職員 9. 保健室（カウンセラーを含む） 10. 相談する人がいない
- 11. その他（具体的に記述してください）

#### 【自由記載】

(1) 本学の教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）について何かご要望はありますか？

(2) 本学の学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）について何かご要望はありますか？

(3) 本学の建学の理念、ポリシー等について何かご意見をお持ちですか？

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

## 2. 学生生活・学修実態調査結果報告の分析

## 2. 1. 学生生活・学修実態調査報告の総括及び考察

学生生活と学修について、学部全体としては、学生の自己評価結果から充実度が比較的高いと判断された。一方で、細かく分析すると、改善に向けた様々な課題がみられた。以下、学科ごとに、分析結果を示す。臨床検査学科は「検査」、放射線学科は「放射」、臨床工学科は「臨工」、医療経営情報学科は「医経」と略す。

### ＜学生生活・学修実態調査 医療科学部4学科の総括＞

検査	<p>総合的にみて大学生活に満足している学生の割合は学部平均より若干低い傾向にあった。センター利用入試による入学者の増加から国公立大学を希望していた学生の満足度が低くなっている可能性はあるが、学修面で充実していると回答した学生の割合は高く、気持ちを切り替えて学んでいる学生が多いと推察する。アルバイトは、約5割の学生が週に1～2回と学業等に影響を与えないように心掛けている。自宅等での自主学修時間については予習より復習に時間を割く傾向にあった。試験成績の公表方式等や進路相談の整備が不十分と感じている学生が多いことが推察され、事務部やキャリア支援課等の関係部署と協力して改善すべき必要があると考える。現4年生からは以前のカリキュラムに比べ大幅に変更をし、以前のカリキュラムの問題点等の一部は改善してきたが、カリキュラムや時間割への不満は少なくない。講義や実習が多いことが根源となっていることから、医療系学科の特色や臨床検査学科のカリキュラム・ポリシー等を学生に対して十分な説明を行い、学生の理解を得るようにならなければならない。学修面における悩みを持っている学生が多いにもかかわらず、悩みがあっても教員等に相談する学生が少ないことが懸念された。授業で分からなかったことなどを教職員に気軽に相談できる体制作りも必要であると考えられる。図書館の利用やクラブ活動等を行う学生が他学科よりも多いが、施設面での満足度が低い傾向にあり、今後も学生生活がより良いものとなるよう具体的な改善策を検討していく必要がある。</p>
放射	<p>下宿をしている学生が他学科に比べ多いのが本学科の特色である。この特徴を活かして今後も全国から広く学生を募集する努力を続ける必要がある。</p> <p>入学した学生の約7割は高倍率な一般入試を合格しているが、本学を第一志望として受験し入学した学生は約6割である。学生のモチベーションを向上させ、本来持っている高い学力をさらに伸ばすための改善を行う必要がある。</p> <p>満足度が低い原因として、放射線学科棟（大学11号館）の立地が悪いことや、教室や実験設備の充実度で他大学・他学科に見劣りしていることなどが挙げられる。現在1・2年生は新しい大学3号館にて講義を受けているが、3・4年生は老朽化が進み立地の悪い大学11号館を利用する。11号館の改修、学園内の動線の改善、実験・研究設備の更新、事務手続きの利便性向上などが、本学科の取り組むべき喫緊の課題である。このあたりの改善は1年間でほとんど行われていなかったため悪化は続く。</p> <p>さらに、資格取得支援や就職支援に対しても不満を抱く学生が多い。学生の国家試験合格率を高レベルで維持し、本人の能力を活かせる職場に学生を送り込むことが医療系私立大学の使命である。今後はこれらの支援を手厚くしていく必要がある。</p>

臨工	<p>本学を志望し入学してきた学生の割合は8割に近かった。授業出席率は非常に高く、また、修学面の充実度および、学生生活の充実度は高かった。これらの結果から、大学生活に満足している学生の割合は約8割まで上昇しており、概ね良好と考えられる。自宅から通学する学生は自宅外（下宿など）から通学する学生の約2倍で、学生の半数が公共交通機関を利用していた。なお、通学に公共交通機関以外の自転車・バイク・自動車・徒歩の割合が高いことから、交通マナー、交通安全指導等の啓蒙活動の継続実施が必要である。趣味や娯楽は良識的な嗜好の学生が多いと考えられる。一方で、1ヶ月に10万円以上を掛ける学生がおり、生活に満足できていない様子が見受けられる。奨学金を受けている学生の割合は約4割で、その殆どは日本学生支援機構からの受給であった。アルバイトをしている学生の割合は約9割で、週に1-2日あるいは隔日がそれぞれ半数を占めた。授業後にアルバイトをしている場合には深夜に及ぶ場合があると予想できる。深夜に帰宅する行動が予想されることから防犯指導の継続実施が必須と考えられる。クラブ活動に参加している割合が85%と学部内では最も高く、その目的が活動内容が好きであったり、友好関係を持ちたいなどの前向きな考えを持つ学生割合が高かった。一方、参加していない学生は、自己の自由を優先する割合が多かった。ボランティア活動を経験した割合は約6割で、継続している学生割合が約4割であった。学修以外の社会活動へ積極的に参加しようとする意識傾向が高いと考えられる。予習より復習に力を入れている様子が窺え、個人学修を好む傾向がある。講義の満足度は9割を超えており、学習評価としての成績点数を求める学生が多い傾向を示している。教室・実習室や食堂の設備充実を求める割合が高いため、具体的な要望などを聴取していく取り組みが望まれる。睡眠時間は4～6時間の学生が約7割を占めていた。食事は3食摂取している学生割合は高く、概ね良好と考えられる。悩みとして「金銭面」、「学習面」、「就職・将来の進路」の割合が高かった。このような悩みを家族や同級生に相談しつつ大学生活をしている状況であることがわかった。これまで以上に学生のサポートが必要であると考える。</p>
医経	<p>総合的にみて、入試結果等より本学科の教育内容を十分に理解し将来の職業像を意識して入学してきた学生は他学科と比較してその比率は低く、学修のモチベーションも低くなり、結果として自己学修時間がもっとも短い状況となっていると考えられる。予習・復習に取組む時間の少なさは「自宅で一人」で勉強する状況からも予測できる。本学科の教育目的を理解し学修にモチベーションを持ってもらうためにも、友人同士で学内で学修する雰囲気作り、習慣化を促すことが重要であろう。</p> <p>自宅からの遠距離通学者の比率が高く、クラブ活動は平均的な参加度であるものの、多少の興味はもつともボランティア活動に参加する学生は少ない。放課後の時間は、アルバイトで費やす比率が高く、通学時間・クラブ活動・アルバイトで時間を取られるだけでなく、自宅には居ても学修以外のことに時間を費やし、睡眠時間が他学科と比べて短くなっている状況があると推察される。健康状況・経済状況は概ね平均的である。</p> <p>「学修面」で悩んでいる割合は平均的であるが、本人の自覚としては「特に悩んでいない」とする割合は平均より高く、漠然と不満はあるもののそれをいかに解消するかと悩む学生は少ない。これが学生の「危機感のなさ」につながっていると考えられる。漠然とした不安は「就職・将来の進路」についての悩みとなっており、本学科の学修の意味の理解が深まっていないことから、就職に直結すると学生が考える「資格取得講座（対策授業）の充実」について要望が高くなっている状況であろう。学生に対してカリキュラム・ポリシーの説明を十分に行うことで、本学科の教育に対する理解度を向上させる必要がある。</p>

## ＜大学全体についての考察＞

検査	<p>希望の大学であると回答した学生の割合が昨年度より低かった。この理由は、一般入試によって入学してきた学生が減少し、センター試験利用により入学した学生が増えていることから、高校時代に国公立を第一希望として目指していた等のためであると思われる。しかし、出席率 90%以上の学生は例年通り多く、学修面での学生生活が「充実している」または「まあまあ充実している」と回答した学生は 8 割を超えており、入学後は気持ちを切り替えて大学生活を送っている学生が多いと推察する。一方、クラブ活動や学外活動などが充実していると回答した学生の割合は約 6 割であった。設備の充実している講義棟で授業をおこなっていることが学修面での高い充実度の理由の 1 つであると考えるが、クラブ活動等に関しては、改善する余地があると思われる。総合的にみて大学生活に満足している学生の割合は、学部平均および昨年度の学科平均と比べると、若干低い傾向にあったものの、一昨年度とほぼ同じで割合であったことから誤差範囲と考えるが、上述のセンター利用入学者の増加による希望していなかった大学への入学とクラブ活動等の充実度の低さが影響している可能性は否めない。</p>
放射	<p>放射線学科は高倍率の一般入試で入学する学生が最も多い。一方、大学受験時に目指していた国公立大学等には入学できずに、藤田に来ている学生も多いと推測される。その結果、成績は優秀だがあまり現状に満足していない学生が一定数存在していることとなり、それは講義欠席数等の調査結果にも表れている。学生のモチベーションを向上させ、本来持っている高い学力をさらに伸ばすための改善を継続的に行う必要がある。</p>
臨工	<p>本学を志望し入学してきた学生割合は 8 割に近いものであった。授業を 90%以上の出席率の学生割合は 94.2% と非常に高く、また、修学面の充実度は約 80%、学生生活の充実度は約 80% と高かった。これらの結果から、大学生活に満足している学生の割合は約 76% まで上昇していた。さらに、満足していない学生の割合が他学科に比較し低い傾向が見られ、概ね良好と考えられる。</p>
医経	<p>本学科に入学した学生の入試区分は学部平均とほぼ同様な割合であったが、希望大学に入学したとの回答は昨年と同様の傾向であるが学部内で最も低い。ただ入学希望でなかったとする回答は突出して高くはなく、「どちらでもない」との回答が高い傾向であり、本学科の特性等を考慮せずに、偏差値等の基準で受験・合格した学生が多くなっていることが示唆された。入学後、出席率は学部平均とほぼ同様で突出して出席率が悪い状態ではないが、学修面も大学生活面も「充実している」とする回答割合が少ない傾向を示した。ただ、明確に「充実していない」とする回答は突出して高くはなく、「どちらともいえない」とする回答が多い傾向を示している。総合的な大学生活の満足度も、「どちらともいえない」とする回答が他学科と比べ高い割合を示した。</p> <p>今年度の調査結果からは、本学科がどのような学科であるのかを理解し、積極的に学ぶ態度で入学してきた学生が少ないことが示唆される。これは入学後の学習面・学生生活面の消極性にもつながっていると考えられる。今後も継続的に、本学科で学ぶ意義、カリキュラム・ポリシーとディプロマポリシーに対する理解を促進させ、学修に対するモチベーションを学生に持たせるよう指導していく必要がある。問題の根本には、受験生に対する本学科の教育理念の広報不足も考えられる。</p>

### ＜通学についての考察＞

検査	自宅から通学する学生の割合は約 65% であり、自宅から通学可能な地元の学生が多い。本学科の学生は、通学の所要時間が 2 時間以上の割合が他学科より高く、地元でも遠方から通学している学生の割合が高いことが推察された。また公共交通機関や自転車等での通学が多いことから、通学時のマナー等の指導は重要である。
放射	下宿している学生が学部内で最も多く、全国から学生が集まっている。そのため、自転車・徒歩で通学する学生が多く、駐輪や交通マナーに関する指導をしっかりと行う必要がある。また、下宿生が不登校になった際の本人や保護者への連絡は迅速に進める必要がある。
臨工	自宅から通学する学生は自宅外（下宿など）から通学する学生の約 2 倍で、学生の約半数が公共交通機関を利用していた。通学に要する時間が 1 時間以上を要する学生が半数近くになっていた。一方で、通学時間が 30 分未満の学生が約 4 割と、自宅以外で大学近郊に暮らす学生が多い傾向があると予測される。なお、通学に公共交通機関以外の自転車・バイク・自動車・徒歩のうちバイクの割合が高いことが特徴的で、交通マナー、交通安全指導等の啓蒙活動の継続実施が必要である。
医経	自宅通学者は 81.0% であり、学部中で最も多い比率となった。昨年度の自宅通学者も約 78% であり、同様の傾向を示している。通学時間 30 分未満の下宿生は少なく、1 時間 30 分以上、公共交通機関を中心として通学している学生の比率が他学科に比較して多い傾向である。クラブ・学外活動やアルバイトの状況によっては通学時間が授業外学修時間を圧迫する可能性もあり、このため学生生活面の満足度が低い傾向を示す可能性がある。通学手段は公共交通機関に利用者が学部平均より多い傾向であり、公共交通機関の利用マナー等の指導は継続する必要がある。

### ＜経済面についての考察＞

検査	何らかの奨学生を受けている学生の割合は学部平均とほぼ同じであり、昨年度とほぼ同じであった。趣味や娯楽等に掛ける費用の分布は、1 万円未満の割合が学部平均より高く、3 万円以上の割合が学部平均より低かったことから、趣味や娯楽に掛ける費用が少ないと思われるが、アルバイトをしている学生としていない学生、下宿の学生と自宅から通う学生などの違いによっても異なるものと思われる。
放射	奨学生を受けている学生の割合は学部平均よりも低かった。趣味や娯楽に掛ける金額は学部平均よりやや多く、経済的な面で不安のある学生が少ないことが明らかとなった。

臨工	趣味や娯楽に掛ける費用が1ヶ月に2万円未満の学生割合が約6割で良識的な嗜好の学生が多いと考えられる。一方で、1ヶ月に4万円から10万円以上を掛ける学生が約1割おり、生活に満足できていない様子が見受けられる。奨学金を受けている学生の割合は約4割で、その殆どは日本学生支援機構からの受給であった。
医経	奨学金を受給する学生の比率は学部平均より低く、趣味・娯楽等にあてられる小遣いの金額は3万円以上の学生の割合が学部平均より高い傾向であった。これは昨年度とは逆の傾向を示すものであった。自宅通学の学生が多く、通学時間に時間が取られているものの、経済的には（アルバイトの有無にもよるが）概ね学部平均より良好な状況であると考えられた。

#### ＜アルバイトについての考察＞

検査	約87%の学生がアルバイト行っており、そのうち約5割が週に1～2日程度のアルバイトであった。1日あたりのアルバイト時間は、4時間以上である学生が多くいた。多くの学生は、土日等を利用して学業に影響を与えない程度の日数でアルバイトを行うよう心掛けていることが推察された。
放射	90%以上の学生がアルバイトを行っている。アルバイトの頻度は週に1～2回が最も多く、アルバイトと勉強・部活の両立を図っているようである。主たるアルバイト内容は飲食や販売に関するものであった。
臨工	アルバイトをしている学生の割合は約9割で、約5割が週に1-2日で、約4割はほぼ隔日でアルバイトを行っていた。アルバイトの時間は1回あたり6時間未満が約7割で、授業後にアルバイトをしている場合には深夜に及ぶ場合があると予想できる。職種ではフード・飲食、各種販売が約6割を占め、営業終了時刻までアルバイトしていると考えられる。深夜に帰宅する行動が予想されることから防犯指導の継続実施が必須と考えられる。
医経	アルバイトをしている学生は79.8%（昨年度78.2%）あり、昨年度と同様の傾向であるが、他学科と比べてアルバイト率は低い。アルバイト職種は「フード・飲食」と「各種販売」の比率が他学科同様に高いものの、「フード・飲食」よりも「各種販売」の方が比率が高くなっている。他学科に比べ土・日より平日にアルバイトしている学生が多い傾向がみられ、平日の授業後に「3～4時間」のアルバイト、通学時間が1～1.5時間という学生が多い傾向であり、授業外学修時間が圧迫されている学生が多くなっている可能性があり注意が必要である。また、学費・生活費のためにアルバイトをしている学生の比率は他学科より低く、レジャー目的は高い。これも授業外学習時間の圧迫の可能性が高く、学生時代の時間の使い方について熟慮するよう指導が必要である。

## ＜クラブ活動/ボランティア活動等についての考察＞

検査	クラブ活動に参加している学生の割合は約 70%であり、学部平均より高く、比較的多くの学生がクラブ活動に参加していた。また本学科の学生の特徴として複数のクラブに参加する学生が多くいた。またボランティア活動を行っている学生の割合は学部平均より低く、「参加したことがない」と回答した学生が昨年度より多かった。クラブ活動やボランティア活動から得るものは多く、クラブ活動やボランティア活動に学生が積極的に参加できるよう、学内でのさらなる支援・取り組みが必要であると思われる。
放射	クラブ活動に参加している学生は半数程度であり、学部の平均よりも低い割合であった。アルバイトと両立させるため、2つ以上の部活に所属する学生は少なかった。約 25%の学生がボランティア活動に参加経験があるが、半数以上の学生はボランティア活動をしたことがなく、ボランティアの重要性や楽しさを理解させる機会の提供が必要である。
臨工	クラブ活動に参加している割合が 85%と学部内では最も高く、その目的が活動内容が好きであったり、友好関係を持ちたいなどの前向きな考えを持つ学生割合が高かった。一方、参加していない学生は、自己の時間を優先する割合が多く、自由を求める割合がそれぞれ約 3割あった。なお、ボランティア活動を経験した割合は約 6割で、継続している学生割合が約 4割であった。学修以外の社会活動へ積極的に参加しようとする意識傾向が高いと考えられる。
医経	クラブ活動に参加している学生は 50.0%と学部内で最も低い値であった。参加できない理由としてアルバイト等で時間確保ができないことを挙げる率が高くなっている。関心のあるクラブも無く、遠距離通学者も多く、レジャー目的でアルバイトを平日にも行っている学生が多い傾向にある。また、ボランティア活動について「参加したいが、時間や機会がない」とする学生の比率が高く、ボランティアに興味はあるもののアルバイト等の優先順位が高くなっていることがうかがわれる。経済的理由でアルバイトをする学生は低い傾向にあるため、無目的にアルバイトに走る学生に対して、ボランティア活動に関する情報提供などが必要かもしれない。

## ＜学修及び学校生活についての考察＞

検査	<p>予習は行っていても1時間未満の学生が最も多く、復習は1～2時間未満の学生が最も多かった。学修時間は復習に多く費やしている傾向にあったが、その学修内容は、講義用教材や自らの講義中のノートを中心に学修している割合が高かいことから、学修に対し意欲が高い学生が多いと考えられる。また、自主学修の場所として自宅で行う学生が最も多かった。図書館を利用している学生が学部平均に比べ高かったが、他学科より図書館との距離が近いことが影響していると考える。講義・実習の満足度については、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた割合は約90%と昨年度とほぼ同様であった。しかし教育面等の不満では「授業・試験・成績などの教務情報」と回答した学生が約60%と多く、試験成績の公表方式等に不満があると推察する。さらに就学支援や進路相談に対しても不十分であると感じており、キャリア支援課とさらに協力した体制作りが必要と考える。「カリキュラム」に対して意見を有する学生の割合が高かったが、医療系の学科であることから、時間割にゆとりが少ないことは否めない。現在の4年生からは新しいカリキュラムですすんでおり、以前のカリキュラムの問題点等の一部は改善されているが、カリキュラムにおける問題点についても整理して今後のカリキュラム・時間割の改善に反映する予定である。教室や実習室への整備の要求が多いが、新しい建物での改善希望の詳細は自由記載に記入されていると推察する。図書館やクラブ活動の設備。施設の整備を希望する学生が多いのは本学科の特徴であるが、図書館を勉強のために利用したり、クラブ活動を行っている学生が他学科より多いため整備の希望をするものが他学科の学生より多いと推察する。</p>
放射	<p>予習よりも復習を行っている学生のほうが多く、講義用教材や教科書・参考書などを利用して一人で学習しているようである。教育や制度に関する要望は教務情報に関するものが最大であり、情報伝達や成績開示方法を改善する必要がある。また、設備としては教室、食堂、図書館、駐輪場などに改善を求めている。放射線学科が利用する教室は改修を行なっているが全体的な不満は解消されておらず、校舎の立地上の不便さが学生の満足度を下げている原因になっていると思われる。</p>
臨工	<p>予習より復習に力を入れている様子が窺えるものの、その時間は1時間未満の割合が多かった。また、その時間を個人で自宅あるいは図書館で行っており、個人学習を好む傾向がある。講義の満足度は9割を超えており、学習評価としての成績点数を求める学生が多い傾向を示しており、学生にとって不満があると考えられる。教室・実習室や食堂の設備充実を求める割合が高いため、具体的な要望などを聴取していく取り組みが望まれる。</p>

## 医経

本学科の学生は、復習については他学科とほぼ同様の自主学修時間を確保しているが、予習については「ほとんどなし」の比率が他学科より 20 ポイント程高く、最も予習していない状況であった。授業科目にて予習・復習に該当する学修内容を e ラーニングの小テスト等を活用して宿題とすることで、自主学習時間を確保を学生に促すように対策していきたい。自主学習の場所は「自宅で一人」と回答する学生が約 70% を占め、他学科より 10 ポイント程高い状況である。しかし、昨年度は約 80% を占めていたことから、友人等と学修する学生が増加傾向であった。今後も、教員より放課後等に友人同士など複数人で宿題や自主学修に取組むよう促していきたい。クラブ活動やボランティア活動をする学生は少ない傾向であるものの、自宅より公共交通機関により長時間通学する学生の比率が高く、平日のアルバイトする学生の割合も多いという状況であり、自宅に帰ってから自主学修に取り組もうという気持ちが起きない学生が多数存在することが推察された。その上で、講義・実習に満足している学生は「満足している」の比率が他学科に比べ 1/2 以下の割合であるものの、「まあまあ満足している」を加えれば約 90% となっており、昨年度の 77% より改善している。逆にはっきり「不満である」とした学生はいなかった。制度面での改善については「カリキュラム」、「時間割」を指摘する回答は学部平均的である。しかし、「資格取得講座（対策授業）の充実」には他学科に比べ高い要望があった。本学科では複数の資格試験に対応するため、カリキュラムにも他学科に比べて多くの時間を資格対策に費やしているが、それでも整備を望む要望が多い結果となった。対策時間を増やして欲しい、あるいは逆に対策を整理して時間を短くして欲しいという要望も含まれている可能性がある。

## ＜健康についての考察＞

検査	睡眠時間は 5～7 時間の学生が約 70% を占めていた。睡眠時間が 4 時間以下や朝食を摂らない学生が少ないと存在しており、体調を崩さないためにも、生活リズムを整え、適切な睡眠時間と 1 日 3 食の規則的な食事をとることが望ましいので、こうした学生への生活指導が必要であると思われる。
放射	睡眠時間は 5～6 時間、6～7 時間の学生が多く、睡眠時間は学部の中でも長かった。食事についても、朝食を摂る学生の割合は高く、自宅で食事していることから、比較的のバランスよく栄養を摂っていると思われる。一方、極端に睡眠時間が短い学生や、食事をほとんど食べない学生もわずかながら居るため、健康指導も行っていく必要がある。
臨工	睡眠時間は 4～6 時間の学生が約 7 割を占めていた。しかしながら、睡眠時間が 4 時間未満の学生が少なからずいることから、生活指導が望まれる。食事は 3 食摂取している学生割合は高く、概ね良好と考えられる。

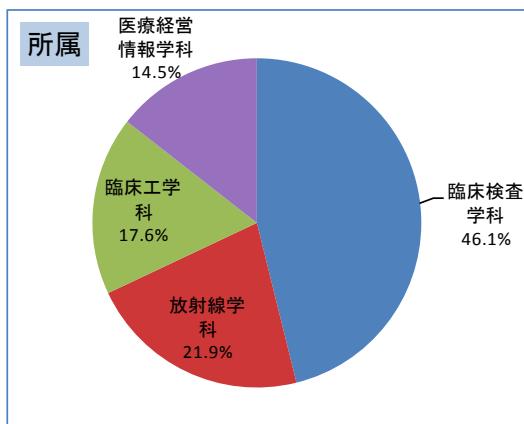
医経	<p>睡眠時間が5時間未満の割合が34.6%（昨年度47.9%）と他学科に比べ最も高い割合を示しており、平日のアルバイトや帰宅後に自主学修以外での活動で睡眠時間を圧迫している状況が推察された。十分な睡眠時間を取りよう、指導が必要である。朝食については、食べないとする学生が約16%あり、他学科とほぼ同様に傾向であったが、健康維持や午前中の学修にも影響する可能性があることから、朝食を取るように指導する必要がある。昼食は学食が最も近い学科を反映して利用率が44.0%と他学科の2倍近い利用率であった。夕食を「ほとんど食べない」という学生が3.6%あり、規則的な食事について指導が必要であろう。</p>
----	---

### ＜その他悩み事の考察＞

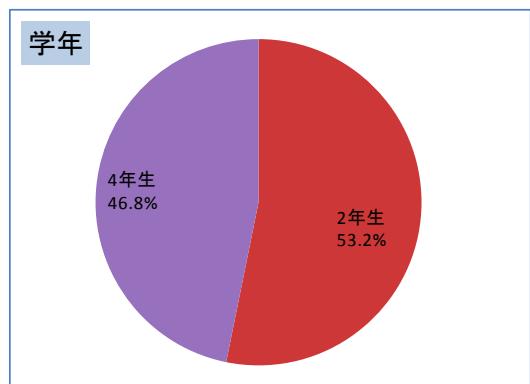
検査	<p>学修面における悩みを持っている学生が最も多く、次いで金銭面について悩みを持つ学生が多かった。学修面の悩みは、授業で学ぶ内容が多いが、予習・復習時間が少ないことが影響していると思われるが、授業で分からなかった点など気軽に相談できるような教職員側の体制作りが必要であると考えられる。就職率は毎年ほぼ100%であるが、就職や進学等の行先の幅が広いことから、どの方面に進むかという悩みや漠然とした将来への不安を持っていると思われる。しかし教員や職員に相談する学生は非常に少ないとから、就職等に関しては、4年生は担任を中心としてキャリア支援課との連携の強化、他の学年でも卒業後の進路に不安を抱くことが少なくなるよう担任が中心となり、今後も学生に対してさらなるサポートを行っていく必要がある。</p>
放射	<p>学習面、金銭面について悩みを持っている学生が多い。留年や国試不合格を心配する学生も多く、安心して学習できる環境作りをする必要がある。悩み事を相談する人がいない学生も居ることから、日頃から教員が相談しやすい雰囲気作りや、学生相談室の紹介などを行っていく必要がある。</p>
臨工	<p>「金銭面」の割合が高いものの「学習面」、「就職・将来の進路」の割合との差は少なく、それぞれが約5割を占める。大学での学修・生活に大きく影を落としていることが窺われる。このような悩みを抱えながら、家族や同級生に相談しつつ大学生活をしている状況であることがわかった。これまで以上に学生のサポートが必要であると考える。</p>
医経	<p>全体的な傾向は学部平均と概ね同様であり、昨年度とも同様であった。しかし、「就職・将来の進路」についての不安が高い傾向があり、これは本学科の医療事務系人材の養成とその将来像についてイメージがつかみにくいうことが原因となっていると推察される。継続的に、職業イメージや資格の有効性について説明の機会をもち、将来像の具体化に努めたい。また、種々のアンケート項目から不満や要望の声が上がっているものの、本人の自覚としては「特に悩んでいない」とする学生が学部平均より高い割合を示しており、教員の立場より実感している『学生の危機感のなさ』が反映されている結果と考えられる。担任制において、今後も面談などを定期的に実施していく必要があろう。</p> <p>昨年度は相談相手を親や他学の友人とする学生が多く、同級生は少ない傾向であったが、今年度では他学科と同様に「同級生」とする割合が高くなり、学科内の友人関係に大きな問題は生じていないと考えられた。</p>

## 2. 2. 学生生活・学修実態調査報告の全データ分析

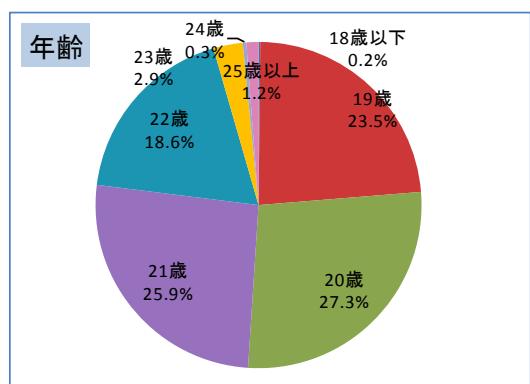
### 【基本属性】



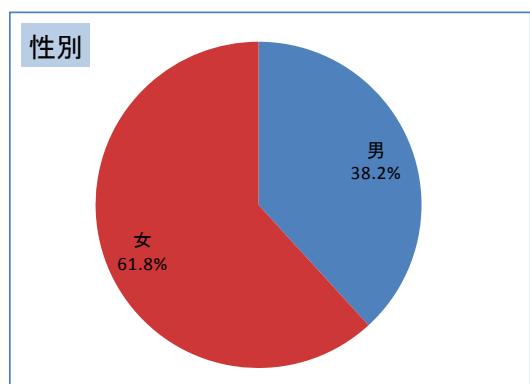
A-01 : 所属	件数	割合
臨床検査学科	268	46.1%
放射線学科	127	21.9%
臨床工学科	102	17.6%
医療経営情報学科	84	14.5%
合計	581	100.0%



A-02 : 学年	件数	割合
1年生	0	0.0%
2年生	309	53.2%
3年生	0	0.0%
4年生	272	46.8%
合計	581	100.0%



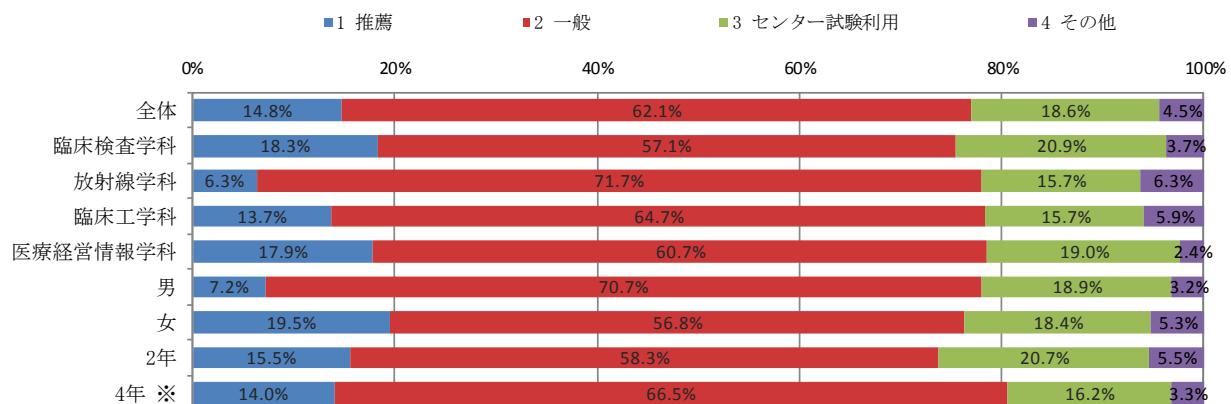
A-03 : 年齢	件数	割合
18歳以下	1	0.2%
19歳	137	23.5%
20歳	159	27.3%
21歳	151	25.9%
22歳	108	18.6%
23歳	17	2.9%
24歳	2	0.3%
25歳以上	7	1.2%
合計	582	100.0%



A-04 : 性別	件数	割合
男	322	38.2%
女	718	61.8%
合計	581	100.0%

## ＜大学全体について＞

### 1. 入試区分



有効回答者数	大学の入学方法は			
	推薦	一般	センター試験利用	その他
※「センター試験利用」は大学のみ回答				
全体	581	86	361	108
		14.8%	62.1%	18.6%
学科別	臨床検査学科	49	153	56
		18.3%	57.1%	20.9%
性別	放射線学科	8	91	20
		6.3%	71.7%	15.7%
学年別	臨床工学科	14	66	16
		13.7%	64.7%	15.7%
	医療経営情報学科	15	51	16
		17.9%	60.7%	19.0%
	男	16	157	42
		7.2%	70.7%	18.9%
	女	70	204	66
		19.5%	56.8%	18.4%
	2年	48	180	64
		15.5%	58.3%	20.7%
	4年 ※	38	181	44
		14.0%	66.5%	16.2%

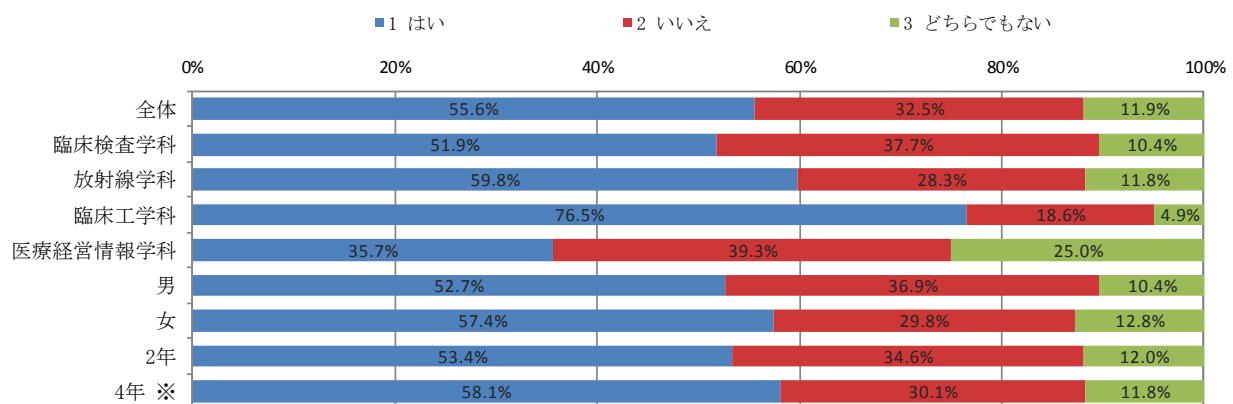
※医療経営情報学科は3年生

＜大学全体についての考察：1. 入試区分＞

検査	「一般入試」による入学者の割合が 57.1%（昨年度 64.2%）で最も高く、次いで、「センター試験利用」 20.9%（昨年度 16.9%）、「推薦」 18.3%（昨年度 16.5%）、「その他」 3.7%（昨年度 2.5%）であった。学部平均とほぼ同じであったが、「一般入試」の割合が昨年度（64.2%）より低く、「センター試験利用」の割合は昨年度より若干高かった。その他はアセンブリ入試利用である。
放射	「一般入試」による入学者の割合は 71.7%となり学部内で最も高かった。次いで「センター試験利用」 15.7%であった。
臨工	「一般入試」による入学者の割合が 64.7%で最も高く、次いで「センター試験利用」が 15.7%、「推薦」が 13.7%、「その他」（アセンブリ入試）が 5.9%であった。学部平均とほぼ同じ割合であった。
医経	入学者の割合は「一般入試」 60.7%（昨年度 55.1%）、「センター試験利用」 19.0%（昨年度 25.6%）、「推薦入試」 17.9%（昨年度 17.9%）となっており、昨年度は全体と比較して「一般入試」が低く、「センター試験利用」が高い割合であったが、今年度は全体とほぼ同様の平均的な割合となった。

＜大学全体について＞

2. 入学時希望順位



学年別	学科別	性別	有効回答者数	希望の大学へ入学できましたか		
				はい	いいえ	どちらでもない
	全体		581	323	189	69
				55.6%	32.5%	11.9%
	臨床検査学科	男	268	139	101	28
				51.9%	37.7%	10.4%
	放射線学科	女	127	76	36	15
				59.8%	28.3%	11.8%
	臨床工学科		102	78	19	5
				76.5%	18.6%	4.9%
	医療経営情報学科		84	30	33	21
				35.7%	39.3%	25.0%
		女	359	117	82	23
				52.7%	36.9%	10.4%
	2年		309	206	107	37
				53.4%	34.6%	12.0%
	4年 *		272	158	82	32
				58.1%	30.1%	11.8%

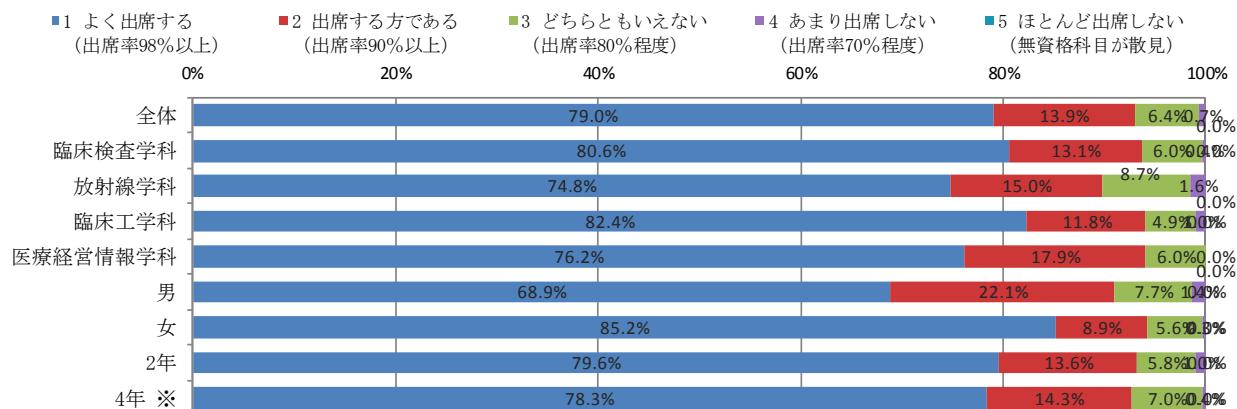
\*医療経営情報学科は3年生

## ＜大学全体についての考察：2. 入学希望順位＞

検査	希望大学であると回答した学生の割合が 51.9%（昨年度 56.8%）であり、学部平均より少し低く、また昨年度の割合より低かった。
放射	希望大学であると回答した学生の割合は 59.8%であり、学部の平均より若干高くなつており、昨年度の割合(55.2%)よりも上昇した。
臨工	希望大学であると回答した学生の割合が 76.5%であり、学部全体の割合より約 20%高かった。
医経	希望大学に入学したとの回答は 35.7%と学部内で最も低い値であり、昨年度（46.6%）と同様の傾向となつた。ただ、「いいえ」と入学を希望していなかつたとする回答は 39.3%と学部内で最も高い値となつたが、全体（32.5%）と比較して突出して高い値ではない。「どちらでもない」との回答が 25.0%と学部内でも最も高い値（全体 11.9%）となつてゐる。 今年度の入試区分はほぼ全体と同様の傾向であり「一般入試」の割合が高いことから、本学科の特性をよく理解せずに、偏差値等の基準で受験し、合格した学生が多くなつたことが示唆される。

## ＜大学全体について＞

### 3. 授業出席率



学年別	性別	学科別	有効回答者数	授業の出席状況について				
				へ よ 出 く 席 出 席 率 率 9 す 8 る % 以 上 (	へ 出 席 率 率 9 方 0 で % あ 以 上 )	へ ど ち 席 ら 率 と 8 も 0 い % え 程 な 度 (	あ ま り 出 席 率 率 7 0 し % な 程 い 度 (	へ ほ と 資 格 ど 科 出 席 が し 散 見 (
全体			581	459	81	37	4	0
				79.0%	13.9%	6.4%	0.7%	0.0%
学科別		臨床検査学科	268	216	35	16	1	0
				80.6%	13.1%	6.0%	0.4%	0.0%
		放射線学科	127	95	19	11	2	0
				74.8%	15.0%	8.7%	1.6%	0.0%
		臨床工学科	102	84	12	5	1	0
				82.4%	11.8%	4.9%	1.0%	0.0%
		医療経営情報学科	84	64	15	5	0	0
				76.2%	17.9%	6.0%	0.0%	0.0%
性別	男		222	153	49	17	3	0
				68.9%	22.1%	7.7%	1.4%	0.0%
	女		359	306	32	20	1	0
				85.2%	8.9%	5.6%	0.3%	0.0%
学年別		2年	309	246	42	18	3	0
				79.6%	13.6%	5.8%	1.0%	0.0%
		4年 ※	272	213	39	19	1	0
				78.3%	14.3%	7.0%	0.4%	0.0%

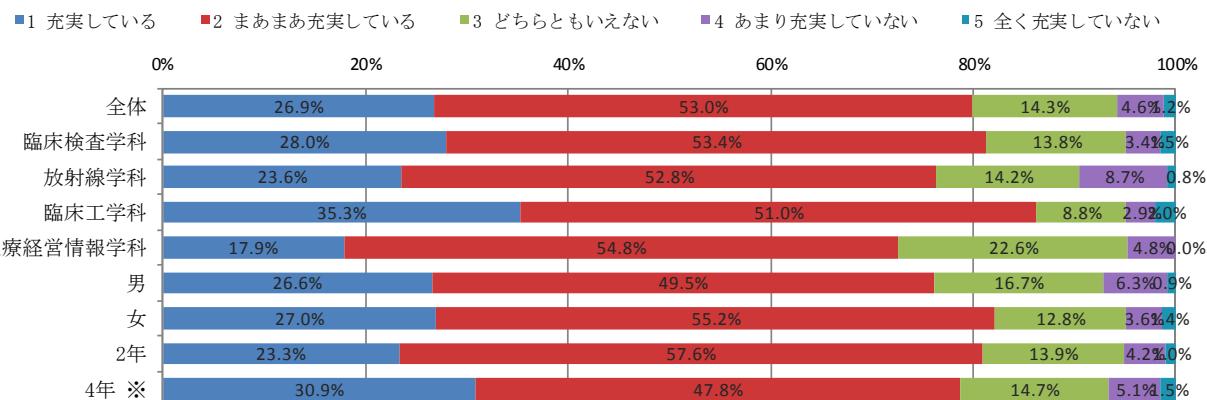
※医療経営情報学科は3年生

＜大学全体についての考察：3. 授業出席率＞

検査	「よく出席する（出席率 98%以上）」と回答した学生の割合が 80.6%（昨年度 84.0%）であり、昨年度より少し低かったが、学部平均とほぼ同じであった。次いで、「出席するほうである（出席率 90%以上）」が 13.1%であり、出席率 90%以上の学生の割合は 93.7%であった。学部平均とほぼ同じくらいであったが、より高い出席率が望まれる。
放射	「よく出席する（出席率 98%以上）」と回答した学生の割合が 74.8%であり、学部で最も低い割合であった。次いで、「出席するほうである（出席率 90%以上）」が 15.0%であり、出席率 90%以上と回答した学生の割合は 89.8%であった。「ほとんど出席しない（無資格科目が散見）」はゼロだが、出席率 70～80%の学生が全体の 10.3%であった。この中には無資格にならないように計算しながら欠席している学生も含まれているようである。
臨工	「よく出席する（出席率 98%以上）」と回答した学生の割合が 82.4%、「出席するほうである（出席率 90%以上）」が 11.8%であり、この 2 つを合わせた出席率 90%以上の学生の割合は 94.2%であった。この割合は、学部全体の割合と同等であった。
医経	「よく出席する（出席率 98%以上）」との回答は 76.2%（昨年度 76.9%）であり、全体（79.0%）と比較して平均的な値であった。「出席するほうである（出席率 90%以上）」は 17.9%（昨年度 11.5%）であり、「よく出席する」まで含め 94.1%と、ほぼ学部平均と同様であった。

## ＜大学全体について＞

### 4. 学生生活充実度…学修面



学科別	性別	学年別	有効回答者数	学生生活の充実度について…学修面では				
				充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体			581	156	308	83	27	7
				26.9%	53.0%	14.3%	4.6%	1.2%
臨床検査学科			268	75	143	37	9	4
				28.0%	53.4%	13.8%	3.4%	1.5%
放射線学科			127	30	67	18	11	1
				23.6%	52.8%	14.2%	8.7%	0.8%
臨床工学科			102	36	52	9	3	2
				35.3%	51.0%	8.8%	2.9%	2.0%
医療経営情報学科			84	15	46	19	4	0
				17.9%	54.8%	22.6%	4.8%	0.0%
性別	男		222	59	110	37	14	2
	女			26.6%	49.5%	16.7%	6.3%	0.9%
学年別		2年	309	72	178	43	13	3
				23.3%	57.6%	13.9%	4.2%	1.0%
4年 ※			272	84	130	40	14	4
				30.9%	47.8%	14.7%	5.1%	1.5%

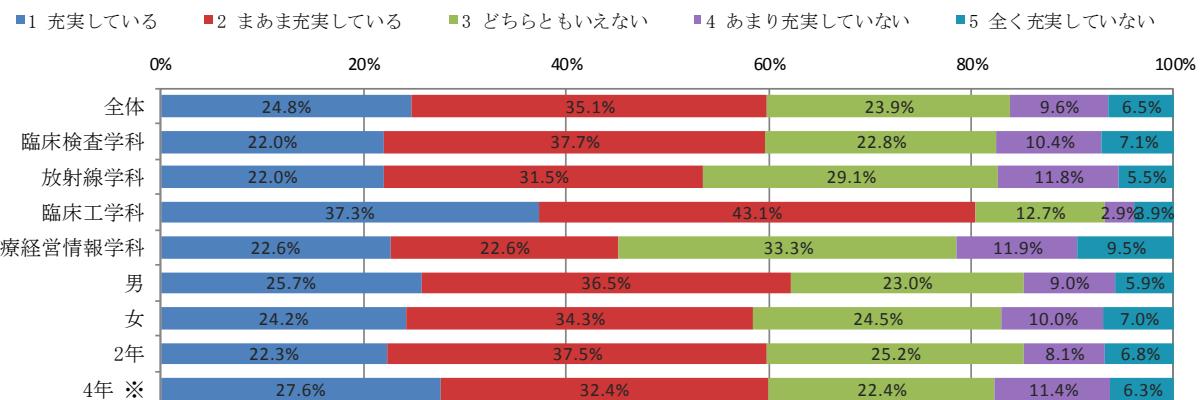
※医療経営情報学科は3年生

＜大学全体についての考察：4. 学生生活充実度…学修面＞

検査	「充実している」が 28.0%、「まあまあ充実している」が 53.4%で合計 81.4%（昨年度 83.9%）であり、学部平均とほぼ同じであった。「あまり充実していない」と「全く充実していない」の合計は 4.9%（昨年度 3.3%）であり、昨年度とほぼ同じであった。
放射	「充実している」が 23.6%、「まあまあ充実している」が 52.8%で合計 76.4%であり、学部平均より 3%程度低かった。「あまり充実していない」「全く充実していない」と回答した学生は約 10%と学部平均よりやや高くなっている、学習面の充実度という観点では少し満足ができない状況であるといえる。
臨工	「充実している」が 35.3%、「まあまあ充実している」が 51.0%で、それらの合計は 86.3%であり、学部平均割合とほぼ同じであった。「あまり充実していない」と「全く充実していない」の合計は 4.9%であり、学部平均割合とほぼ同じであった。
医経	「充実している」が 17.9%（昨年度 15.4%）と学部内で最も低値を示し、「まあまあ充実している」 54.8%（昨年度 46.2%）と合計して 72.7%（昨年度 61.6%）となるが、学部内で最も低い割合となった。「あまり充実していない」 4.8%（昨年度 11.5%）、「全く充実していない」 0.0%（昨年度 2.6%）となっており、学部内では平均よりやや低い割合となっている。「どちらともいえない」が 22.6%と他学科に比べ高い値を示している。充実していないとは感じていないが、「2. 入学時希望順位」で「どちらでもない」の回答が多くあったことを反映していると考えられる。

## ＜大学全体について＞

### 5. 学生生活充実度…クラブ等



学年別	性別	学科別	有効回答者数	学生生活の充実度について…クラブ・学外活動など				
				充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体			581	144	204	139	56	38
				24.8%	35.1%	23.9%	9.6%	6.5%
学科別	臨床検査学科		268	59	101	61	28	19
				22.0%	37.7%	22.8%	10.4%	7.1%
	放射線学科		127	28	40	37	15	7
				22.0%	31.5%	29.1%	11.8%	5.5%
性別	男		222	38	44	13	3	4
				37.3%	43.1%	12.7%	2.9%	3.9%
	女		359	19	19	28	10	8
				22.6%	22.6%	33.3%	11.9%	9.5%
学年別	2年		309	57	81	51	20	13
				25.7%	36.5%	23.0%	9.0%	5.9%
	4年 ※		272	87	123	88	36	25
				24.2%	34.3%	24.5%	10.0%	7.0%

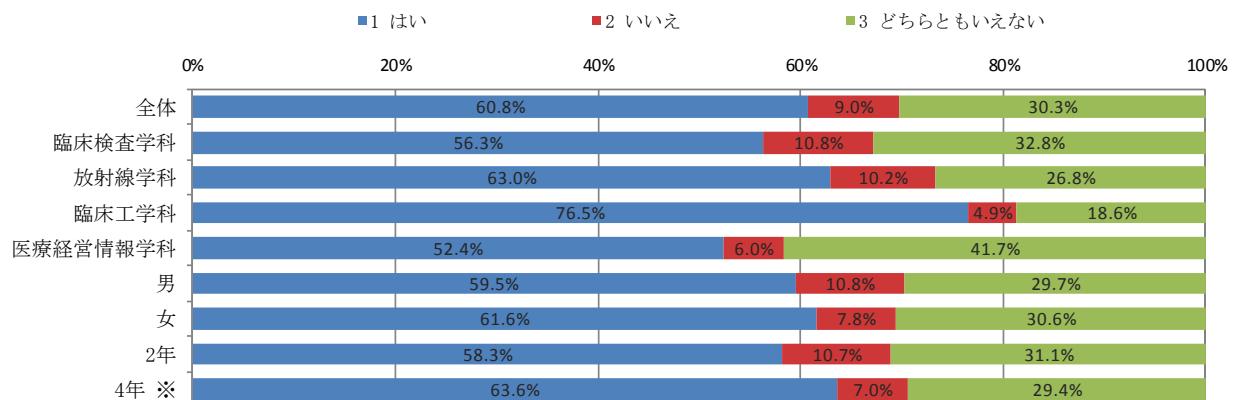
※医療経営情報学科は3年生

＜大学全体についての考察：5. 学生生活充実度…クラブ等＞

検査	「充実している」が 22.0%、「まあまあ充実している」が 37.7%で合計 59.7%（昨年度 57.2%）であり、学部平均とほぼ同じであった。「あまり充実していない」と「全く充実していない」を合わせると 17.5%（昨年度 21.8%）を占め、昨年度より低下していた。充実度が（4）学修面に比べ、低い傾向であり、改善の余地があると考える。
放射	「充実している」が 22.0%、「まあまあ充実している」が 31.5%で合計 53.5%であり、学部平均よりやや低い割合であった。「あまり充実していない」と「全く充実していない」の合計が 17.3%と学部平均よりやや高かった。
臨工	「充実している」が 37.3%、「まあまあ充実している」が 43.1%で、それらの合計は 80.4%であり、学部平均割合より約 20%高かった。「あまり充実していない」と「全く充実していない」の合計は 6.8%であり、学部平均割合や他の学科の割合よりかなり低値を示した。
医経	「充実している」 22.6%（昨年度 12.8%）であり、臨床工学科を以外の学科とはほぼ同様の傾向を示したが、「まあまあ充実している」 22.6%（昨年度 34.6%）と他学科よりかなり低い値となっており、合計すると 45.2%（昨年度 45.6%）であり、昨年度と同様の傾向を示し、他学科よりも低い値となった。「あまり充実していない」 11.9%（昨年度 9.0%）、「全く充実していない」 9.5%（昨年度 15.4%）と、合計 21.4%（昨年度 24.4%）となっており、ほぼ学部の平均値 16.1%（昨年度 21.6%）より高い値となった。学修面よりも顕著に、学生生活の充実度が他学科に比べ低い傾向にある。医療系である本学科の特性を理解しないまま入学後、学修面の忙しさから学生生活が他大学の学生と同様に過ごせないこと等に充実を見いだせていない可能性がある。

＜大学全体について＞

6. 学生生活充実度…総合



学年別	学科別	性別	有効回答者数	総合的にみて学生生活に満足していますか		
				はい	いいえ	どちらともいえない
	全体		581	353	52	176
				60.8%	9.0%	30.3%
学科別	臨床検査学科	男	268	151	29	88
				56.3%	10.8%	32.8%
	放射線学科	女	127	80	13	34
				63.0%	10.2%	26.8%
学年別	臨床工学科	男	102	78	5	19
				76.5%	4.9%	18.6%
	医療経営情報学科	女	84	44	5	35
				52.4%	6.0%	41.7%
性別	臨床検査学科	男	222	132	24	66
				59.5%	10.8%	29.7%
	放射線学科	女	359	221	28	110
				61.6%	7.8%	30.6%
学年別	臨床工学科	男	309	180	33	96
				58.3%	10.7%	31.1%
	医療経営情報学科	女	272	173	19	80
				63.6%	7.0%	29.4%

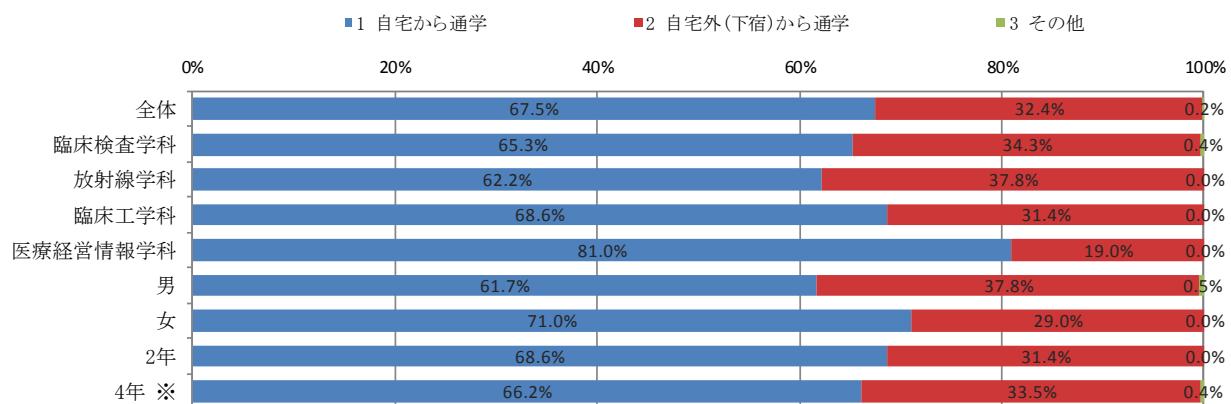
\*医療経営情報学科は3年生

＜大学全体についての考察：6. 学生生活充実度…総合＞

検査	「はい」が 56.3%（昨年度 64.2%）で、学部平均（60.8%）および昨年度の学科平均と比較すると若干低かった。「いいえ」は 10.8%（昨年度 13.2%）であった。
放射	「はい」が 63.0%で、学部平均よりも高かった。「いいえ」と答えた学生は 10.2%と学部平均よりもやや高いが、総じて学生生活には満足しているようである。
臨工	「はい」が 76.5%で、学部平均および他の学科より高値を示した。また、「いいえ」は 4.9%で、学部平均及び他の学科より低値を示した。
医経	「はい」は 52.4%（昨年度 46.2%）であり学部平均 60.8%（昨年度 62.3%）よりも低値を示し、学部内で最も低い値となつたが、昨年度よりは満足度は高い傾向となつた。また、「いいえ」は 6.0%であり学部平均 9.0%よりも低値であり、昨年度の 23.1%より大幅に少なくなった。他学科と比べ「どちらともいえない」が 41.7%と高い値であり、本学科の特性を理解し入学を希望した学生が少ないことが反映されていると考えられた。

## ＜通学について＞

### 7. 通学形態



学年別	学科別	性別	有効回答者数	通学の住居について		
				自宅から通学	自宅外(下宿)から通学	その他
	全体		581	392	188	1
				67.5%	32.4%	0.2%
	臨床検査学科	男	222	175	92	1
				65.3%	34.3%	0.4%
	放射線学科	女	359	79	48	0
				62.2%	37.8%	0.0%
	臨床工学科		102	70	32	0
				68.6%	31.4%	0.0%
	医療経営情報学科		84	68	16	0
				81.0%	19.0%	0.0%
		女	359	255	104	0
				71.0%	29.0%	0.0%
		2年	309	212	97	0
				68.6%	31.4%	0.0%
		4年 *	272	180	91	1
				66.2%	33.5%	0.4%

\*医療経営情報学科は3年生

## ＜通学についての考察：7. 通学形態＞

検査	「自宅から通学」が 65.3%（昨年度 67.1%）で、「自宅外（下宿）から通学」が 34.3%（昨年度 32.1%）であり、学部平均とほぼ同じであった。昨年度と比較してもほぼ同じであった。
放射	「自宅から通学」が 62.2%で、「自宅外（下宿）から通学」が 37.8%であった。自宅外から通学する学生の割合が学部内で最も高かった。放射線学科を擁する大学はまだ少なく、他学科より広範囲の地域から（全国から）学生が集まっていることを意味している。
臨工	「自宅から通学」が 68.6%で、「自宅外（下宿）から通学」が 31.4%であった。学部平均とほぼ同じであった。
医経	「自宅から通学」81.0%（昨年度 78.2%）と学部内で最も高く、学部平均 67.5%より 13.5 ポイントと突出して高い割合であった。これは昨年度と同様の傾向である。

＜通学について＞

8. 通学手段 (複数回答) - 学科別 -



学年別	性別	学科別	有効回答者数	通学手段は何か					
				電車等	自転車	バイク	車	徒歩	その他
全体		全体	581	354	295	47	83	174	1
				60.9%	50.8%	8.1%	14.3%	29.9%	0.2%
学科別		臨床検査学科	268	162	142	19	34	86	0
				60.4%	53.0%	7.1%	12.7%	32.1%	0.0%
学科別		放射線学科	127	68	68	9	24	30	1
				53.5%	53.5%	7.1%	18.9%	23.6%	0.8%
学科別		臨床工学科	102	57	49	17	15	29	0
				55.9%	48.0%	16.7%	14.7%	28.4%	0.0%
学科別		医療経営情報学科	84	67	36	2	10	29	0
				79.8%	42.9%	2.4%	11.9%	34.5%	0.0%
性別		男	222	116	136	29	23	59	1
				52.3%	61.3%	13.1%	10.4%	26.6%	0.5%
性別		女	359	238	159	18	60	115	0
				66.3%	44.3%	5.0%	16.7%	32.0%	0.0%
学年別		2年	309	204	166	15	34	91	1
				66.0%	53.7%	4.9%	11.0%	29.4%	0.3%
学年別		4年 ※	272	150	129	32	49	83	0
				55.1%	47.4%	11.8%	18.0%	30.5%	0.0%

※医療経営情報学科は3年生

＜通学についての考察：8. 通学手段（複数回答）—学科別—＞

検査	「公共交通機関（バス・電車等）」が 60.4%（昨年度 61.3%）と最も高く、次いで「自転車」53.0%（昨年度 49.4%）、「徒歩」32.3%（昨年度 31.3%）であった。いずれも学部平均とほぼ同じであった。昨年度と比較してもほぼ同じであった。
放射	公共交通機関と自転車が同率で最も高く（53.5%）、徒歩（23.6%）であった。学部の中で最も下宿生が多いことや名鉄バスの混雑等により、駅や自宅から自転車や徒歩で大学に向かう学生が多い。
臨工	「公共交通機関（バス・電車等）」が 55.9%と最も高く、次いで「自転車」48.0%、「徒歩」28.4%であった。いずれも学部平均とほぼ同じであった。「バイク」が 16.7%と学部平均値の約 2 倍であった。
医経	「公共交通機関（バス・電車等）」が 79.8%（昨年度 76.9%）と最も高く、次いで「自転車」42.9%（昨年度 38.5%）、「徒歩」34.5%（昨年度 33.3%）、「自動車」11.9%（昨年度 9.0%）であった。公共交通機関の利用は学部平均 60.9%より 18.9 ポイントも多くなっており、昨年度と同様に遠距離の自宅からの通学者が多い傾向を反映している。

## ＜通学について＞

### 9. 通学時間



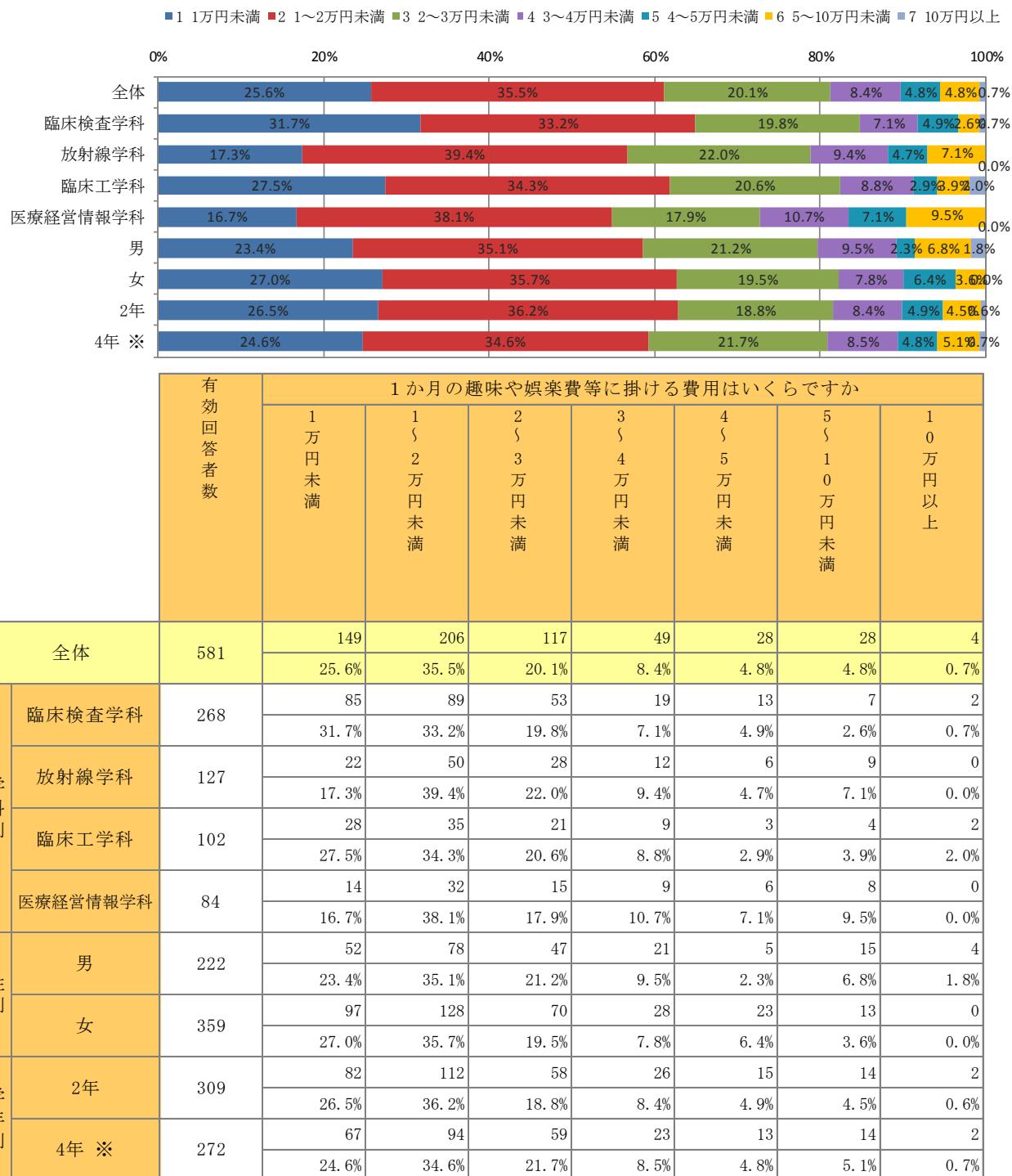
※医療経営情報学科は3年生

## ＜通学についての考察：9. 通学時間＞

検査	「30分未満」が37.3%（昨年度38.7%）と最も多く、次いで「1～1時間30分未満」25.7%（昨年度21.4%）、「1時間30分～2時間未満」18.7%（昨年度20.6%）であった。「2時間以上」は8.6%（昨年度7.8%）であり、学部内で最も高かった。昨年度とほぼ同様の結果であった。
放射	30分以内が38.6%と最も高く、1～1時間半が22.8%と続いた。これは下宿している学生と大学近郊から通学している学生が多いことを示している。
臨工	「30分未満」が36.3%と最も多く、次いで「1～1時間30分未満」が30.4%、「30分～1時間未満」と「1時間30分～2時間未満」がそれぞれ16.7%であった。「2時間以上」は0%であり、他学科と比べ遠方からの通学者割合が少ない傾向を示した。
医経	「1時間30分～2時間未満」が40.5%（昨年度21.8%）と他学科と比較して突出して多く、「30分未満」が21.4%（昨年度26.9%）と他学科と比べて突出して少ない割合を示した。昨年度と同様の傾向だが、より「30分未満」は少なく、「1時間30分～2時間未満」は倍増であった。これは大学近辺で下宿する学生が少なく、比較的遠距離の自宅から公共交通機関で通学する学生が他学科に比べ多いことを示していると考えられた。

## ＜経済面について＞

### 10. お小遣い



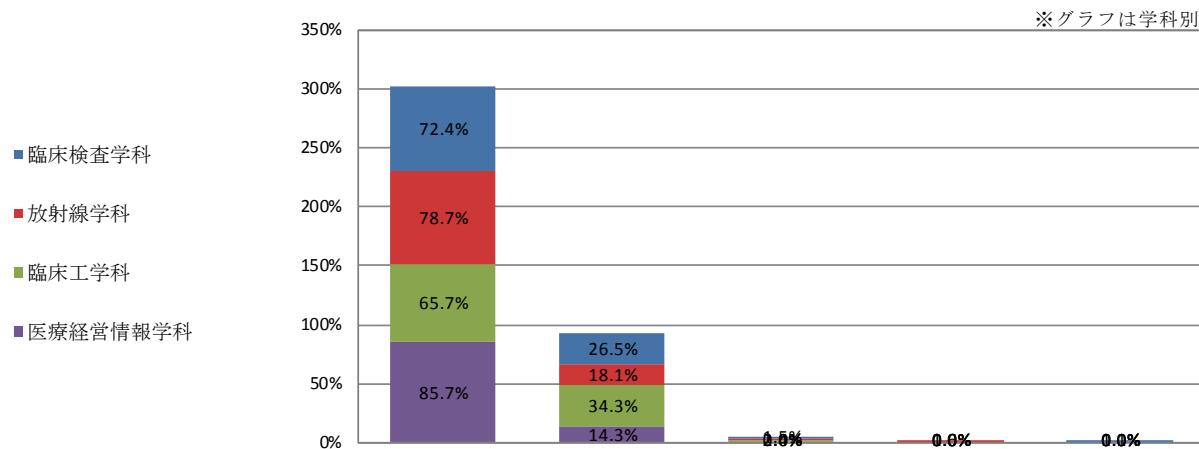
※医療経営情報学科は3年生

＜経済面についての考察：10. お小遣い＞

検査	「1～2万円」が 33.2%（昨年度 34.2%）と最も高く、次いで「1万円未満」31.7%（昨年度 28.4%）、「2～3万円未満」19.8%（昨年度 28.0%）であった。「1万円未満」の割合が学部平均より高く、3万円以上の割合は学部平均より低かった。昨年度とほぼ同様であった。
放射	1万円～2万円が 39.4%、2～3万円は 22%と続き、学部全体でみると少し高い傾向にある。講義・部活・アルバイトに忙しく、趣味や娯楽に割ける費用は少ないと推測される。
臨工	「1～2万円未満」が 34.3%と最も高く、次いで「1万円未満」27.5%、「2～3万円未満」20.6%であった。4万円未満の割合は学部全体の割合とほぼ同じであった。「10万円以上」の割合が 2.0%と学部全体の割合より高かった。
医経	「1万円未満」16.7%（昨年度 28.2%）、「1～2万円未満」38.1%（昨年度 33.3%）と学部平均 25.6%、35.5%（昨年度 22.9%、33.0%）とほぼ同様であるが、「1万円未満」の割合は少ない傾向であり、放射と同様の傾向を示した。3万円以上の高額なお小遣いについては 27.3%（昨年度 6.4%）と、学部平均 18.7%（昨年度 23.3%）より高い割合を示しており、学部内で最も高い割合を示した。昨年度では逆に最も低い割合を示しており、本学科学生のお小遣いは増加傾向を示した。

＜経済面について＞

11. 奨学金 (複数回答) - 学科別 -



学科別	有効回答者数	奨学金を受けていますか				
		受け てい な い	学日 金本 を学 受生 け支 て援 機 構の 奨	を地 方受 け公 て共 い団 る体 の奨 学金	金民 間を 受育 け英 て団 い体 る等 の奨 学	その 他
全体	581	433	141	9	2	3
		74.5%	24.3%	1.5%	0.3%	0.5%
臨床検査学科	268	194	71	4	0	3
		72.4%	26.5%	1.5%	0.0%	1.1%
放射線学科	127	100	23	3	2	0
		78.7%	18.1%	2.4%	1.6%	0.0%
臨床工学科	102	67	35	2	0	0
		65.7%	34.3%	2.0%	0.0%	0.0%
医療経営情報学科	84	72	12	0	0	0
		85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男	158	61	2	0	1
		71.2%	27.5%	0.9%	0.0%	0.5%
	女	275	80	7	2	2
		76.6%	22.3%	1.9%	0.6%	0.6%
学年別	2年	232	74	3	1	1
		75.1%	23.9%	1.0%	0.3%	0.3%
	4年 ※	201	67	6	1	2
		73.9%	24.6%	2.2%	0.4%	0.7%

※医療経営情報学科は3年生

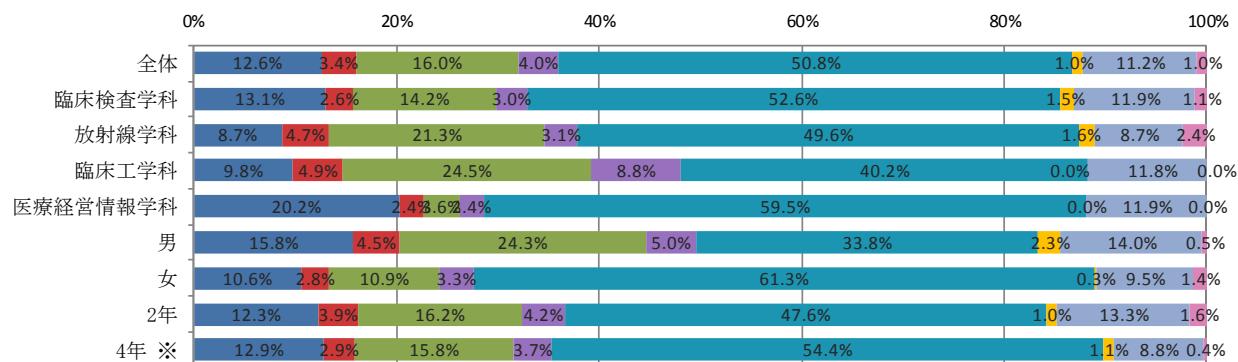
＜経済面についての考察：11. 奨学金（複数回答）—学科別—＞

検査	何らかの奨学金を受けている学生は 29.1%（昨年度 27.2%）であり、学部平均とほぼ同じであり、昨年度とほぼ同じであった。奨学金を受けている学生のうち、約 91%が日本学生支援機構の奨学金を受けている学生であった。
放射	奨学金を受けていない学生は全体の 78.7%、日本学生支援機構の奨学金を受けている学生は 18.1%であり、奨学金を受けている学生の割合は学部内平均よりも低い。学生支援機構以外から支援を受けている学生は学部平均より高い 2.4%であった。
臨工	奨学金を受給されている学生割合は 36.3%あり、その 94.5%は日本学生支援機構の奨学金受給者であった。奨学金受給者の割合は、学部全体の割合より約 10%高かった。
医経	奨学金を「受けていない」学生が 85.7%（昨年度 71.8%）、「受けている」学生が 14.3%（昨年度 28.2%）であり、学部平均に比べ奨学金を受けていない学生の割合が高い傾向を示した。昨年度とも同様の傾向であったが、より受けていない学生の比率が高まっており、お小遣いの傾向と合わせ、本学科学生の経済状況は良好であると考えられた。なお、昨年度と同様に奨学金は全て学生支援機構より受給している。

## ＜アルバイトについて＞

### 12. アルバイト有無と目的

- 1 していない  
 ■3 生活費・教養費を得るため  
 ■5 旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため  
 ■7 貯金をするため  
 ■2 学費を得るため  
 ■4 クラブ活動費を得るため  
 ■6 耐久消費財（電化用品、家具など）を購入するため  
 ■8 その他



学科別	性別	学年別	有効回答者数	現在のアルバイトの有無と目的について							
				していない	学費を得るため	た生活費・教養費を得る	めクラブ活動費を得るた	な旅行などの等資金を得る・た洋め服	する耐るた家消費め財など（電化購用購入	貯金をするため	その他
全体			581	73	20	93	23	295	6	65	6
				12.6%	3.4%	16.0%	4.0%	50.8%	1.0%	11.2%	1.0%
放射線学科			268	35	7	38	8	141	4	32	3
				13.1%	2.6%	14.2%	3.0%	52.6%	1.5%	11.9%	1.1%
臨床工学科			127	11	6	27	4	63	2	11	3
				8.7%	4.7%	21.3%	3.1%	49.6%	1.6%	8.7%	2.4%
医療経営情報学科			84	10	5	25	9	41	0	12	0
				9.8%	4.9%	24.5%	8.8%	40.2%	0.0%	11.8%	0.0%
男			222	17	2	3	2	50	0	10	0
				20.2%	2.4%	3.6%	2.4%	59.5%	0.0%	11.9%	0.0%
女			359	35	10	54	11	75	5	31	1
				15.8%	4.5%	24.3%	5.0%	33.8%	2.3%	14.0%	0.5%
2年			309	38	12	50	13	147	3	41	5
				12.3%	3.9%	16.2%	4.2%	47.6%	1.0%	13.3%	1.6%
4年 ※			272	35	8	43	10	148	3	24	1
				12.9%	2.9%	15.8%	3.7%	54.4%	1.1%	8.8%	0.4%

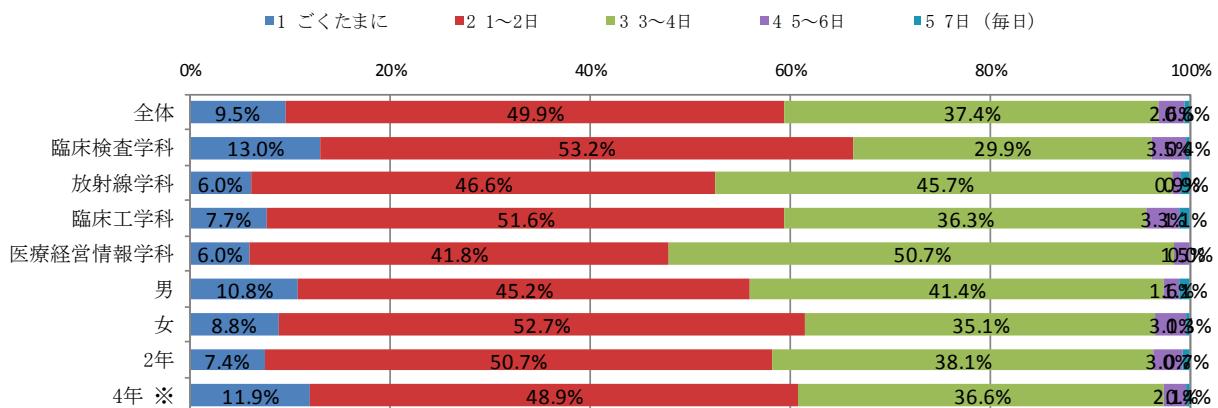
※医療経営情報学科は3年生

＜アルバイトについての考察：12. アルバイトの有無と目的＞

検査	アルバイトについて「していない」と回答した学生は 13.1%（昨年度 17.7%）であり、学部平均とほぼ同じであったが、昨年度より若干低かった。ほとんどの学生は何らかのアルバイトをしており、アルバイトの目的としては「旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため」が 52.6%（昨年度 45.7%）、次いで「生活費・教養費を得るため」14.2%（昨年度 19.3%）であり、学部平均とほぼ同じであった。昨年度より「旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため」の割合が上昇し、「生活費・教養費を得るため」の割合は低下した。
放射	アルバイトを「していない」と回答した学生の割合は 8.7%であり、学部内で最も低かった。アルバイトの目的としては「旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため」が最も多く 49.6%であった。21.3%の学生は生活費・教養費を得るためにアルバイトを行なっている。
臨工	アルバイトをしていない学生の割合は 9.8%であり、多くの学生がアルバイトをしていた。アルバイトの目的は、「旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため」が 40.2%、次いで「生活費・教養費を得るため」が 24.5%であった。学部全体の割合と比較すると前者は低く、後者は高かった。また、「クラブ活動費を得るため」が 8.8%であり、学部全体の割合の約 2 倍であった。
医経	アルバイトをしていない学生は 20.2%（昨年度 21.8%）であり学部内で最も高い値であった。アルバイトの目的は、「生活費・教養費を得るため」とする学生の割合が 3.6%と他学科と比べ突出して低い値を示した。「旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため」は 59.5%（昨年度 39.7%）であり他学科と比べ最も高い値を示しており、「学費を得るため」は 2.4%（昨年度 6.4%）と学部内で最も低い比率であった。これは昨年度とは逆の傾向を示しており、家庭の経済状況は他学科と比べ良好な学生の割合が多い傾向であると考えられた。アルバイトはレジャー目的が主であり、遊びにアクティブである学生が多いことが示唆された。アルバイトをしていない学生が多い原因として、自宅からの遠距離通学者が多いことが考えられる。

## ＜アルバイトについて＞

### 13. アルバイト日数



有効回答者数	アルバイトは1週間に何日しますか						
	ごくたまに	1日	3日	5日	7日（毎日）	8日以上	回答数
※アルバイトをしている人のみ回答							
全体	505	48	252	189	13	3	
		9.5%	49.9%	37.4%	2.6%	0.6%	
学科別	臨床検査学科	30	123	69	8	1	
		13.0%	53.2%	29.9%	3.5%	0.4%	
	放射線学科	7	54	53	1	1	
		6.0%	46.6%	45.7%	0.9%	0.9%	
	臨床工学科	7	47	33	3	1	
		7.7%	51.6%	36.3%	3.3%	1.1%	
	医療経営情報学科	4	28	34	1	0	
		6.0%	41.8%	50.7%	1.5%	0.0%	
性別	男	20	84	77	3	2	
		10.8%	45.2%	41.4%	1.6%	1.1%	
	女	28	168	112	10	1	
		8.8%	52.7%	35.1%	3.1%	0.3%	
学年別	2年	20	137	103	8	2	
		7.4%	50.7%	38.1%	3.0%	0.7%	
	4年 ※	28	115	86	5	1	
		11.9%	48.9%	36.6%	2.1%	0.4%	

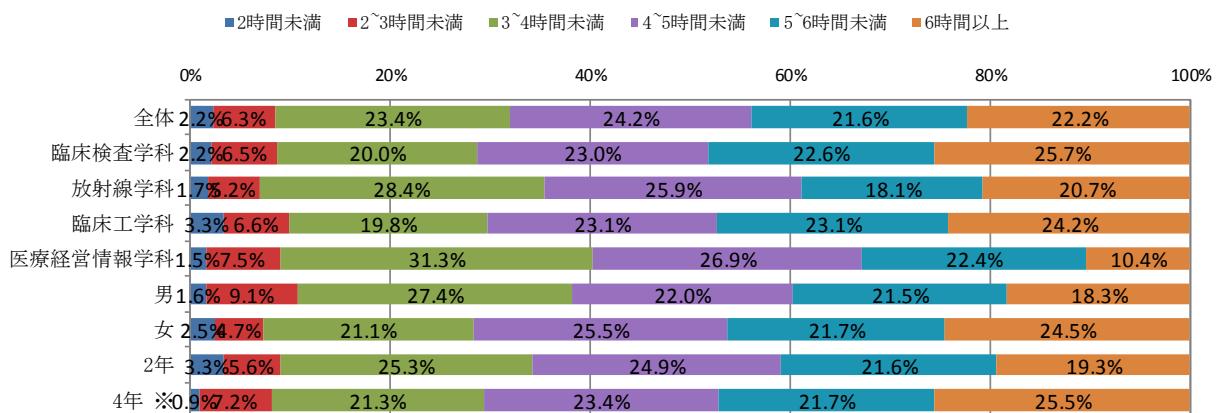
※医療経営情報学科は3年生

＜アルバイトについての考察：13. アルバイト日数＞

検査	週に「1～2日」と答えた学生の割合が53.2%（昨年度61.3%）と最も高く、他学科と比べると最も高い割合であった。次いで「3～4日」29.9%（昨年度26.6%）であった。学部平均と比べると、3日以上と答えた学生の割合は低く、学修面への影響がないように、アルバイト日数を制限していることが推察された。
放射	週に「1～2日」と答えた学生の割合が46.6%で最も高く、次いで「3～4日」が45.7%であった。アルバイトを行なっている割合は学部内でも高いほうであるが、週5日以上アルバイトをしている学生は学部平均よりもかなり低く、ある程度授業と両立を考えてアルバイトを入れているようである。
臨工	週に「1～2日」と答えた学生の割合が51.6%と最も高く、次いで「3～4日」36.3%であった。週に5日以上の割合は4.4%と学部全体の割合より高い傾向であり、学修への影響が懸念される。
医経	週に「3～4日」の学生が50.7%（昨年度62.3%）と学部平均37.4%（昨年度39.6%）より高値となったが、昨年度よりは減少傾向を示した。4日以上の学生はほぼ学部平均と同様であり、「1～2日」が41.8%（昨年度24.6%）と学部平均49.9%（昨年度44.5%）と比べ低い値となった。アルバイトしている学生は79.8%と学部平均87.4%と比較して少ないものの、アルバイトしている学生は他学科と比べて週あたり多くの日数働いている傾向であった。「1～2日」との回答は土・日でのアルバイトと考えられ、本学科学生は「3～4日」の回答が多いことから、平日にアルバイトしている学生の比率が高いと考えられる。

## ＜アルバイトについて＞

### 14. アルバイト時間



※アルバイトをしている人のみ回答

有効回答者数	アルバイトは、主に一日あたり何時間していますか						
	2時間未満	2~3時間未満	3~4時間未満	4~5時間未満	5~6時間未満	6時間以上	
全体	504	11 2.2%	32 6.3%	118 23.4%	122 24.2%	109 21.6%	112 22.2%
臨床検査学科	230	5 2.2%	15 6.5%	46 20.0%	53 23.0%	52 22.6%	59 25.7%
放射線学科	116	2 1.7%	6 5.2%	33 28.4%	30 25.9%	21 18.1%	24 20.7%
臨床工学科	91	3 3.3%	6 6.6%	18 19.8%	21 23.1%	21 23.1%	22 24.2%
医療経営情報学科	67	1 1.5%	5 7.5%	21 31.3%	18 26.9%	15 22.4%	7 10.4%
男	186	3 1.6%	17 9.1%	51 27.4%	41 22.0%	40 21.5%	34 18.3%
女	318	8 2.5%	15 4.7%	67 21.1%	81 25.5%	69 21.7%	78 24.5%
2年	269	9 3.3%	15 5.6%	68 25.3%	67 24.9%	58 21.6%	52 19.3%
4年	235	2 0.9%	17 7.2%	50 21.3%	55 23.4%	51 21.7%	60 25.5%

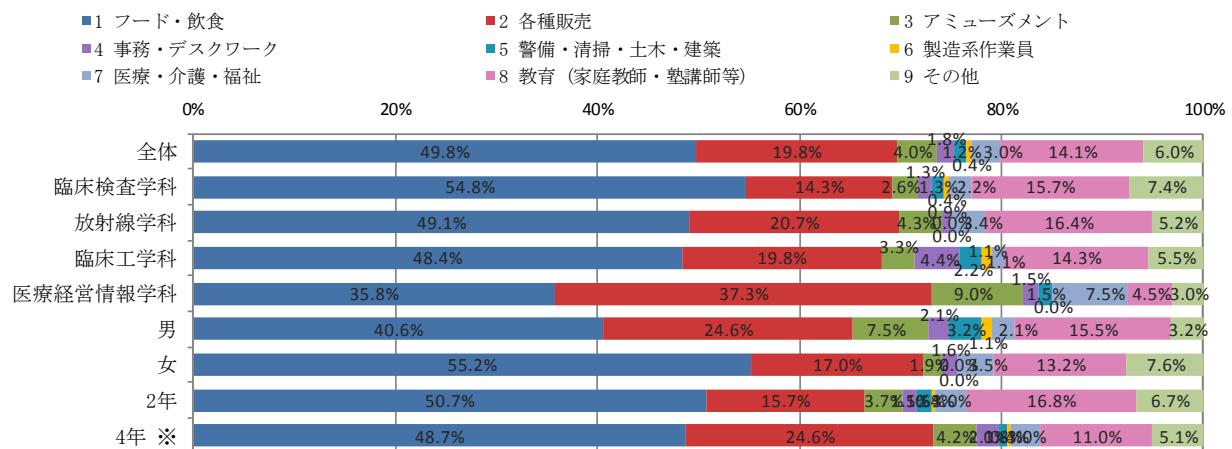
※医療経営情報学科は3年生

＜アルバイトについての考察：14. アルバイト時間＞

検査	1日あたり「6時間以上」と答えた学生の割合が25.7%（昨年度30.7%）と最も高く、次いで「4～5時間未満」23.0%（昨年度30.7%）、「5～6時間」22.6%（昨年度30.7%）であった。他学科と比べ、「6時間以上」の割合が最も高かったが、昨年度より減少していた。
放射	1日あたり「3～4時間」と答えた学生の割合が28.4%と最も高く、次いで「4～5時間」（25.9%）、「6時間以上」（20.7%）となった。1回で半日以上アルバイトしている学生が多く、休日は終日アルバイトに入る学生が多いことがわかる。
臨工	1日あたり「6時間以上」と答えた学生の割合が24.2%と最も高く、次いで「4～5時間未満」と「5～6時間未満」が23.1%、「3～4時間未満」が19.8%であった。学部全体の割合とほぼ同じであった。
医経	1日あたり「3～4時間未満」が31.3%と最も高く、次いで「4～5時間未満」が26.9%であり、学部平均とほぼ同様であった。「6時間以上」は10.4%と学部平均22.2%より11.8ポイントも低値を示した。他学科と比べて「3～4時間未満」以下の短時間のアルバイトの比率が高く、土・日でなく平日にアルバイトをしている学生の比率が高い傾向を示していると考えられた。

## ＜アルバイトについて＞

### 15. アルバイト職種



※アルバイトをしている人のみ回答

学科別	性別	学年別	有効回答者数	アルバイトの主な職種								
				フード・飲食	各種販売	アミューズメント	事務・デスクワーク	警備・清掃・土木・建築	製造系作業員	医療・介護・福祉	教育(家庭教師・塾講)	その他
臨床検査学科	男	2年	504	251	100	20	9	6	2	15	71	30
				49.8%	19.8%	4.0%	1.8%	1.2%	0.4%	3.0%	14.1%	6.0%
放射線学科	女	4年 ※	230	126	33	6	3	3	1	5	36	17
				54.8%	14.3%	2.6%	1.3%	1.3%	0.4%	2.2%	15.7%	7.4%
臨床工学科	男	4年 ※	116	57	24	5	1	0	0	4	19	6
				49.1%	20.7%	4.3%	0.9%	0.0%	0.0%	3.4%	16.4%	5.2%
医療経営情報学科	女	2年	67	44	18	3	4	2	1	1	13	5
				48.4%	19.8%	3.3%	4.4%	2.2%	1.1%	1.1%	14.3%	5.5%
医療経営情報学科	男	4年 ※	187	24	25	6	1	1	0	5	3	2
				35.8%	37.3%	9.0%	1.5%	1.5%	0.0%	7.5%	4.5%	3.0%
医療経営情報学科	女	4年 ※	317	76	46	14	4	6	2	4	29	6
				40.6%	24.6%	7.5%	2.1%	3.2%	1.1%	2.1%	15.5%	3.2%
医療経営情報学科	男	2年	268	175	54	6	5	0	0	11	42	24
				55.2%	17.0%	1.9%	1.6%	0.0%	0.0%	3.5%	13.2%	7.6%
医療経営情報学科	女	4年 ※	236	136	42	10	4	4	1	8	45	18
				50.7%	15.7%	3.7%	1.5%	1.5%	0.4%	3.0%	16.8%	6.7%
医療経営情報学科	男	4年 ※	236	115	58	10	5	2	1	7	26	12
				48.7%	24.6%	4.2%	2.1%	0.8%	0.4%	3.0%	11.0%	5.1%

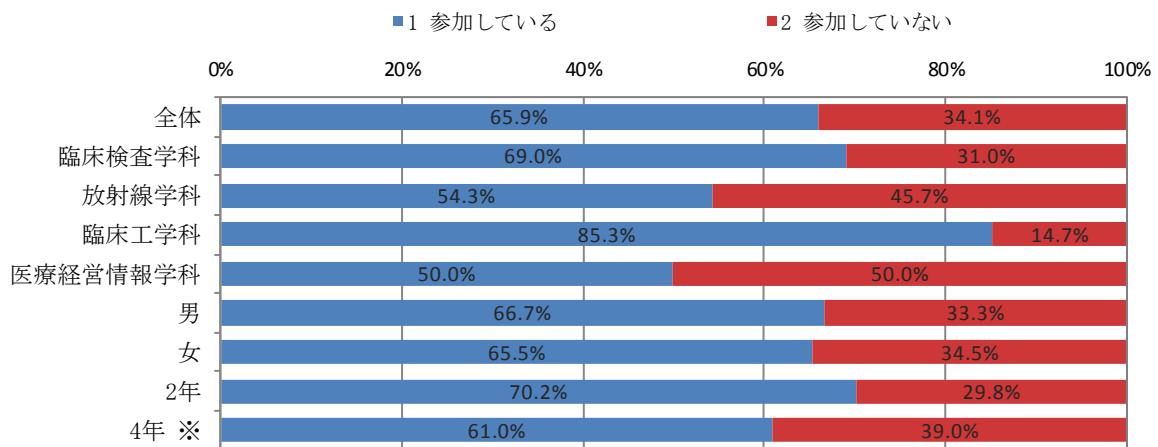
※医療経営情報学科は3年生

＜アルバイトについての考察：15. アルバイト職種＞

検査	「フード・飲食」が 63.0%（昨年度 48.5%）と最も高く、次いで「教育（家庭教師・塾講師等）」18.0%（昨年度 10.0%）、「各種販売」16.5%（昨年度 25.5%）であった。「フード・飲食」は、学部平均（49.8%）および昨年度より高かった。また「教育（家庭教師・塾講師等）」も昨年度より高かった。
放射	「フード・飲食」(25.3%)、「各種販売」(10.7%)と店舗のアルバイトをする学生が多い。また、「教育（家庭教師・塾講師等）」は例年学部内で最も割合の高い項目であったが、今年度の調査では学部平均よりも低い結果となった。
臨工	「フード・飲食」が 43.6%と最も高く、次いで「各種販売」17.8%、「教育（家庭教師・塾講師等）」12.9%であった。学部全体の割合とほぼ同じであった。
医経	「フード・飲食」は他学科より低く、「各種販売」は高い傾向であるが、合計で 73.1%となり、ほぼ学部平均 69.6%と比べ高値となった。「医療・介護・福祉」は 7.5%と学部平均 3.0%より高値を示した。逆に「教育（家庭教師・塾講師等）」は 4.5%しかなく、学部平均 14.1%を大きく下回った。

＜クラブ活動/ボランティア活動等について＞

16-1. クラブ活動参加有無

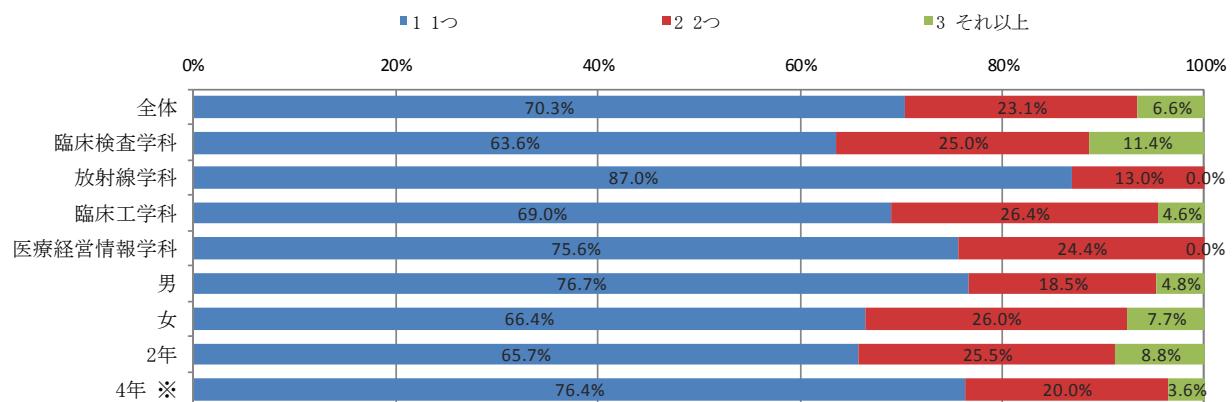


属性	有効回答者数	あなたはクラブ活動に参加していますか	
		参加している	参加していない
全体	581	383	198
		65.9%	34.1%
学科別	臨床検査学科	185	83
		69.0%	31.0%
性別	放射線学科	69	58
		54.3%	45.7%
学年別	臨床工学科	87	15
		85.3%	14.7%
	医療経営情報学科	42	42
		50.0%	50.0%
	男	148	74
		66.7%	33.3%
	女	235	124
		65.5%	34.5%
	2年	217	92
		70.2%	29.8%
	4年 ※	166	106
		61.0%	39.0%

※医療経営情報学科は3年生

＜クラブ活動/ボランティア活動等について＞

16-2. クラブ活動参加数



※クラブ活動に参加している人のみ回答

属性	有効回答者数	いくつのクラブに所属していますか		
		1つ	2つ	それ以上
全体	381	268	88	25
		70.3%	23.1%	6.6%
臨床検査学科	184	117	46	21
		63.6%	25.0%	11.4%
放射線学科	69	60	9	0
		87.0%	13.0%	0.0%
臨床工学科	87	60	23	4
		69.0%	26.4%	4.6%
医療経営情報学科	41	31	10	0
		75.6%	24.4%	0.0%
男	146	112	27	7
		76.7%	18.5%	4.8%
女	235	156	61	18
		66.4%	26.0%	7.7%
2年	216	142	55	19
		65.7%	25.5%	8.8%
4年 ※	165	126	33	6
		76.4%	20.0%	3.6%

※医療経営情報学科は3年生

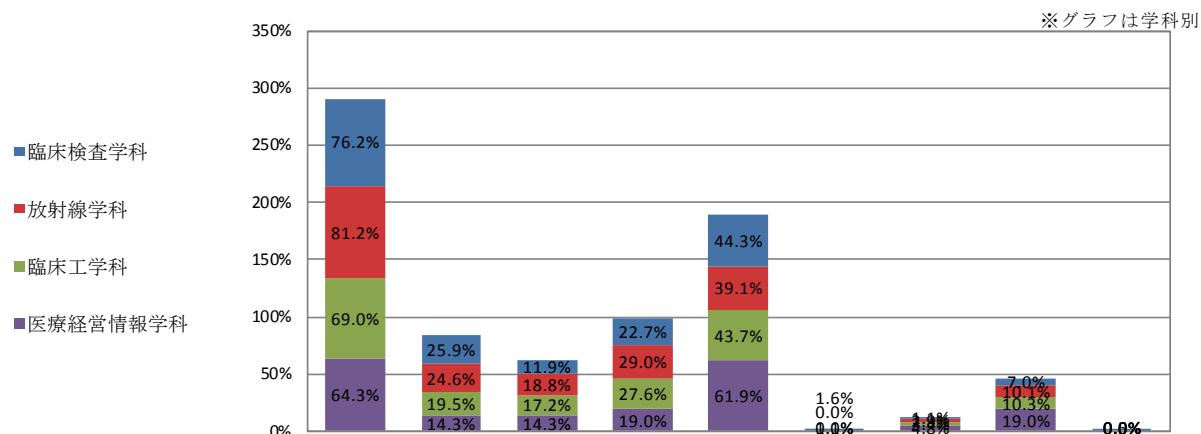
＜クラブ活動/ボランティア活動等についての考察：

16-1. クラブ活動参加有無 / 16-2. クラブ活動参加数>

検査	何らかのクラブ活動に参加している学生は 69.0% (昨年度 65.0%)、そのうち 2つ以上のクラブに所属している学生は 36.4% (昨年度 30.7%) であり、いずれも学部平均より高かった。本学科の学生が積極的にクラブ活動に参加していることが明らかとなつた。またいずれの割合も昨年度より上昇していた。
放射	クラブ活動に参加している学生は 54.3% であり、学部平均よりも低い割合であった。殆どの学生は「1つのクラブ活動に参加している」と回答しており、部活動の掛け持ちは勉強やアルバイトとの両立が難しく、活動を絞り込んでいることが明らかとなつた。
臨工	クラブ活動に参加している割合は 85.3% で、学部内では最も高く、学部全体の割合より約 20% 高かった。複数のクラブに所属する割合は 26.4% で、学部全体の割合よりやや高かった。
医経	なんらかのクラブ活動に「参加している」学生は 50.0% (昨年度 56.4%) であり学部平均 65.9% (昨年度 57.7%) と比べ低い傾向を示した。また、参加するクラブ活動の数が「1つ」学生は 75.6% (昨年度 86.4%) と昨年度よりは減少傾向であり、学部平均 70.3% (昨年度 80.5%) とほぼ同様の値であった。クラブ参加率は学部内で最低であり、自宅からの遠距離通学者が多いこと、学部内では低い傾向だが約 80% の学生はアルバイトをしており、平日にアルバイトをする率が高い傾向を示すことなどから、クラブ活動に割り当てる時間の確保ができずに参加を敬遠している状況が示唆された。

＜クラブ活動/ボランティア活動等について＞

17. クラブ活動参加きっかけ (複数回答) - 学科別 -



※クラブ参加者のみ回答

		有効回答者数	あなたがクラブ活動に参加した理由やきっかけは何ですか								
学科別	性別		興味・好むため	上教養・知識・技術の向	健康のため	友人を得るため	交友関係を広げるため	免許・資格取得のため	社会貢献	誘われて何となく	その他
	383	284	88	56	94	173	4	9	37	1	
臨床検査学科	男	185	74.2%	23.0%	14.6%	24.5%	45.2%	1.0%	2.3%	9.7%	0.3%
			76.2%	25.9%	11.9%	22.7%	44.3%	1.6%	1.1%	7.0%	0.5%
放射線学科	女	69	81.2%	24.6%	18.8%	29.0%	39.1%	0.0%	2.9%	10.1%	0.0%
			69.0%	19.5%	17.2%	27.6%	43.7%	1.1%	3.4%	10.3%	0.0%
臨床工学科	男	87	64.3%	14.3%	14.3%	19.0%	61.9%	0.0%	4.8%	19.0%	0.0%
			70.9%	20.9%	25.0%	28.4%	39.2%	0.0%	4.1%	9.5%	0.7%
医療経営情報学科	女	42	76.2%	24.3%	8.1%	22.1%	48.9%	1.7%	1.3%	9.8%	0.0%
			74.1%	17.5%	13.3%	22.9%	35.5%	0.6%	0.6%	11.4%	0.0%
2年	4年 ※	217	74.2%	27.2%	15.7%	25.8%	52.5%	1.4%	3.7%	8.3%	0.5%
			74.1%	17.5%	13.3%	22.9%	35.5%	0.6%	0.6%	11.4%	0.0%

※医療経営情報学科は3年生

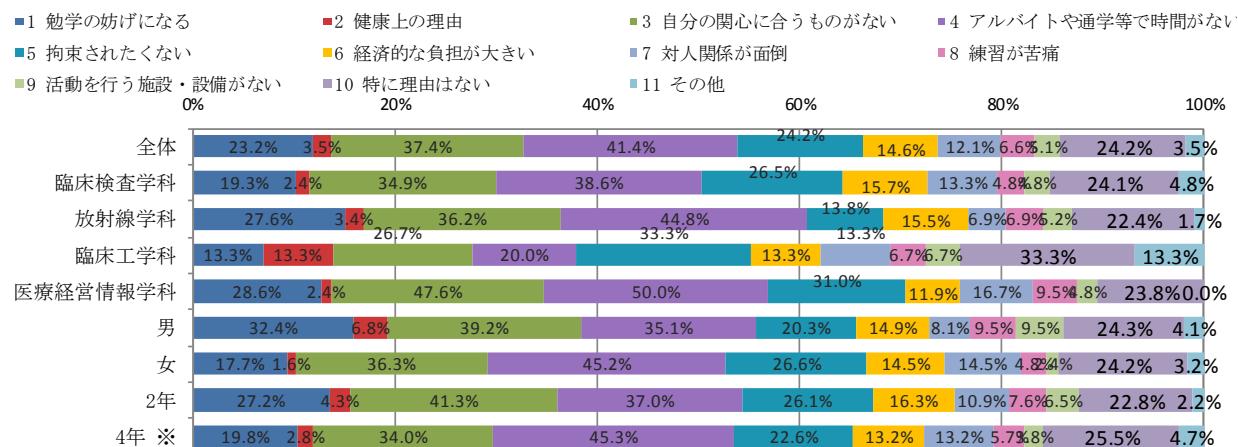
＜クラブ活動/ボランティア活動等についての考察：

17. クラブ活動参加きっかけ（複数回答）—学科別—>

検査	「活動内容が好きまたは興味がある」が 76.2%（昨年度 80.9%）と最も高く、次いで「交友関係を広げるため」44.3%（47.1%）、「教養・知識・技術の向上」25.9%（昨年度 29.9%）であった。学部平均と比べても特徴のある傾向は認めなかった。また昨年度と比べてもほぼ同様の傾向であった。
放射	「活動内容が好きまたは興味がある」が 81.2%と最も高く、次いで「交友関係を広げるため」が 39.1%と高かった。傾向は学部平均の分布とほぼ同じであった。
臨工	「活動内容が好きまたは興味がある」が 69.0%と最も高く、次いで「交友関係を広げるため」が 43.7%、「友人を得るため」27.6%であった。
医経	「活動内容が好きまたは興味がある」が 64.3%（昨年度 76.2%）と最も高く、次いで「交友関係を広げるため」61.9%（昨年度 44.3%）、「友人を得るため」および「誘われてなんとなく」が 19.0%であった。昨年度と比べ、友人関係を理由とする回答が増加傾向を示した。他学科と比べても、友人関係を理由とする回答は高い傾向であった。

＜クラブ活動/ボランティア活動等について＞

18. クラブ活動参加しない理由 (複数回答)



※クラブ不参加者のみ回答

有効回答者数	クラブ活動に参加しない主な理由											
	勉学の妨げになる	健康上の理由	が自分の関心に合うもの	時間がないトや通学等で	拘束されたくない	経済的な負担が大きい	対人関係が面倒	練習が苦痛	が活動を行なう施設・設備	特に理由はない	その他	
全体	198	46	7	74	82	48	29	24	13	10	48	7
学科別	臨床検査学科	83	16	2	29	32	22	13	11	4	4	20
		19.3%	2.4%	34.9%	38.6%	26.5%	15.7%	13.3%	4.8%	4.8%	24.1%	4.8%
	放射線学科	58	16	2	21	26	8	9	4	4	3	13
		27.6%	3.4%	36.2%	44.8%	13.8%	15.5%	6.9%	6.9%	5.2%	22.4%	1.7%
	臨床工学科	15	2	2	4	3	5	2	2	1	1	5
		13.3%	13.3%	26.7%	20.0%	33.3%	13.3%	13.3%	6.7%	6.7%	33.3%	13.3%
	医療経営情報学科	42	12	1	20	21	13	5	7	4	2	10
		28.6%	2.4%	47.6%	50.0%	31.0%	11.9%	16.7%	9.5%	4.8%	23.8%	0.0%
性別	男	74	24	5	29	26	15	11	6	7	7	18
		32.4%	6.8%	39.2%	35.1%	20.3%	14.9%	8.1%	9.5%	9.5%	24.3%	4.1%
	女	124	22	2	45	56	33	18	18	6	3	30
		17.7%	1.6%	36.3%	45.2%	26.6%	14.5%	14.5%	4.8%	2.4%	24.2%	3.2%
学年別	2年	92	25	4	38	34	24	15	10	7	6	21
		27.2%	4.3%	41.3%	37.0%	26.1%	16.3%	10.9%	7.6%	6.5%	22.8%	2.2%
	4年 ※	106	21	3	36	48	24	14	14	6	4	27
		19.8%	2.8%	34.0%	45.3%	22.6%	13.2%	13.2%	5.7%	3.8%	25.5%	4.7%

※医療経営情報学科は3年生

＜クラブ活動/ボランティア活動等についての考察：

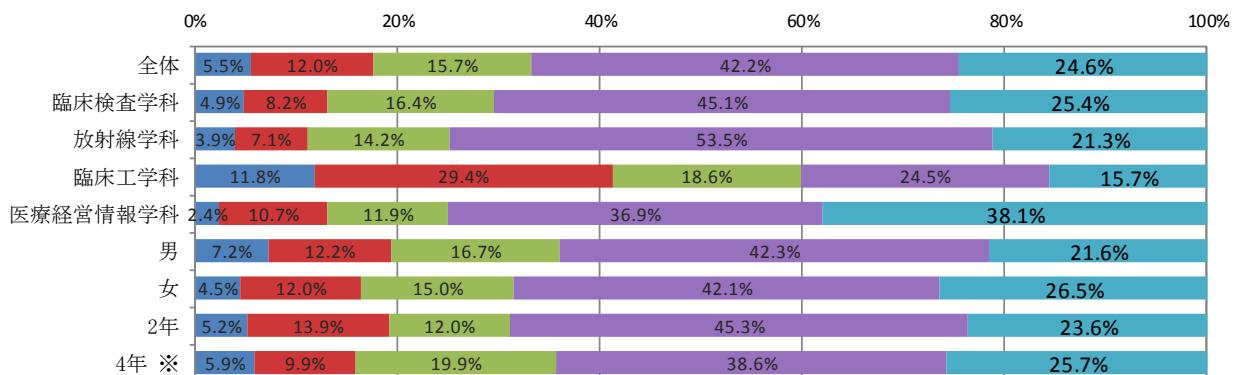
18. クラブ活動に参加しない理由（複数回答）>

検査	31.0%（昨年度 35.0%）の学生がクラブ活動に参加していない。クラブ活動に参加しない理由として最も多いのは「アルバイトや通学等で時間がない」38.6%（昨年度 41.0%）、次いで「自分の関心に合うものがない」34.9%（昨年度 41.0%）、「拘束されたくない」26.5%（昨年度 26.5%）であった。学部平均および昨年度とほぼ同様の割合であった。
放射	45.7%の学生がクラブ活動に参加していないが、その理由として最も多いのが「アルバイトや通学等で時間がない」が 44.8%と最も高く、次いで 36.2%が「自分の関心に合うものがない」と回答した。クラブ活動以外の活動を優先している様子がうかがえ、魅力的なクラブ活動となるよう支援していく必要がある。
臨工	「拘束されたくない」、「特に理由がない」が 33.3%と最も高く、次いで「自分の関心に合うものがない」が 26.7%、「アルバイトや通学等で時間がない」が 20.0%であった。「拘束されたくない」、「特に理由がない」は、学部全体の割合より約 10%高く、「アルバイトや通学等で時間がない」は、約 20%低かった。
医経	クラブ活動に参加していない理由として「アルバイトや通学等で時間がない」が 50.0%（昨年度 38.2%）と昨年度より増加し最大の理由となった。次は「自分の関心に合うものがない」47.6%（昨年度 41.2%）、「拘束されたくない」31.0%（昨年度 14.7%）となった。本学科学生は平日にアルバイトをしている傾向が高く、公共交通機関による遠距離通学者が多い傾向であり、「アルバイトや通学等で時間がない」を理由にする比率が高くなっている。「自分の関心に合うものがない」を理由とする傾向は昨年度と同様だが、「拘束されたくない」の比率は増加しており、特に関心を見いだせないクラブ活動よりも、通学時間以外に確保できた時間をレジャー目的のアルバイトに費やしたいという学生の意志が推察される。

＜クラブ活動/ボランティア活動等について＞

19. ボランティア活動参加有無

- 1 定期的に参加している  
 ■3 以前は参加していたが、現在はしていない  
 ■5 参加したいが、時間や機会がない  
 ■2 不定期(ときどき)だが、参加している  
 ■4 参加したことがない



有効回答者数	現在、ボランティア活動をしていますか				
	定期的に参加している	が不定期に参加している	が以前は参加していたが、現在はしていない	参加したことがない	機会がないが、時間や
全体	581	32 5.5%	70 12.0%	91 15.7%	245 42.2%
					143 24.6%
学科別	臨床検査学科	13 4.9%	22 8.2%	44 16.4%	121 45.1%
					68 25.4%
	放射線学科	5 3.9%	9 7.1%	18 14.2%	68 53.5%
					27 21.3%
性別	臨床工学科	12 11.8%	30 29.4%	19 18.6%	25 24.5%
					16 15.7%
	医療経営情報学科	2 2.4%	9 10.7%	10 11.9%	31 36.9%
					32 38.1%
学年別	男	16 7.2%	27 12.2%	37 16.7%	94 42.3%
					48 21.6%
	女	16 4.5%	43 12.0%	54 15.0%	151 42.1%
					95 26.5%
	2年	16 5.2%	43 13.9%	37 12.0%	140 45.3%
					73 23.6%
	4年 ※	16 5.9%	27 9.9%	54 19.9%	105 38.6%
					70 25.7%

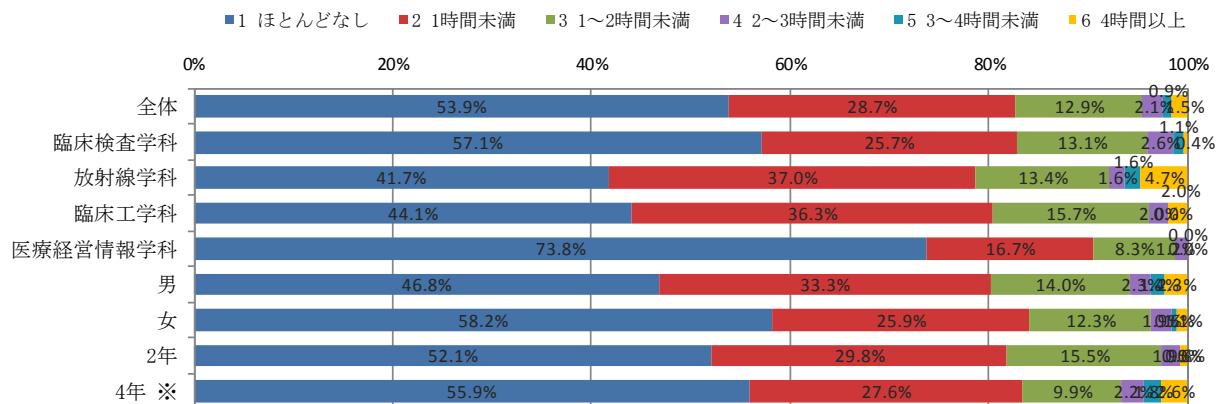
※医療経営情報学科は3年生

＜クラブ活動/ボランティア活動等についての考察：19. ボランティア活動参加有無＞

検査	「定期的に活動している」と「不定期に活動している」を合わせた割合は 13.1%（昨年度 11.6%）であり、何らかのボランティア活動を行っている学生の割合は学部平均（17.5%）より若干低かった。また「参加したことがない」と回答した学生の割合が 45.1%（昨年度 39.1%）、「参加したいが、時間や機械がない」と回答した学生の割合は 25.4%（昨年度 32.9%）であった。昨年度よりボランティア活動に参加したことがない学生が多く、また参加したいが時間や機会がないと答えた学生は減少していた。
放射	25.2%の学生は何らかのボランティア活動の経験がある。最も割合の高かったものは「参加したことがない」の 53.5%であり、学部平均よりも高かった。ボランティア活動に関心のない学生が多いことがわかった。
臨工	「定期的に活動している」と「不定期に活動している」と回答した学生は 41.2%であり、「以前は参加していたが、現在はしていない」が 18.6%で、何らかのボランティア活動の経験のある学生の割合は 59.8%となり、学部全体の割合に比べ約 2 倍高かった。「参加したことがない」が 24.5%、「活動したいが時間や機会がない」が 15.7%とボランティア活動経験のない学生の割合は 4 割であった。
医経	「定期的に活動している」、「不定期に活動している」を合わせた割合は 13.1%（昨年度 11.5%）であり、何らかのボランティア活動を行っている学生の割合は学部平均 17.5%（昨年度 15.3%）よりやや低値となった。「参加したいが、時間や機械がない」が 38.1%（昨年度 33.3%）と学部平均 24.6%より高い値を示しており、ボランティアに関心を示している率は他学科に比べて高い。

## ＜学修及び学校生活について＞

### 20. 予習時間



学年別	性別	学科別	有効回答者数	1日の平均予習時間はどれくらいですか					
				ほとんどなし	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3~4時間未満	4時間以上
4年 ※	男	医療経営情報学科	581	313	167	75	12	5	9
				53.9%	28.7%	12.9%	2.1%	0.9%	1.5%
3年	女	放射線学科	268	153	69	35	7	3	1
				57.1%	25.7%	13.1%	2.6%	1.1%	0.4%
2年	男	臨床工学科	127	53	47	17	2	2	6
				41.7%	37.0%	13.4%	1.6%	1.6%	4.7%
1年	女	臨床検査学科	102	45	37	16	2	0	2
				44.1%	36.3%	15.7%	2.0%	0.0%	2.0%
4年 ※	女	医療経営情報学科	84	62	14	7	1	0	0
				73.8%	16.7%	8.3%	1.2%	0.0%	0.0%
3年	男	放射線学科	222	104	74	31	5	3	5
				46.8%	33.3%	14.0%	2.3%	1.4%	2.3%
2年	女	臨床工学科	359	209	93	44	7	2	4
				58.2%	25.9%	12.3%	1.9%	0.6%	1.1%
1年	男	臨床検査学科	309	161	92	48	6	0	2
				52.1%	29.8%	15.5%	1.9%	0.0%	0.6%
4年 ※	女	医療経営情報学科	272	152	75	27	6	5	7
				55.9%	27.6%	9.9%	2.2%	1.8%	2.6%

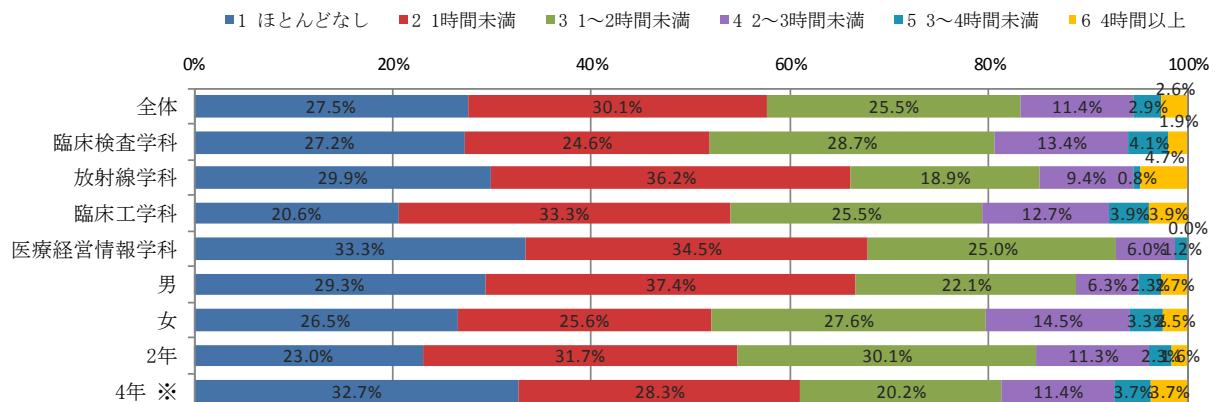
※医療経営情報学科は3年生

＜学修及び学校生活についての考察：20. 予習時間＞

検査	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 57.1%（昨年度 53.9%）であり、学部平均（53.9%）や昨年度比べ、若干高かった。予習を行っている学生の平均予習時間は「1 時間未満」が 25.7%（昨年度 34.6%）と最も高く、次いで「1～2 時間未満」13.1%（昨年度 8.2%）、「2～3 時間」2.6%（昨年度 3.3%）であった。昨年度と比較すると予習時間が少なくなっている傾向にある。
放射	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 41.7%であり、「1 時間未満」と合わせると 78.7%の学生が予習にほとんど時間を割いていないことが明らかとなった。ただし、この割合は学部全体でみると平均よりも低く、さらに「4 時間以上」が全体の 4.7%あり、学部内で最も高かった。
臨工	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 44.1%であり、学部全体の割合より約 10%低かった。予習を行っている学生の平均予習時間は「1 時間未満」が 36.3%と最も高く、次いで「1～2 時間」が 15.7%であった。
医経	「ほとんどなし」の回答が 73.8%（昨年度 65.4%）と学部中もっとも高い割合となった。予習するとした学生も、「1 時間未満」が 16.7%（昨年度 21.8%）で最大であり、昨年度と比較してより予習しなくなっている状況がうかがわれた。

## ＜学修及び学校生活について＞

### 21. 復習時間



有効回答者数	1日の平均復習時間はどれくらいですか						
	ほとんどなし	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3~4時間未満	4時間以上	
全体	581	160	175	148	66	17	15
		27.5%	30.1%	25.5%	11.4%	2.9%	2.6%
学科別	臨床検査学科	73	66	77	36	11	5
		27.2%	24.6%	28.7%	13.4%	4.1%	1.9%
	放射線学科	38	46	24	12	1	6
		29.9%	36.2%	18.9%	9.4%	0.8%	4.7%
	臨床工学科	21	34	26	13	4	4
		20.6%	33.3%	25.5%	12.7%	3.9%	3.9%
	医療経営情報学科	28	29	21	5	1	0
		33.3%	34.5%	25.0%	6.0%	1.2%	0.0%
性別	男	65	83	49	14	5	6
		29.3%	37.4%	22.1%	6.3%	2.3%	2.7%
	女	95	92	99	52	12	9
		26.5%	25.6%	27.6%	14.5%	3.3%	2.5%
学年別	2年	71	98	93	35	7	5
		23.0%	31.7%	30.1%	11.3%	2.3%	1.6%
	4年 ※	89	77	55	31	10	10
		32.7%	28.3%	20.2%	11.4%	3.7%	3.7%

※医療経営情報学科は3年生

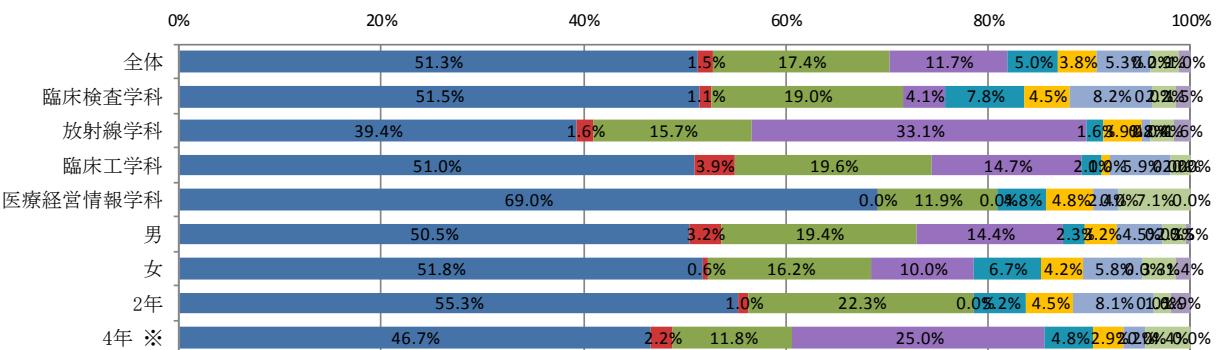
＜学修及び学校生活についての考察：21. 復習時間＞

検査	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 27.2%（昨年度 23.0%）であり、学部平均（27.5%）とはほぼ同じであったが、昨年度より若干高かった。復習を行っている学生の平均復習時間は「1～2 時間未満」が 28.7%（昨年度 28.0%）、次いで「1 時間未満」24.6%（昨年度 34.6%）、「2～3 時間」13.4%（昨年度 10.3%）であった。復習時間は昨年度と比べると増えている傾向を認めた。
放射	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 29.9%であり、学部内で 2 番目に高かった。「1 時間未満」は 36.2%と学部平均より若干高く、「1～2 時間」が 18.9%、「2～3 時間」が 9.4%、「3～4 時間」は 0.8%、4 時間以上が 4.7%であった。一部であるが非常に勤勉な学生がいることが確認された。
臨工	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 20.6%であった。平均復習時間は「1 時間未満」が 33.3%、次いで「1～2 時間未満」が 25.5%、「2～3 時間」が 12.7%であった。
医経	「ほとんどなし」が 33.3%（昨年度 44.9%）と学部中でもっとも高い割合を示したが、予習時間ほどの差はなかった。昨年度よりも全く復習しない学生の比率は減少していた。復習をするとした学生では「1 時間未満」が 34.5%（昨年度 26.9%）で最も多くなった。2 時間以上復習する学生は 7.1%（昨年度 6.5%）であり学部中もっとも低い割合であった。全体として復習時間は昨年度よりは若干増加傾向を示した。

## ＜学修及び学校生活について＞

### 22. 自主学修場所

■1 自宅 ■2 友人宅 ■3 教室 ■4 研究室 ■5 学生ホール・オープンスペース ■6 学生食堂 ■7 図書館 ■8 PC室 ■9 学外の飲食店 ■10 その他



有効回答者数	どこで自主学修することが多いですか										
	自宅	友人宅	教室	研究室	学生ホール・オープン	学生食堂	図書館	PC室	学外の飲食店	その他	
全体	581	298 51.3%	9 1.5%	101 17.4%	68 11.7%	29 5.0%	22 3.8%	31 5.3%	0 0.0%	17 2.9%	6 1.0%
臨床検査学科	268	138 51.5%	3 1.1%	51 19.0%	11 4.1%	21 7.8%	12 4.5%	22 8.2%	0 0.0%	6 2.2%	4 1.5%
放射線学科	127	50 39.4%	2 1.6%	20 15.7%	42 33.1%	2 1.6%	5 3.9%	1 0.8%	0 0.0%	3 2.4%	2 1.6%
臨床工学科	102	52 51.0%	4 3.9%	20 19.6%	15 14.7%	2 2.0%	1 1.0%	6 5.9%	0 0.0%	2 2.0%	0 0.0%
医療経営情報学科	84	58 69.0%	0 0.0%	10 11.9%	0 0.0%	4 4.8%	4 4.8%	2 2.4%	0 0.0%	6 7.1%	0 0.0%
男	272	112 50.5%	7 3.2%	43 19.4%	32 14.4%	5 2.3%	7 3.2%	10 4.5%	0 0.0%	5 2.3%	1 0.5%
女	0	186 51.8%	2 0.6%	58 16.2%	36 10.0%	24 6.7%	15 4.2%	21 5.8%	0 0.0%	12 3.3%	5 1.4%
2年	0	171 55.3%	3 1.0%	69 22.3%	0 0.0%	16 5.2%	14 4.5%	25 8.1%	0 0.0%	5 1.6%	6 1.9%
4年 ※	0	127 46.7%	6 2.2%	32 11.8%	68 25.0%	13 4.8%	8 2.9%	6 2.2%	0 0.0%	12 4.4%	0 0.0%

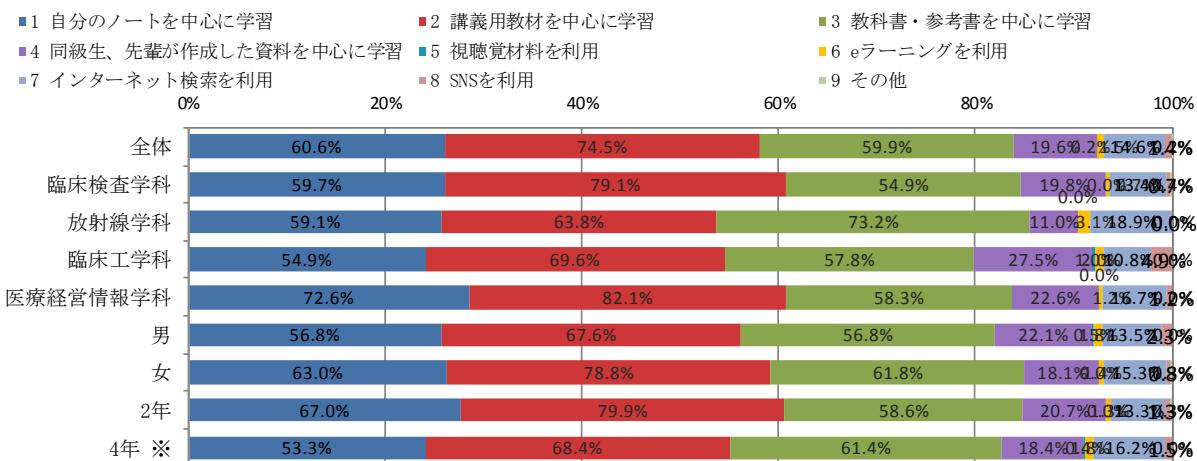
※医療経営情報学科は3年生

＜学修及び学校生活についての考察：22. 自主学修場所＞

検査	「自宅」と回答した学生の割合は 51.5%（昨年度 52.7%）、次いで「教室」19.0%（昨年度 17.3%）、「図書館」8.2%（昨年度 5.8%）であった。「図書館」と回答した学生の割合は、他学科と比べ最も高かった。
放射	最も割合が高かったのは「自宅」の 39.4%であった。次いで「研究室」と回答した学生が 33.1%であった。
臨工	「自宅」と回答した学生の割合は 51.0%、次いで「教室」19.6%であり、「研究室」14.7%、「図書館」5.9%であった。それぞれの割合は、学部全体の割合とほぼ同じであった。
医経	「自宅」とする学生が 69.0%（昨年度 71.8%）と学部中で突出して高い割合を示した。次は「教室」であり 11.9%（昨年度 16.7%）と学部平均 17.4%より低い値となった。「研究室」・「学生ホール・オープンスペース」・「学生食堂」・「図書館」といった学内の学修スペースを利用した自主学修は 11.9%（昨年度 3.9%）と学部平均 25.8%（昨年度 20.7%）と比べかなり低い値を示した。

## ＜学修及び学校生活について＞

### 23. 自主学修方法（複数回答 3 つ）



有効回答者数	自主学修をどのようにしますか									
	学習自分のノートを中心に学習	講義用教材を中心に学習	に教科書・参考書を中心に学習	た同級生、を中心先輩が学習成し	視聴覚材料を利用	eラーニングを利用	インターネット検索を利用	SNSを利用	その他	
全体	581	352	433	348	114	1	9	85	8	1
		60.6%	74.5%	59.9%	19.6%	0.2%	1.5%	14.6%	1.4%	0.2%
学科別	臨床検査学科	268	160	212	147	53	0	2	36	2
			59.7%	79.1%	54.9%	19.8%	0.0%	0.7%	13.4%	0.7%
	放射線学科	127	75	81	93	14	0	4	24	0
			59.1%	63.8%	73.2%	11.0%	0.0%	3.1%	18.9%	0.0%
	臨床工学科	102	56	71	59	28	1	2	11	5
			54.9%	69.6%	57.8%	27.5%	1.0%	2.0%	10.8%	4.9%
	医療経営情報学科	84	61	69	49	19	0	1	14	1
			72.6%	82.1%	58.3%	22.6%	0.0%	1.2%	16.7%	1.2%
性別	男	222	126	150	126	49	1	4	30	5
			56.8%	67.6%	56.8%	22.1%	0.5%	1.8%	13.5%	2.3%
	女	359	226	283	222	65	0	5	55	3
			63.0%	78.8%	61.8%	18.1%	0.0%	1.4%	15.3%	0.8%
学年別	2年	309	207	247	181	64	0	4	41	4
			67.0%	79.9%	58.6%	20.7%	0.0%	1.3%	13.3%	1.3%
	4年 ※	272	145	186	167	50	1	5	44	4
			53.3%	68.4%	61.4%	18.4%	0.4%	1.8%	16.2%	1.5%

※医療経営情報学科は3年生

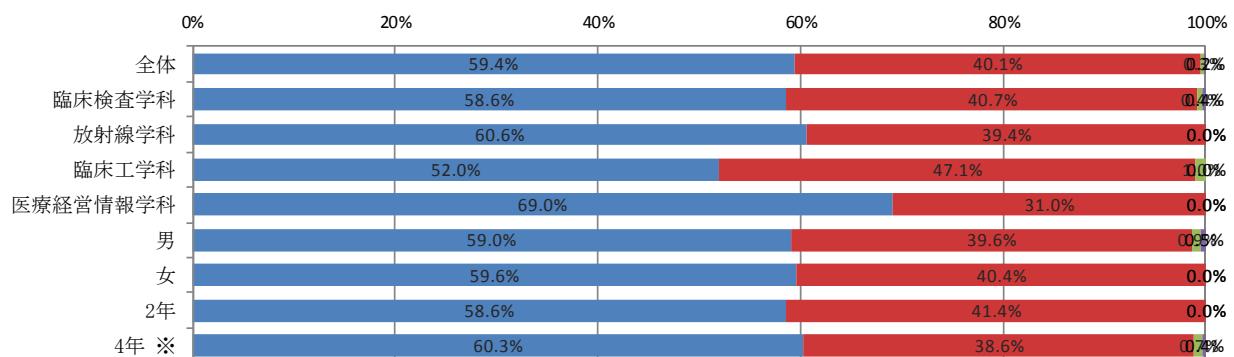
＜学修及び学校生活についての考察：23. 自主学修方法（複数回答3つ）＞

検査	「講義用教材を中心に学習」と回答した学生の割合は 79.1%（昨年度 81.9%）と最も高く、次いで「自分のノートを中心に学修」59.7%（昨年度 66.7%）、「教科書・参考書を中心に学習」54.9%（昨年度 62.6%）、「同級生、先輩が作成した資料を中心に学習」19.8%（昨年度 15.6%）であった。学部平均と比べ、「講義用教材を中心に学習」の割合が高く、「教科書・参考書を中心に学習」の割合が低かった。
放射	「教科書・参考書を中心に学習」が 73.2%で最も高く、次いで 63.8%の学生が「講義用教材を中心に学習」と回答した。今年度は2年生と4年生がほぼ同数であり、一般の講義のない4年生は国家試験を教科書・参考書で勉強し、2年生は試験対策として講義の教材を用いて勉強しているようである。
臨工	「講義用教材を中心に学習」と回答した学生の割合は 69.6%と最も高く、次いで「教科書・参考書を中心に学習」57.8%、「自分のノートを中心に学習」54.9%、「同級生、先輩が作成した資料を中心に学習」27.5%であった。学部全体の割合と同じ傾向を示した。
医経	回答の割合は、「講義用教材を中心に学修」82.1%（昨年度 73.1%）、「自分のノートを中心に学修」72.6%（昨年度 84.6%）、「教科書・参考書を中心に学修」58.3%（昨年度 57.7%）となった。他学科に比べ「自分のノートを中心に学修」の比率が若干高い傾向であった。昨年度との比較では、ノート中心の割合は低下し、講義用教材中心の割合が高くなかった。

## ＜学修及び学校生活について＞

### 24. 誰と自主学修

■1 自分一人で ■2 友人と一緒に ■3 教員と一緒に ■4 その他



学年別	学科別	性別	有効回答者数	誰と学修することが多いですか			
				自分一人で	友人と一緒に	教員と一緒に	その他
全体			581	345	233	2	1
				59.4%	40.1%	0.3%	0.2%
	臨床検査学科		268	157	109	1	1
				58.6%	40.7%	0.4%	0.4%
	放射線学科		127	77	50	0	0
				60.6%	39.4%	0.0%	0.0%
	臨床工学科		102	53	48	1	0
				52.0%	47.1%	1.0%	0.0%
	医療経営情報学科		84	58	26	0	0
				69.0%	31.0%	0.0%	0.0%
		男	222	131	88	2	1
				59.0%	39.6%	0.9%	0.5%
		女	359	214	145	0	0
				59.6%	40.4%	0.0%	0.0%
		2年	309	181	128	0	0
				58.6%	41.4%	0.0%	0.0%
		4年 ※	272	164	105	2	1
				60.3%	38.6%	0.7%	0.4%

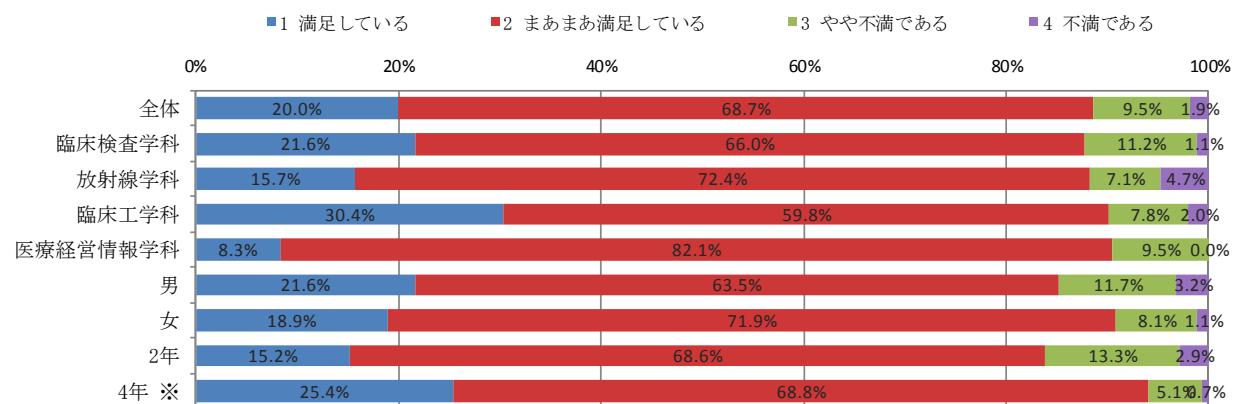
※医療経営情報学科は3年生

＜学修及び学校生活についての考察：24. 誰と自主学修＞

検査	「自分一人で」と回答した学生の割合は 58.6%（昨年度 62.6%）と最も高く、次いで「友人達と一緒に」 40.7%（昨年度 37.0%）であった。学部平均とほぼ同じであった。
放射	60.6%の学生が「自分一人で」と回答し学部平均よりもやや高かった。次いで「友人と一緒に」の割合が 39.4%であった。
臨工	「自分一人で」と回答した学生の割合は 52.0%と最も高く、次いで「友人達と一緒に」 47.1%であった。学部全体の割合とほぼ同じであった。
医経	「自分一人で」が 69.0%（昨年度 82.1%）、「友人とと一緒に」が 31.0%（昨年度 17.9%）と、他学科に比べ「自分一人で」学修している割合が 10 ポイントほど高い傾向であった。昨年度との比較では、「自分一人で」が約 13 ポイント減、そのまま「友人と一緒に」が約 13 ポイント増となり、他学科の比率に近づいた。

＜学修及び学校生活について＞

25. 講義実習満足度



学年別	性別	学科別	有効回答者数	講義・実習には満足していますか			
				満足している	まあまあ満足している	やや不満である	不満である
全体			581	116	399	55	11
				20.0%	68.7%	9.5%	1.9%
学科別		臨床検査学科	268	58	177	30	3
				21.6%	66.0%	11.2%	1.1%
学科別		放射線学科	127	20	92	9	6
				15.7%	72.4%	7.1%	4.7%
学科別		臨床工学科	102	31	61	8	2
				30.4%	59.8%	7.8%	2.0%
学科別		医療経営情報学科	84	7	69	8	0
				8.3%	82.1%	9.5%	0.0%
性別		男	222	48	141	26	7
				21.6%	63.5%	11.7%	3.2%
性別		女	359	68	258	29	4
				18.9%	71.9%	8.1%	1.1%
学年別		2年	309	47	212	41	9
				15.2%	68.6%	13.3%	2.9%
学年別		4年 ※	272	69	187	14	2
				25.4%	68.8%	5.1%	0.7%

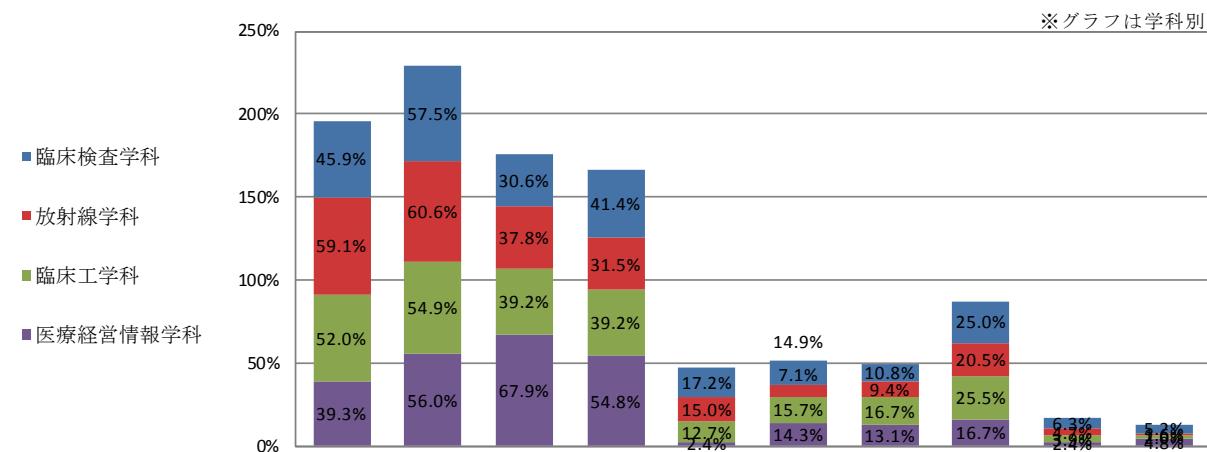
※医療経営情報学科は3年生

＜学修及び学校生活についての考察：25. 講義実習満足度＞

検査	「満足している」21.6%（昨年度 17.7%）と「まあまあ満足している」66.0%（昨年度 72.8%）を合計した割合は 88.7%（昨年度 90.5%）であり、学部平均（88.7%）および昨年度とほぼ同じであった。
放射	「満足している」と「まあまあ満足している」を合計した割合は 88.1%であり、学部平均（88.7%）と同じレベルであった。
臨工	「満足している」30.4%と「まあまあ満足している」59.8%を合計した割合は 90.2%であり、学部全体の割合とほぼ同等であった。「満足している」の割合は学部全体の割合より約 10%高かった。
医経	「満足している」と「まあまあ満足している」で合計 90.5%（昨年度 77.0%）であり、学部平均 88.6%（昨年度 87.1%）と同様の結果となった。ただ、「満足している」は 8.3%（昨年度 10.3%）と学部中で突出して低い値を示した。逆に「不満である」は他学科では数%の回答があったが、本学科は 0.0%（昨年度 7.7%）であった。

＜学修及び学校生活について＞

26. 教育制度不十分点 (複数回答3つ) - 学科別 -



学科別	性別	学年別	有効回答者数	教育や制度に関して、整備・充実してほしいものはなんですか									
				カリキュラム	授業・試験	資格・資格取得	講座・講座	就職支援・進路相談	額奨学金制度の新設や増	留学ラム	留学制度・海外研修	他学・海外との交流	テクニカルアブ
全体			581	284	334	227	237	80	77	69	133	29	22
				48.9%	57.5%	39.1%	40.8%	13.8%	13.3%	11.9%	22.9%	5.0%	3.8%
学科別	臨床検査学科		268	123	154	82	111	46	40	29	67	17	14
				45.9%	57.5%	30.6%	41.4%	17.2%	14.9%	10.8%	25.0%	6.3%	5.2%
	放射線学科		127	75	77	48	40	19	9	12	26	6	2
				59.1%	60.6%	37.8%	31.5%	15.0%	7.1%	9.4%	20.5%	4.7%	1.6%
	臨床工学科		102	53	56	40	40	13	16	17	26	4	2
				52.0%	54.9%	39.2%	39.2%	12.7%	15.7%	16.7%	25.5%	3.9%	2.0%
	医療経営情報学科		84	33	47	57	46	2	12	11	14	2	4
				39.3%	56.0%	67.9%	54.8%	2.4%	14.3%	13.1%	16.7%	2.4%	4.8%
性別	男		222	126	128	91	78	28	18	27	55	10	8
				56.8%	57.7%	41.0%	35.1%	12.6%	8.1%	12.2%	24.8%	4.5%	3.6%
性別	女		359	158	206	136	159	52	59	42	78	19	14
				44.0%	57.4%	37.9%	44.3%	14.5%	16.4%	11.7%	21.7%	5.3%	3.9%
学年別	2年		309	154	190	119	104	51	33	38	78	17	16
				49.8%	61.5%	38.5%	33.7%	16.5%	10.7%	12.3%	25.2%	5.5%	5.2%
学年別	4年 ※		272	130	144	108	133	29	44	31	55	12	6
				47.8%	52.9%	39.7%	48.9%	10.7%	16.2%	11.4%	20.2%	4.4%	2.2%

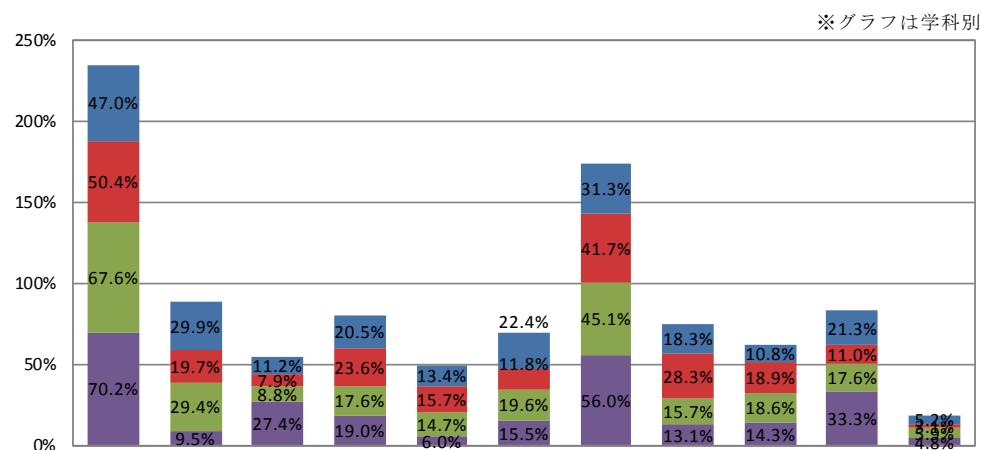
※医療経営情報学科は3年生

＜学修及び学校生活についての考察：26. 教育制度不十分点（複数回答3つ）—学科別—＞

検査	「授業・試験・成績などの教務情報」と回答した学生の割合が 57.5%（昨年度 61.3%）と最も高かった。次いで「カリキュラム」45.9%（昨年度 43.2%）、「就学支援・進路相談」41.1%（昨年度 49.8%）、「資格取得講座（対策授業）」30.6%（昨年度 34.2%）、「クラブ活動・ボランティア活動支援」25.0%（昨年度 29.2%）であった。学部平均と比べ、「資格取得講座（対策授業）」と回答した学生の割合は低かった。
放射	「授業・試験・成績などの教務情報」が 60.6%と最も高く、次いで「カリキュラム」59.1%、「資格取得講座（対策授業）」37.8%、「就職支援・進路相談」31.5%であった。例年同様ではあるが教務に関する不満が大きい。
臨工	「授業・試験・成績などの教務情報」と回答した学生の割合が 54.9%と最も高かった。次いで「カリキュラム」52.0%、「就学支援・進路相談」と「資格取得講座（対策授業）」がそれぞれ 39.2%、「クラブ活動・ボランティア活動支援」25.5%、「他学・海外との交流」16.7%、「留学制度・海外研修プログラム」15.7%であった。学部全体の割合とほぼ同じであった。
医経	講義・実習の満足度は、まあまあとする回答が多く「満足」という回答が突出して少なかったものの、教育制度面で不十分とし事項については、「カリキュラム」39.3%（昨年度 48.7%）、「授業・試験・成績などの教務情報」56.0%（昨年度 65.4%）と授業科目に関する事項は学部平均 48.9%、57.5%（昨年度 47.1%、62.5%）と比べやや低い値であった。 「資格取得講座（対策授業）」は 67.9%（昨年度 71.8%）と学部平均 39.1%（昨年度 34.2%）と比べ突出して高い値を示した。医経ではチャレンジする民間の認定資格が多数あるため相対的に対策時間が少なくなっていることが原因と考えられる。「就職支援・進路相談」も 54.8%（昨年度 50.0%）と学部平均 40.8%（昨年度 40.1%）より高い値を示した。医経は 2,3 年生へのアンケート調査であるため、実質的な就職支援が行われる前の段階の調査であることが原因と考えられる。「クラブ活動・ボランティア活動支援」は 16.7%（昨年度 11.5%）と学部平均 22.9%（昨年度 24.4%）に比べ大きく低値となり、関心の低さがうかがえた。

＜学修及び学校生活について＞

G-12. キャンパス施設・設備改善要望点 (複数回答3つ) - 学科別



学科別	性別	学年別	有効回答者数	キャンパス内の施設・設備について、整備・充実してほしいものは何ですか										
				教室・実習室	図書館	室P	インター ネット環境	体育館等 スポーツ施設	クラブ活動の設備・施設	食堂	駐輪場	駐車場	学生ホール・ラウンジ	その他
全体			581	318	143	72	119	76	108	230	112	84	117	28
				54.7%	24.6%	12.4%	20.5%	13.1%	18.6%	39.6%	19.3%	14.5%	20.1%	4.8%
臨床検査学科			268	126	80	30	55	36	60	84	49	29	57	14
				47.0%	29.9%	11.2%	20.5%	13.4%	22.4%	31.3%	18.3%	10.8%	21.3%	5.2%
放射線学科			127	64	25	10	30	20	15	53	36	24	14	4
				50.4%	19.7%	7.9%	23.6%	15.7%	11.8%	41.7%	28.3%	18.9%	11.0%	3.1%
臨床工学科			102	69	30	9	18	15	20	46	16	19	18	6
				67.6%	29.4%	8.8%	17.6%	14.7%	19.6%	45.1%	15.7%	18.6%	17.6%	5.9%
医療経営情報学科			84	59	8	23	16	5	13	47	11	12	28	4
				70.2%	9.5%	27.4%	19.0%	6.0%	15.5%	56.0%	13.1%	14.3%	33.3%	4.8%
男			222	121	48	39	53	44	44	107	42	27	32	12
				54.5%	21.6%	17.6%	23.9%	19.8%	19.8%	48.2%	18.9%	12.2%	14.4%	5.4%
女			359	197	95	33	66	32	64	123	70	57	85	16
				54.9%	26.5%	9.2%	18.4%	8.9%	17.8%	34.3%	19.5%	15.9%	23.7%	4.5%
2年			309	183	73	37	66	49	64	128	59	41	50	15
				59.2%	23.6%	12.0%	21.4%	15.9%	20.7%	41.4%	19.1%	13.3%	16.2%	4.9%
4年 ※			272	135	70	35	53	27	44	102	53	43	67	13
				49.6%	25.7%	12.9%	19.5%	9.9%	16.2%	37.5%	19.5%	15.8%	24.6%	4.8%

※医療経営情報学科は3年生

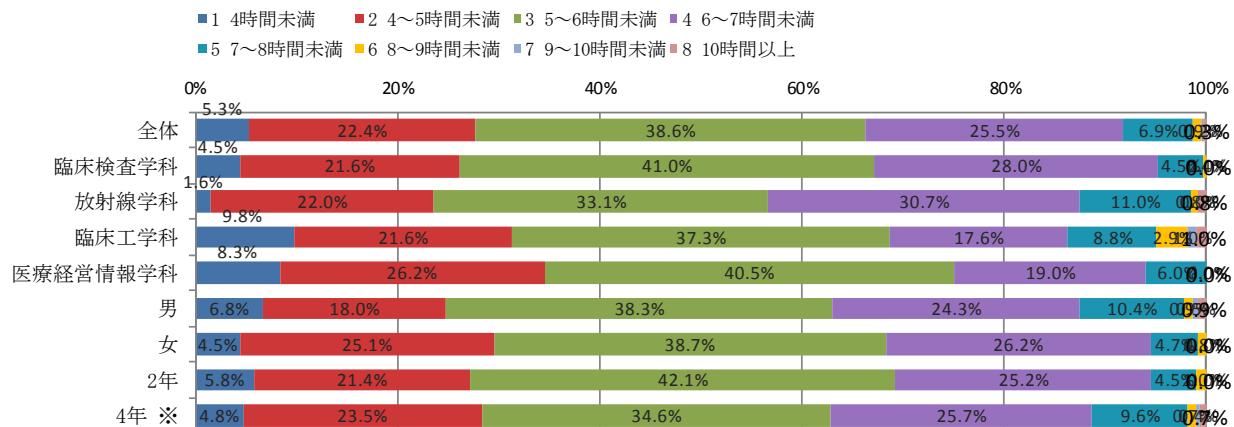
＜学修及び学校生活についての考察：

27. キャンパス施設・設備改善要求点（複数回答3つ）—学科別—

検査	「教室・実習室」が47.0%（昨年度48.1%）と最も高く、次いで「食堂」31.3%（昨年度30.0%）、「図書館」29.9%（昨年度22.6%）、「クラブ活動の設備・施設」22.4%（昨年度26.7%）であった。学部平均と比べると「教室・実習室」や「食堂」と回答した学生の割合は低いが、「図書館」や「クラブ活動の設備・施設」と回答した学生の割合が高かった。
放射	「教室・実習室」が50.4%と最も高く、他には「食堂」41.7%、「駐輪場」28.3%が高い。これらは建物の古さや5号館の立地に起因していると考えられる。
臨工	「教室・実習室」が67.6%と最も高く、次いで「食堂」45.1%、「クラブ活動の設備・施設」19.6%、「駐車場」18.6%であった。学部全体の割合に比べ「教室・実習室」、「食堂」の割合が高かった。
医経	「教室・実習室」が70.2%（昨年度80.8%）と昨年度同様に最も高い値を示した。新しい大学3号館に対して大学6号館の古さ・狭さからの不満の現れと推察される。次いで「食堂」が56.0%（昨年度42.3%）と昨年度と同様に高い値となっている。学生食堂に最も近い学科であり利便性もよく、リニューアルもしたことで満足度が上がって然るべきだが、リニューアル効果も段々と薄れ、より高度な要求をするようになってきたのかもしれない。その次に「PC教室など情報計教室」が27.4%（昨年度23.1%）と昨年度同様に学部平均と比較し高い値となっている。他学科に比べPC室が2室整備されるなど格段に良好な環境が整備されているが、利用環境があるゆえに更なる要望もあると考えられる。「体育館等スポーツ施設」は6.0%（昨年度3.8%）と学部平均13.1%（昨年度15.0%）より低い値を示しており、体育会系クラブの所属者が少ないことが推察された。

## ＜健康について＞

### 28. 睡眠時間



学年別	性別	学科別	有効回答者数	平均睡眠時間はどれくらいですか							
				4時間未満	4時間未満	5時間未満	6時間未満	7時間未満	8時間未満	9時間未満	10時間以上
全体			581	31	130	224	148	40	5	1	2
				5.3%	22.4%	38.6%	25.5%	6.9%	0.9%	0.2%	0.3%
学科別		臨床検査学科	268	12	58	110	75	12	1	0	0
				4.5%	21.6%	41.0%	28.0%	4.5%	0.4%	0.0%	0.0%
		放射線学科	127	2	28	42	39	14	1	0	1
				1.6%	22.0%	33.1%	30.7%	11.0%	0.8%	0.0%	0.8%
		臨床工学科	102	10	22	38	18	9	3	1	1
				9.8%	21.6%	37.3%	17.6%	8.8%	2.9%	1.0%	1.0%
		医療経営情報学科	84	7	22	34	16	5	0	0	0
				8.3%	26.2%	40.5%	19.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別		男	222	15	40	85	54	23	2	1	2
				6.8%	18.0%	38.3%	24.3%	10.4%	0.9%	0.5%	0.9%
学年別		女	359	16	90	139	94	17	3	0	0
				4.5%	25.1%	38.7%	26.2%	4.7%	0.8%	0.0%	0.0%
		2年	309	18	66	130	78	14	3	0	0
				5.8%	21.4%	42.1%	25.2%	4.5%	1.0%	0.0%	0.0%
		4年 ※	272	13	64	94	70	26	2	1	2
				4.8%	23.5%	34.6%	25.7%	9.6%	0.7%	0.4%	0.7%

※医療経営情報学科は3年生

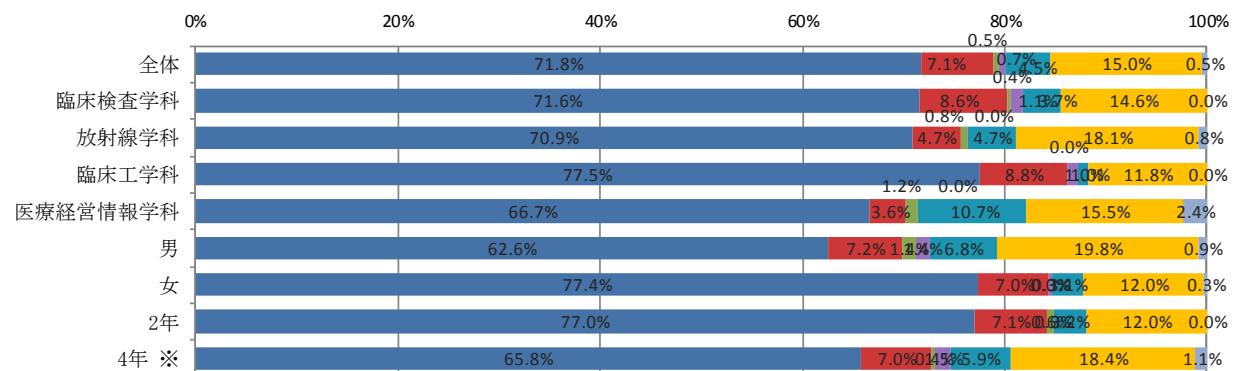
＜健康についての考察：28. 睡眠時間＞

検査	「5～6 時間」が 41.0%（昨年度 42.8%）と最も高く、次いで「6～7 時間」28.0%（昨年度 26.7%）であった。学部平均とほぼ同じであったが、睡眠時間が約 4 時間未満の学生の割合が 4.5%（昨年度 4.9%）であったとから、少数とはいえ、これらの学生の寝不足による体調不良が懸念される。
放射	「5～6 時間」が 33.1%と最も高く、次いで「6～7 時間」が 30.7%であり、他学科よりも睡眠時間は長く良好な傾向にある。
臨工	「5～6 時間」が 37.3%と最も高く、次いで「4～5 時間未満」が 21.6%、「6～7 時間」17.6%であった。睡眠時間が約 4 時間未満の学生の割合は 9.8%であった。
医経	睡眠時間を 6 時間以上とする割合は 25.0%（昨年度 24.4%）と学部平均 33.7%（昨年度 28.9%）より低くなっている。5 時間未満である割合は 34.5%（昨年度 33.3%）と他学科と比べもっとも高い値（学部平均 27.7%）である。自宅から公共交通機関による遠距離通学者が多く、平日のアルバイトの比率が高い傾向にあり、自主学修時間やクラブ参加は学部中で最も少なくなっている、アルバイトもレジャー目的の割合が高いという本学科学生の特徴より、帰宅後に遊興・趣味など学修以外のことに費やす時間を確保することから睡眠時間が圧迫されている状況が示唆された。

## ＜健康について＞

### 29-1. 食事について…朝食

- 1 自宅・下宿での自炊
- 3 学内の食堂
- 5 コンビニやファーストフード等で弁当などを購入
- 7 その他
- 2 持参したおにぎりや弁当
- 4 学外の飲食店等
- 6 ほとんど食べない

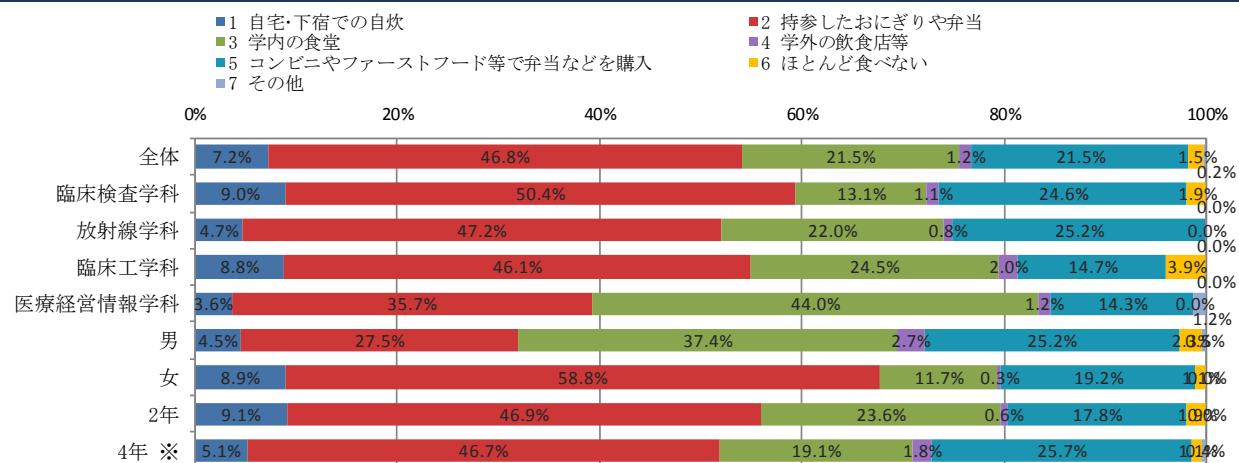


学科別	性別	学年別	有効回答者数	朝食はどのようにとっていますか						
				自宅・下宿での自炊	持参したおにぎりや弁	学内の食堂	学外の飲食店等	購入コンビニ等でや	ほとんど食べない	その他
全体			581	417	41	3	4	26	87	3
				71.8%	7.1%	0.5%	0.7%	4.5%	15.0%	0.5%
臨床検査学科			268	192	23	1	3	10	39	0
				71.6%	8.6%	0.4%	1.1%	3.7%	14.6%	0.0%
放射線学科			127	90	6	1	0	6	23	1
				70.9%	4.7%	0.8%	0.0%	4.7%	18.1%	0.8%
臨床工学科			102	79	9	0	1	1	12	0
				77.5%	8.8%	0.0%	1.0%	1.0%	11.8%	0.0%
医療経営情報学科			84	56	3	1	0	9	13	2
				66.7%	3.6%	1.2%	0.0%	10.7%	15.5%	2.4%
男			222	139	16	3	3	15	44	2
				62.6%	7.2%	1.4%	1.4%	6.8%	19.8%	0.9%
女			359	278	25	0	1	11	43	1
				77.4%	7.0%	0.0%	0.3%	3.1%	12.0%	0.3%
2年			309	238	22	2	0	10	37	0
				77.0%	7.1%	0.6%	0.0%	3.2%	12.0%	0.0%
4年 ※			272	179	19	1	4	16	50	3
				65.8%	7.0%	0.4%	1.5%	5.9%	18.4%	1.1%

※医療経営情報学科は3年生

## ＜健康について＞

### 29-2. 食事について…昼食

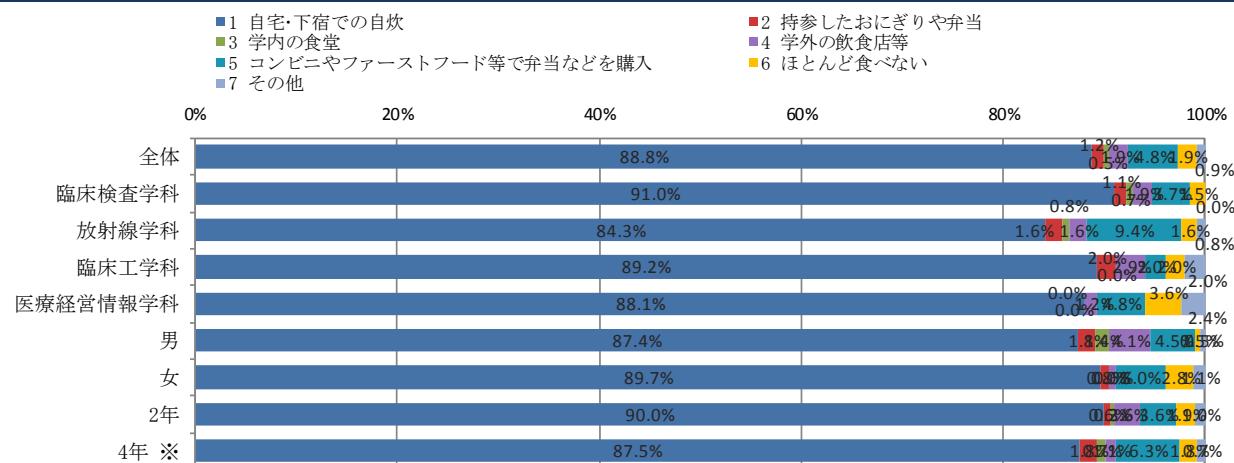


有効回答者数	昼食はどのようにとっていますか								
	自宅・下宿での自炊	持参したおにぎりや弁当	学内の食堂	学外の飲食店等	購入コンビニ等でやつらアなどスト	ほとんど食べない	その他		
全体	581	42 7.2%	272 46.8%	125 21.5%	7 1.2%	125 21.5%	9 1.5%	1 0.2%	
学科別	臨床検査学科	268	24 9.0%	135 50.4%	35 13.1%	3 1.1%	66 24.6%	5 1.9%	0 0.0%
	放射線学科	127	6 4.7%	60 47.2%	28 22.0%	1 0.8%	32 25.2%	0 0.0%	0 0.0%
	臨床工学科	102	9 8.8%	47 46.1%	25 24.5%	2 2.0%	15 14.7%	4 3.9%	0 0.0%
	医療経営情報学科	84	3 3.6%	30 35.7%	37 44.0%	1 1.2%	12 14.3%	0 0.0%	1 1.2%
性別	男	222	10 4.5%	61 27.5%	83 37.4%	6 2.7%	56 25.2%	5 2.3%	1 0.5%
	女	359	32 8.9%	211 58.8%	42 11.7%	1 0.3%	69 19.2%	4 1.1%	0 0.0%
学年別	2年	309	28 9.1%	145 46.9%	73 23.6%	2 0.6%	55 17.8%	6 1.9%	0 0.0%
	4年 ※	272	14 5.1%	127 46.7%	52 19.1%	5 1.8%	70 25.7%	3 1.1%	1 0.4%

※医療経営情報学科は3年生

## ＜健康について＞

### 29-3. 食事について…夕食



学科別	性別	学年別	有効回答者数	夕食はどのようにとっていますか						
				自宅・下宿での自炊	持参したおにぎりや弁当	学内の食堂	学外の飲食店等	購入コンビニ等でやフード等でや弁当などをスト	ほとんど食べない	その他
全体			581	516	7	3	11	28	11	5
				88.8%	1.2%	0.5%	1.9%	4.8%	1.9%	0.9%
臨床検査学科			268	244	3	2	5	10	4	0
				91.0%	1.1%	0.7%	1.9%	3.7%	1.5%	0.0%
放射線学科			127	107	2	1	2	12	2	1
				84.3%	1.6%	0.8%	1.6%	9.4%	1.6%	0.8%
臨床工学科			102	91	2	0	3	2	2	2
				89.2%	2.0%	0.0%	2.9%	2.0%	2.0%	2.0%
医療経営情報学科			84	74	0	0	1	4	3	2
				88.1%	0.0%	0.0%	1.2%	4.8%	3.6%	2.4%
男			222	194	4	3	9	10	1	1
				87.4%	1.8%	1.4%	4.1%	4.5%	0.5%	0.5%
女			359	322	3	0	2	18	10	4
				89.7%	0.8%	0.0%	0.6%	5.0%	2.8%	1.1%
2年			309	278	2	1	8	11	6	3
				90.0%	0.6%	0.3%	2.6%	3.6%	1.9%	1.0%
4年 ※			272	238	5	2	3	17	5	2
				87.5%	1.8%	0.7%	1.1%	6.3%	1.8%	0.7%

※医療経営情報学科は3年生

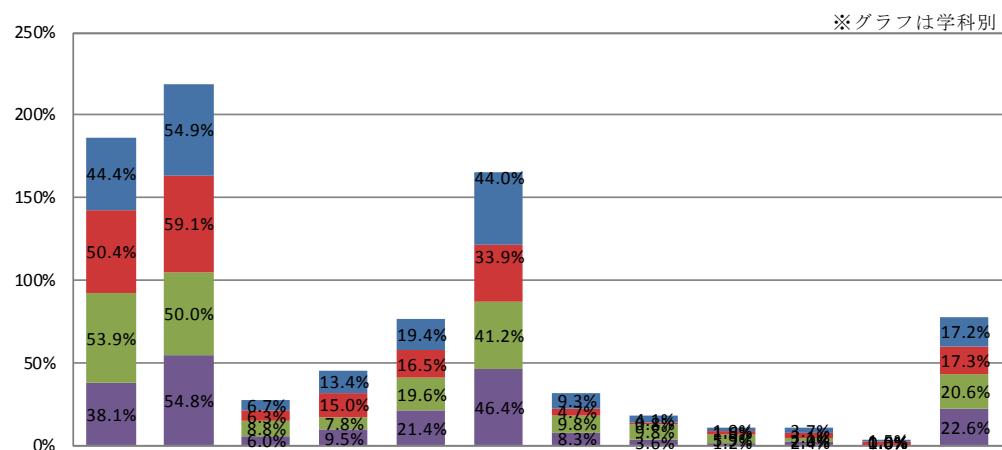
＜健康についての考察：

29-1. 食事について…朝食／29-2. 食事について…昼食／29-3. 食事について…夕食＞

検査	朝食は「自宅・下宿での自炊」が 71.6%（昨年度 72.8%）と最も多く、次いで「ほとんど食べない」14.6%（昨年度 14.8%）、「持参したおにぎりや弁当」8.6%（昨年度 6.6%）であった。学部平均とほぼ同様の傾向であった。一日の生活リズムや体調を整えるためにも朝食は摂るべきであるが、約 15%の学生が朝食を食べていなかった。昼食は「持参したおにぎりや弁当」が 50.4%（昨年度 60.5%）と最も多く、次いで「コンビニやファーストフード等で弁当などを購入」24.6%（昨年度 20.2%）、「学内の食堂」13.1%（昨年度 11.1%）であった。学部平均と比べると、学内の食堂を利用している学生が少なかった。夕食は「自宅・下宿での自炊」が 91.0%（昨年度 90.5%）と最も多く、次いで「コンビニやファーストフード等で弁当などを購入」3.7%（昨年度 3.3%）であった。学部平均とほぼ同じ傾向であった。
放射	朝食は「自宅・下宿での自炊」が 70.9%と最も高かった。朝食を摂っていない学生の割合は 18.1%であった。昼食は「持参したおにぎりや弁当」が 47.2%と最も高かった。夕食については「自宅・下宿での自炊」が 84.3%で最も高かった。
臨工	朝食は「自宅・下宿での自炊」が 77.5%と最も高かった。朝食を摂っていない学生の割合は 11.8%であった。他学科の割合と比較すると朝食を摂っている学生の割合は最も高かった。昼食は、「持参した弁当やおにぎり」が 46.1%、次いで「学内の食堂」が 24.5%、「コンビニやファーストフード等で弁当などを購入」14.7%であった。全員が昼食を摂取していた。夕食は「自宅・下宿での自炊」が 88.2%と最も多く、次いで「学外の飲食店等」2.9%であった。
医経	朝食は「自宅・下宿での自炊」が 66.7%（昨年度 61.6%）と一番高い比率であったが、自宅学生の比率が他学科より高いにも関わらず「コンビニやファーストフード等で弁当などを購入」が 10.7%と学部平均 4.5%より高い比率となっており、通学時間が長いため早朝に自宅を出発する必要があることから通学途中で朝食を購入している学生がいると推察される。また、「ほとんど食べない」が 15.5%と昨年度 26.0%より減少したが、他学科とほぼ同様の値であった。朝食抜きの学生は午前の授業をまともに受けられると考えられず、指導が必要である。 昼食については「学内の食堂」が 44.0%と学部平均 21.5%と比べ突出して高い比率となり、昨年度の 17.8%より大幅に利用率が高くなった。そもそも本学科は学生食堂に隣接しており利用率が高くなるはずであるが、学食リニューアルから経過するとともに旧学食のイメージが薄れ、利用率があがったのかもしれない。また学食利用率が高まったのに伴い、改善要望も多くなっていると考えられた。 夕食は「自宅・下宿での自炊」が 88.1%（昨年度 83.6%）と高く、全体的な比率は学部平均とほぼ同様であった。また、夕食を「ほとんど食べない」とする割合が 3.6%あり、値は低いものの学部平均 1.9%より高い値となった。

＜その他悩み事について＞

30. 悩み事 (複数回答) - 学科別 -



学科別	性別	学年別	有効回答者数	現在悩んでいることは何ですか											
				金銭面	学習面	クラブ関係	健康上の問題	性格や能力について	就職・将来の進路	友人関係	異性問題	性の問題	家庭の問題	その他	特に悩んでいない
全体			581	270	319	40	71	111	242	48	25	14	18	7	108
				46.5%	54.9%	6.9%	12.2%	19.1%	41.7%	8.3%	4.3%	2.4%	3.1%	1.2%	18.6%
学科別	臨床検査学科		268	119	147	18	36	52	118	25	11	5	10	4	46
				44.4%	54.9%	6.7%	13.4%	19.4%	44.0%	9.3%	4.1%	1.9%	3.7%	1.5%	17.2%
	放射線学科		127	64	75	8	19	21	43	6	1	2	4	2	22
				50.4%	59.1%	6.3%	15.0%	16.5%	33.9%	4.7%	0.8%	1.6%	3.1%	1.6%	17.3%
	臨床工学科		102	55	51	9	8	20	42	10	10	6	2	1	21
				53.9%	50.0%	8.8%	7.8%	19.6%	41.2%	9.8%	9.8%	5.9%	2.0%	1.0%	20.6%
	医療経営情報学科		84	32	46	5	8	18	39	7	3	1	2	0	19
				38.1%	54.8%	6.0%	9.5%	21.4%	46.4%	8.3%	3.6%	1.2%	2.4%	0.0%	22.6%
性別	男		222	114	114	15	31	44	82	24	15	10	7	3	40
				51.4%	51.4%	6.8%	14.0%	19.8%	36.9%	10.8%	6.8%	4.5%	3.2%	1.4%	18.0%
	女		359	156	205	25	40	67	160	24	10	4	11	4	68
				43.5%	57.1%	7.0%	11.1%	18.7%	44.6%	6.7%	2.8%	1.1%	3.1%	1.1%	18.9%
学年別	2年		309	147	197	32	39	65	116	33	15	8	11	3	52
				47.6%	63.8%	10.4%	12.6%	21.0%	37.5%	10.7%	4.9%	2.6%	3.6%	1.0%	16.8%
	4年 ※		272	123	122	8	32	46	126	15	10	6	7	4	56
				45.2%	44.9%	2.9%	11.8%	16.9%	46.3%	5.5%	3.7%	2.2%	2.6%	1.5%	20.6%

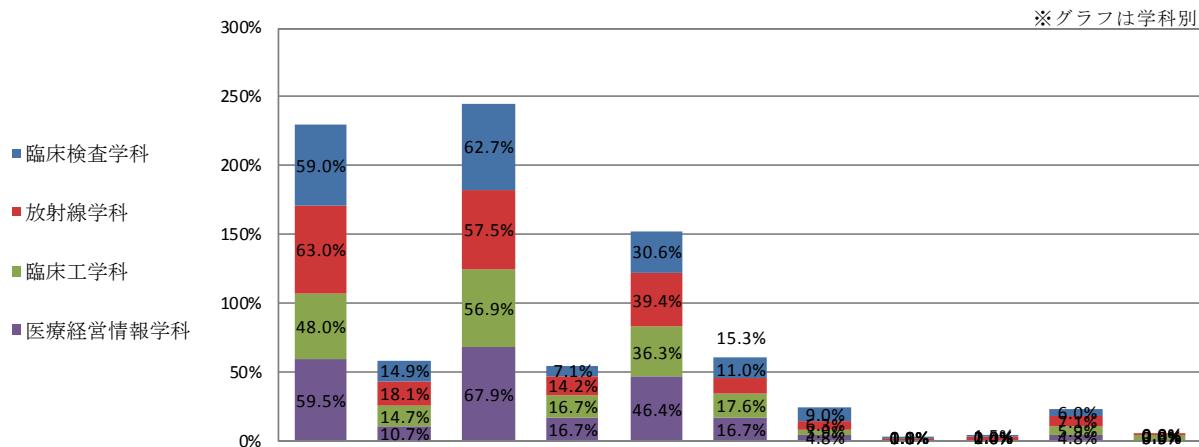
※医療経営情報学科は3年生

＜その他悩み事についての考察：30. 悩み事（複数回答）—学科別—＞

検査	「学修面」が 54.9%（昨年度 57.6%）と最も多く、次いで「金銭面」44.4%（昨年度 46.5%）、「就職・将来の進路」44.0%（昨年度 46.9%）であった。また「特に悩んでいない」と回答した学生の割合は 17.2%（昨年度 16.0%）であった。学部平均とほぼ同様の傾向であった。
放射	「学習面」が 59.1%と最も高かった。次いで「金銭面」と高かった。全体的な傾向は他学科と大きな相違は無かった。
臨工	「金銭面」が 53.9%と最も多く、次いで「学習面」50.0%、「就職・将来の進路」41.2%、「性格や能力について」19.6%であった。また「特に悩んでいない」と回答した学生の割合は 20.6%であった。
医経	全体的な傾向は学部平均と概ね同様であり、昨年度とも同様であった。学科内で最も高い割合となったのは「学習面」54.8%（昨年度 57.7%）であった。講義・実習に不満がある学生が多い反面、自ら「学修面」で悩んでいる者は学部平均並であった。他学科と傾向が多少異なるものは、「就職・将来の進路」が 46.4%（昨年度 51.3%）と学部平均 41.7%（昨年度 40.6%）と比べ高い値となった。本学科の事務系医療専門職を養成するという教育目標の理解が進んでいないことが推察される。種々のアンケート項目から不満や要望の声が上がっているものの、本人の自覚としては「特に悩んでいない」とする学生が 22.6%（昨年度 19.2%）と学部平均 18.6%（昨年度 16.0%）より高い割合を示している。教員の立場より実感している『学生の危機感のなさ』が反映されている結果と考えられる。

＜その他悩み事について＞

31. 相談相手 (複数回答) - 学科別 -



学科別	有効回答者数	学生生活上の悩み・不安や困った時に相談しやすいのはどなたですか										
		親	兄弟	同級生	先輩・後輩	学外の友人	恋人	教員	職員	保健室(カウンセラ)	相談する人がいない	その他
全体	581	337	87	356	68	208	87	40	5	8	35	5
		58.0%	15.0%	61.3%	11.7%	35.8%	15.0%	6.9%	0.9%	1.4%	6.0%	0.9%
臨床検査学科	268	158	40	168	19	82	41	24	3	4	16	0
		59.0%	14.9%	62.7%	7.1%	30.6%	15.3%	9.0%	1.1%	1.5%	6.0%	0.0%
放射線学科	127	80	23	73	18	50	14	8	1	3	9	1
		63.0%	18.1%	57.5%	14.2%	39.4%	11.0%	6.3%	0.8%	2.4%	7.1%	0.8%
臨床工学科	102	49	15	58	17	37	18	4	1	1	6	4
		48.0%	14.7%	56.9%	16.7%	36.3%	17.6%	3.9%	1.0%	1.0%	5.9%	3.9%
医療経営情報学科	84	50	9	57	14	39	14	4	0	0	4	0
		59.5%	10.7%	67.9%	16.7%	46.4%	16.7%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%
性別	男	113	35	124	35	61	28	20	2	4	20	3
		50.9%	15.8%	55.9%	15.8%	27.5%	12.6%	9.0%	0.9%	1.8%	9.0%	1.4%
女	359	224	52	232	33	147	59	20	3	4	15	2
		62.4%	14.5%	64.6%	9.2%	40.9%	16.4%	5.6%	0.8%	1.1%	4.2%	0.6%
学年別	2年	179	41	184	33	116	42	11	3	7	20	3
		57.9%	13.3%	59.5%	10.7%	37.5%	13.6%	3.6%	1.0%	2.3%	6.5%	1.0%
4年※	272	158	46	172	35	92	45	29	2	1	15	2
		58.1%	16.9%	63.2%	12.9%	33.8%	16.5%	10.7%	0.7%	0.4%	5.5%	0.7%

※医療経営情報学科は3年生

＜その他悩み事についての考察：31. 相談相手（複数回答）—学科別—＞

検査	「同級生」が 62.7%（昨年度 63.8%）と最も高く、次いで「親」59.0%（昨年度 60.9%）、「学外の友人」30.6%（昨年度 31.7%）であった。学部平均とほぼ同様の傾向であった。
放射	「親」が 63.0%と最も高く、次いで「同級生」57.5%、「学外の友人」39.4%であった。また、7.1%の学生は「相談する人がいない」と回答している。
臨工	「同級生」が 56.9%と最も高く、次いで「親」48.0%、「学外の友人」36.3%であった。学部全体の割合とほぼ同じであった。
医経	全体的な傾向は学部平均と概ね同様であった。最も割合が高かったのは「同級生」67.9%（昨年度 44.9%）、次が「親」59.5%（昨年度 59.0%）であった。昨年度と比べると「同級生」の比率が増加した。他学科と比べ異なる傾向が見られるのは、「学外の友人」46.4%（昨年度 44.9%）であり、学部平均 35.8%より高い値となった。本学科で医療事務系専門職の教育を受けることに積極でない学生が、他分野の大学に進学した友人に相談をする状況が推察された。



### 3. 自由記載の分析

### 3. 1. 臨床検査学科

臨床検査学科における 2018 年度調査と 2019 年度調査の概要及び比較

#### 1) 対象学生について

学生数 (単位: 人)

	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学生数	26	113	31	73	37	118	26	87
計		139		104		155		113

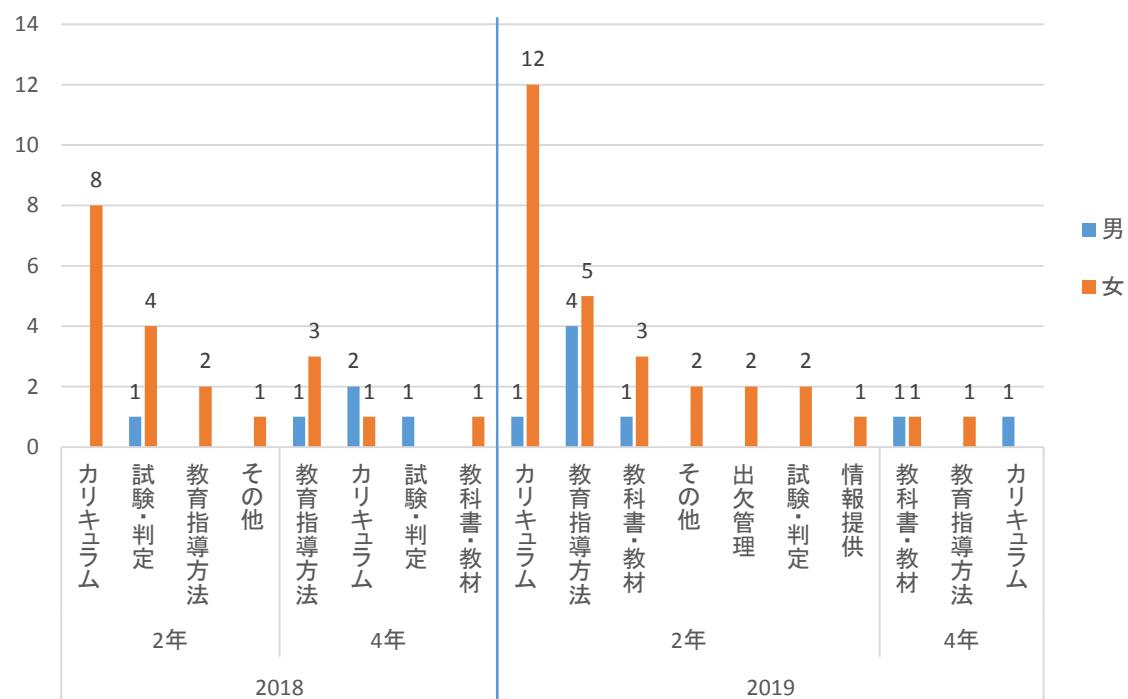
#### 2) 教育内容

##### 2-1) 回答率

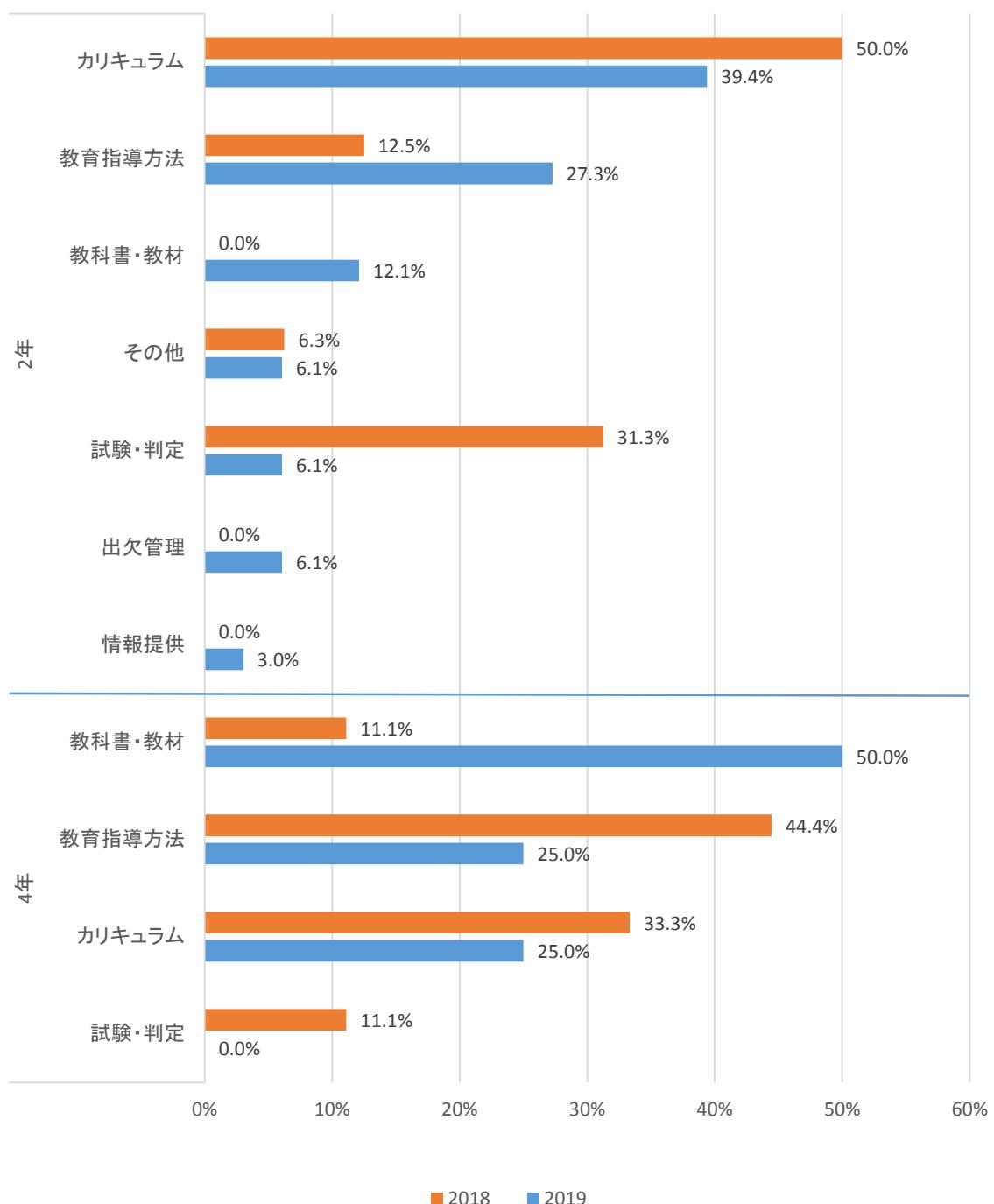
	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	1	15	4	5	6	27	2	2
回答率	3.8%	13.3%	12.9%	6.8%	16.2%	22.9%	7.7%	2.3%
学年回答率	11.5%		8.7%		21.3%		3.5%	

##### 2-2) 教育内容に関する回答内容の内訳

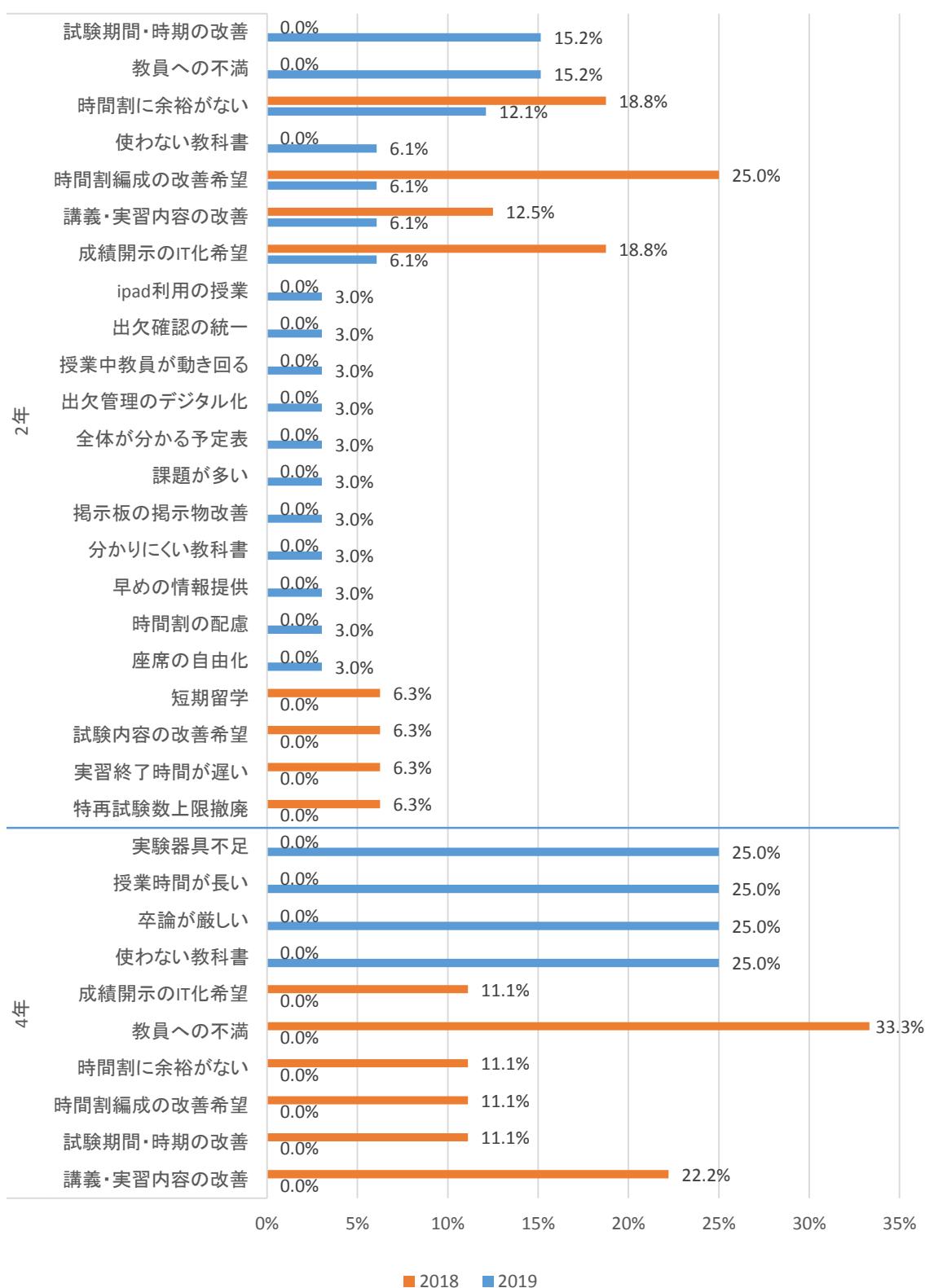
(単位: 人)



## 2-3) 教育内容に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



## 2-4) 教育内容に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



## 2-5) 小括

2019 度の回答率は、2018 年度と比べ、教育内容に関する意見を記載した学生数（回答率）は増加した。2018 年度は 2017 年度と比べても回答率が低く、2018 年度から開始した Moodle を用いた回答方法

に慣れていなかったことが 2018 年度の回答率に影響した可能性がある。Moodle は授業等でも使用されるため、2019 年度には学生も慣れたため、回答率が上がったのではないかと推察する。2019 年度で意見が最も多かったのは、2 年生では「カリキュラム」に関する内容であり (50%)、次いで「教育指導方法」27.3%、「教科書・教材」12.1%、「試験・判定」および「出欠管理」がそれぞれ 6.1% であった。4 年生は「教科書・教材」に関する内容が最も多く (50%)、次いで「教育指導方法」および「カリキュラム」に関する内容が、それぞれ 25.0% であった。

2018 年度と比較すると、2 年生で最も多かった意見が「カリキュラム」に関する内容であることに変わりはなかった。詳細は、「時間割に余裕がない」、「時間割編成の改善希望」等に関するものであった。次いで多かったのは、「教育指導方法」であった。「教育指導方法」の詳細については、「教員への不満」が多くなっており、講義方法に対する不満が増加していた。4 年生で最も意見が多かった「教科書・教材」に関する内容の詳細は、「使用しない教科書」および「実験器具不足」についてであった。

2 年生ではカリキュラムに関する意見が多かったが、現在の 4 年生から始まった新しいカリキュラムは社会的要請に応じた講義・演習等を新たに加えるなど、講義や実習について抜本的な見直しを行い、また旧カリキュラムよりスリム化した時間割となった。しかし、依然として時間割やカリキュラムに関する意見が多い。医療系学科であるため、講義や実習が多く、空き時間が少ないことを反映していると推察する。また、2 年生では「教員への不満」に関する意見が増加していた。レジュメや教科書を読んでいるだけの教員がいるとの指摘があり、このような講義を行っている教員は、学生が有意義と感じる講義となるよう講義方法の改善が必要である。

2018 年度と比較して変化があった意見として、2 年生と 4 年生で上がっていた意見は、「使わない教科書」についてであった。講義で使用しない教科書は買わせないでほしいというものであるが、予習や復習で教科書は必要なものであり、講義手法として配布資料を中心に行う場合は、最初の授業で教科書の必要性について担当教員から説明する必要がある。また、2 年生では「成績開示の IT 化希望」に関する意見が上位にある。学生がインターネットを利用して自分の成績を確認できるシステムを構築してほしいという意見であり、本調査を開始以降、常に上がる意見である。こうした成績開示のシステムについては今後大学として改善していくべき課題であると考える。

今後は、2019 年度から設置された医療検査学科の教育改善に、これらの学生からの意見を反映していくかなければならない。医療系学科の特色やカリキュラム・ポリシー等を学生に対して十分な説明を行い、学生の理解を得るとともに、学習面で不安を抱えている学生に対して担任を中心とした教職員の指導・相談体制の強化も必要であると考える。

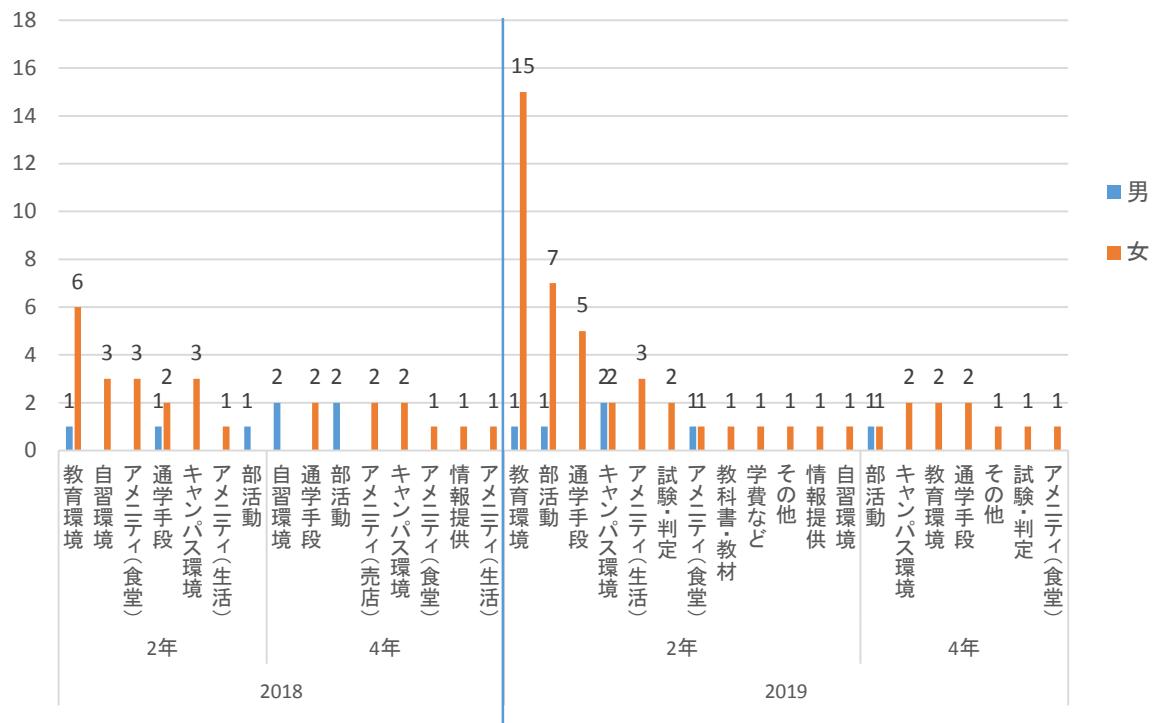
### 3) 生活環境

#### 3-1) 回答率

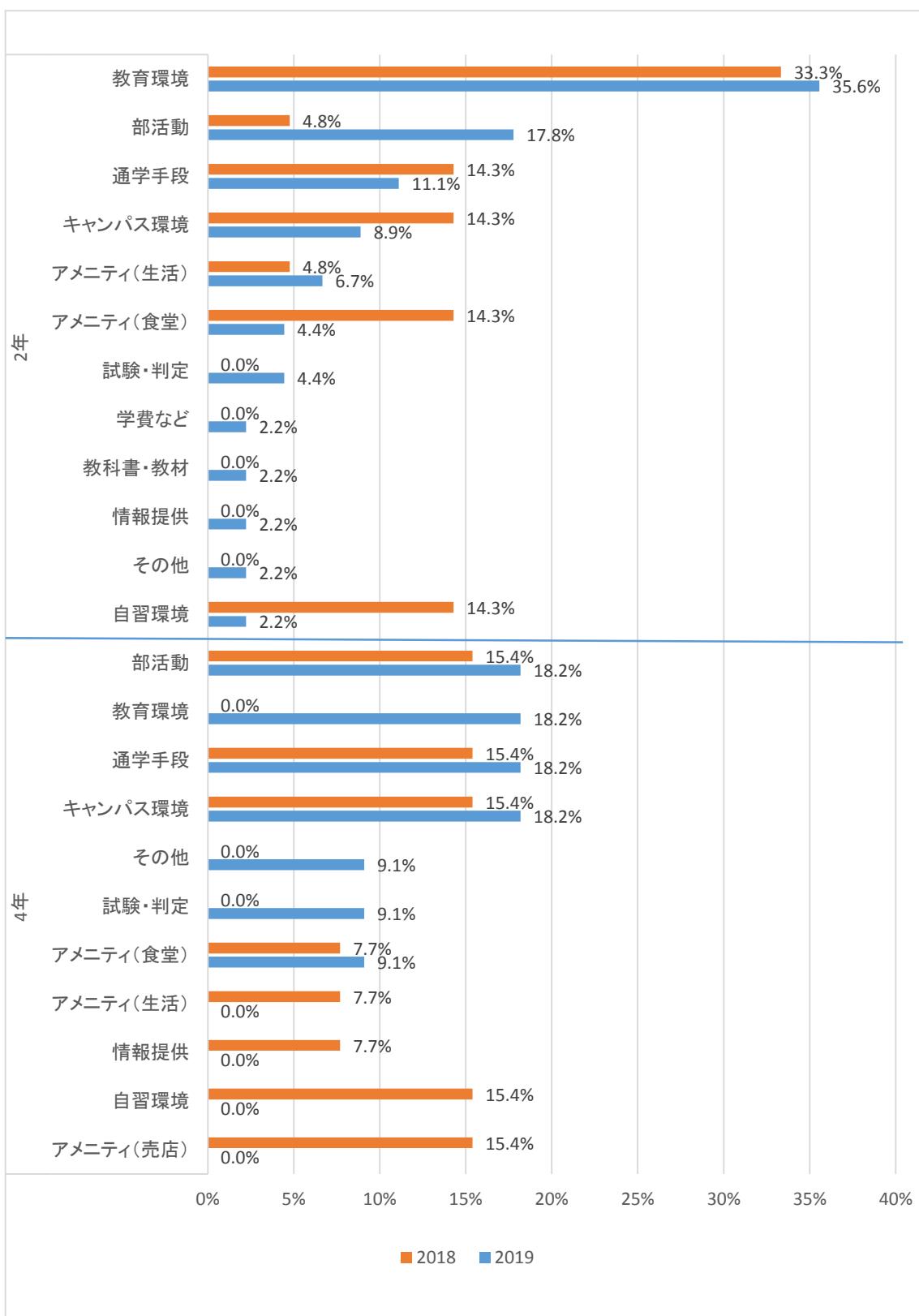
	2018				2019			
	2 年		4 年		2 年		4 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	3	18	4	9	5	40	1	10
回答率	11.5%	15.9%	12.9%	12.3%	13.5%	33.9%	3.8%	11.5%
学年回答率	15.1%		12.5%		29.0%		9.7%	

### 3-2) 生活環境に関する回答内容の内訳

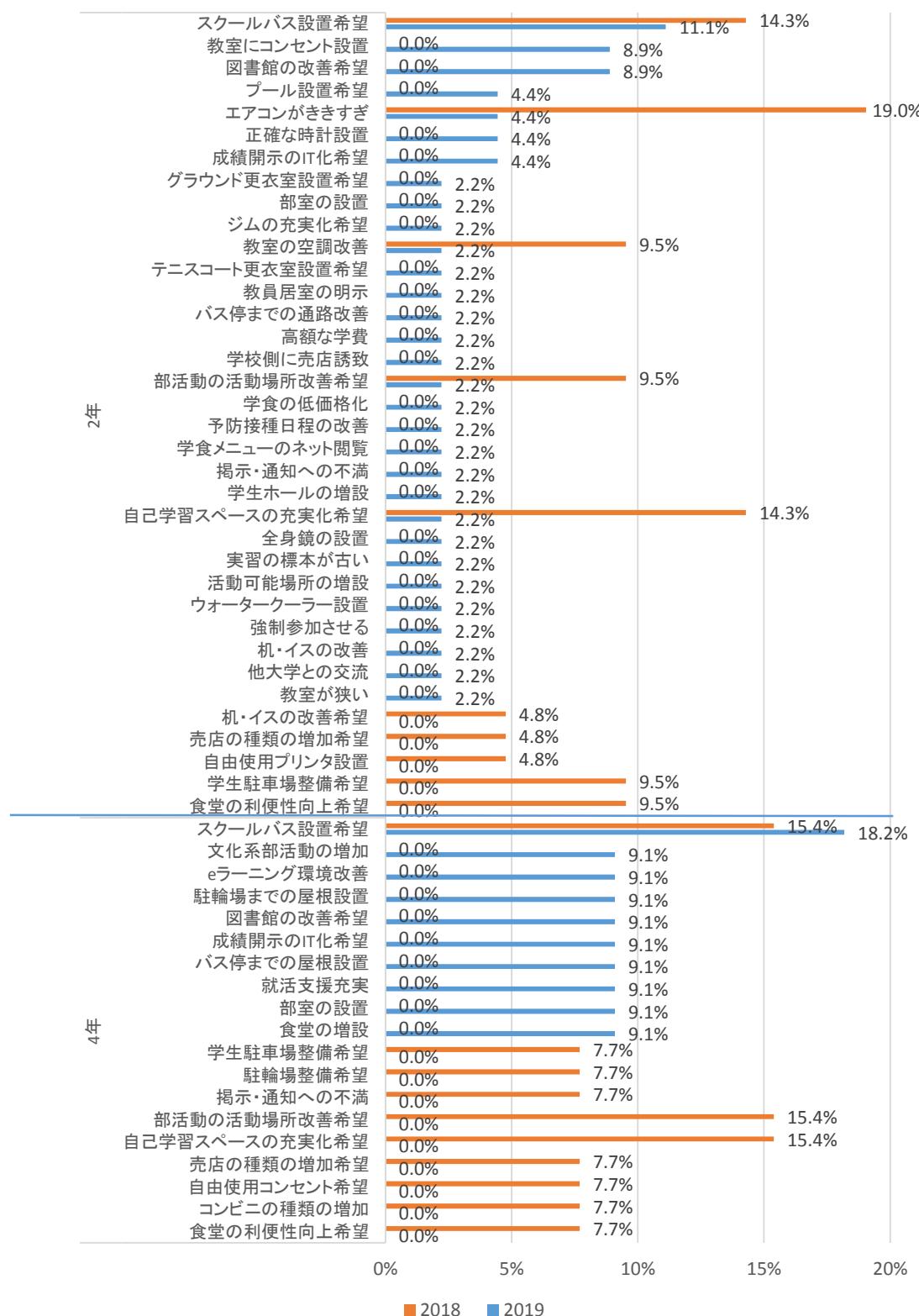
(单位:人)



### 3-3) 生活環境に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



### 3-4) 生活環境に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



### 3-5) 小括

2019 年度の学校生活環境に関する意見を記載した学生数（回答率）は、2 年生では 2018 年度より増加し、4 年生では若干減少した。特に 2 年生は、意見の増加は約 2 倍になったことから、学校生活環境に

関して意見を持つ学生が多いことが推察された。2019年度の2年生では「教育環境」に関する意見が最も多く(35.6%)、次いで「部活動」17.8%、「通学手段」11.1%、「キャンパス環境」8.9%、「アメニティ(生活)」6.7%、「アメニティ(食堂)」および「試験・判定」がそれぞれ4.4%となっていた。2018年度と比較すると、2018年度に2番目に多かった「自習環境」に関する意見が減少したが、上位の意見については大きな変化はなかった。2019年度の4年生では「部活動」、「教育環境」、「通学手段」、「キャンパス環境」に関する意見がそれぞれ18.2%と最も多く、次いで「試験・判定」および「アメニティ(食堂)」がそれぞれ9.1%であった。2018年度と比較すると、「教育環境」に関する意見が上位に入り、一方で2018年度に多かった「自習環境」、「アメニティ(売店)」に関しては意見がなかった。

回答内容の詳細をみると、2年生の主な意見は、「スクールバス設置希望」が11.1%と最も多く、次いで「教室にコンセント設置」および「図書館の改善希望」がそれぞれ8.9%、「プール設置希望」、「エアコンが効きすぎ」、「正確な時計設置」、「成績開示のIT化希望」がそれぞれ4.4%であった。4年生では、「スクールバスの設置希望」に関する意見が18.2%と最も多かった。2年生と4年生ともに最も多かった「スクールバスの設置希望」に関する意見は、本調査において毎年上がっている内容である。バス停での学生のマナーについて度々問題にあがっていることもあり、今後、学園として検討してほしい内容である。

「教室にコンセント設置」に関する意見については、現在の1年生から始まった授業資料配信システムの導入に伴い、今後必要な対応であると思われる。臨床検査学科(医療検査学科)では、現在1年生と3年生の教室には個々の学生が授業で利用できるコンセントを設置しているが、2年生と4年生の教室には設置されていない。授業配信システムによる授業での電源の確保は必須であり、不備のために学生が授業で困らないように大学として検討してほしい内容である。教室のエアコンが効きすぎることが度々あることが学生からの意見で多かったが、教室の温度設定は自由に設定できるようになっているので、学生自身がエアコンで教室の空気環境を良好に保つようにすればよいことだが、講義中は学生がエアコンをコントロールすることは難しいので、講義を行う教員が授業中の空調に気を配ることも必要と考える。また教室の掛け時計の中に正確な時間を示さないものがあり、チャイム設定とずれていることがある。新しい掛け時計を購入する等の対応が必要である。さらに部活動に関しては部室や活動場所に関する意見があった。教育は講義や実習のみではなく、部活動を通じて得られるものも多いことから、部活動の環境の整備・改善を行っていくことも重要である。今後も学生生活がより良いものとなるよう、学生の意見を慎重に精査し、具体的な改善案を検討し、計画的に改善を行っていく必要がある。

#### 4) 特色

##### 4-1) 回答率

	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	0	0	0	0	0	2	0	0
回答率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%
学年回答率	0.0%		0.0%		1.3%		0.0%	

#### 4-2) 特色に関する回答内容の内訳

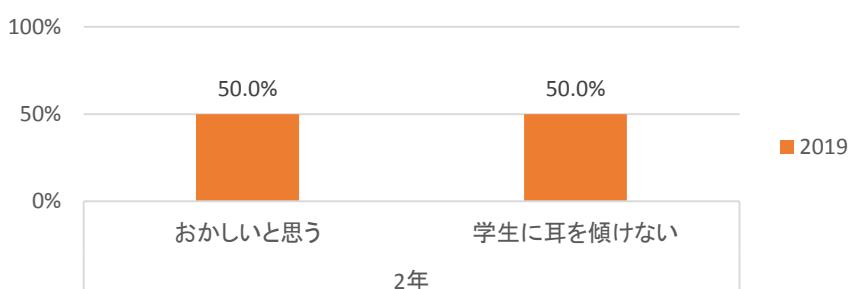
(単位:人)



#### 4-3) 特色に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



#### 4-4) 特色に関する回答内容の詳細について2018年度と2019年度の比較



#### 4-5) 小括

特色に関しては、教育や生活環境と比較すると意見は少なく、2017年度、2018年度は意見がなかつた。2019年度は、2年生から2つの意見があった。1人の意見ではあるが、学生の意見にもっと耳を傾けてほしいという意見があり、本調査等のIR調査結果をもとに学生の意見を取り入れながら、教育環境等の改善を行っていくことが重要であると考える。

#### 5) 総括

2019年度は、2018年度と比べ、2年生で教育内容および生活環境に関する意見の回答率が上昇した。4年生の回答率については若干の増減はあったが、ほぼ同じであった。特色に関する意見は、2017年度、2018年度はなかつたが、2019年度は2年生で2つの意見があった。2年生には教育内容や学校生活環境等に関して意見を持つ学生が多いことが推察された。

教育内容については、例年同様に全体的にはカリキュラムや時間割に関する内容の意見が多い傾向にあった。医療系の学科であるため講義や実習が多く、余裕のない時間割となり、結果的に試験期間前に空

き時間を作ることが難しい学年があり、その状況の改善を望む意見が多かった。現在の2～4年生は、講義・実習等の抜本的な見直しを行った新カリキュラムであり、時間割も若干ではあるがスリム化が行われた。しかし依然として時間割や講義・実習内容の改善に関する意見は多い。また、2019年は2年生で教員への不満、特に特定の科目の講義方法に対する不満が多かった。配布したレジュメや教科書を読んでいるだけの教員がいるという指摘であり、該当する教員については学生が有意義と感じる講義方法に改善する必要がある。さらに授業で使わない教科書は買わせないでほしいという意見もあった。予習・復習には必要な教科書であり、配布資料等を中心に授業を行う教員は、教科書をどのように利用するのかを最初の講義等で学生に対して説明する必要がある。

生活環境については、2016年度の調査以降、意見の数が減少していたが、2019年度の2年生では回答率が上昇した。最も多い意見は教育環境に関するもので、教室へのコンセント設置や図書館の改善希望、教室のエアコンがききすぎるという内容が多かった。教室のコンセント設置については、授業資料配信システムが今年の1年生から導入され、今後すべての学年に順次導入されるため、大学として順次、教室にコンセントを設置する検討すべきことであると考える。「通学手段」に関する意見としてスクールバスの設置希望は毎年上がっている意見である。バス停での学生のマナーについて度々問題にあがっていることもあり、大学として検討が必要な内容である。また部活動の環境整備に関する意見も多い。これは、臨床検査学科の学生が他学科の学生と比べ、クラブ活動を行っているものが多いことを反映していると考える。教育は授業だけでなく、部活動等の課外活動で得られるものも多いことから、部活動の環境整備も重要である。

特色については、ほとんど意見はなかったが、学生の意見に耳を傾けてほしいという意見があった。本調査等で得られる学生からの意見は精査し、今後の教育等の改善のために取り入れていく必要がある。今年度より臨床検査学科が廃止となり、新たに医療検査学科が設置された。今回の調査で得られた教育内容、生活環境、特色に関する学生からの貴重な意見は、医療検査学科の教育等の改善に活かしていくべきである。さらに、学生からの意見を大学が実施する学生環境等の改善の参考にしていただき、大学全体を学生にとって、より良い環境にしていくことが望まれる。

### 3. 2. 放射線学科

放射線学科における 2018 年度調査と 2019 年度調査の概要及び比較

#### 1) 対象学生について

学生数 (単位 : 人)

	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
学生数	36	28	31	21	31	33	33	30
計	64		52		64		63	

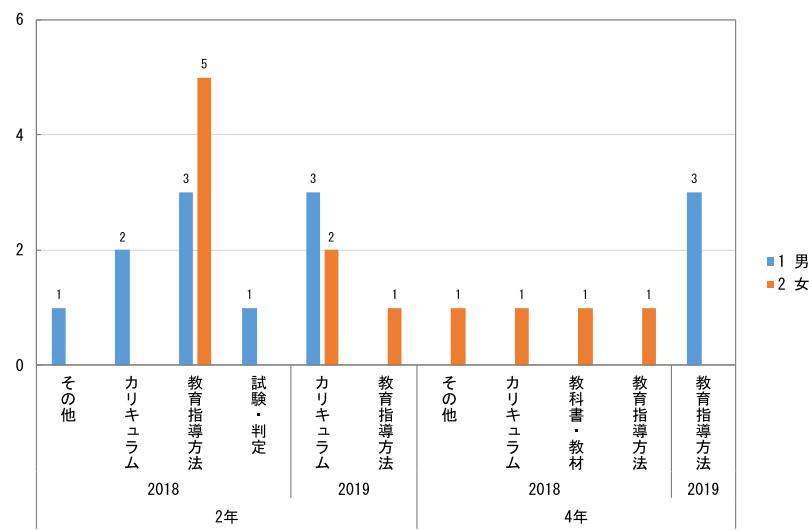
#### 2) 教育内容

##### 2-1) 回答率

	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
学生数	36	28	31	21	31	33	33	30
回答数	7	5	0	4	3	3	3	0
回答率	19.4%	17.9%	0.0%	19.0%	9.7%	9.1%	9.1%	0.0%
学年回答率	18.8%		7.7%		9.4%		4.8%	

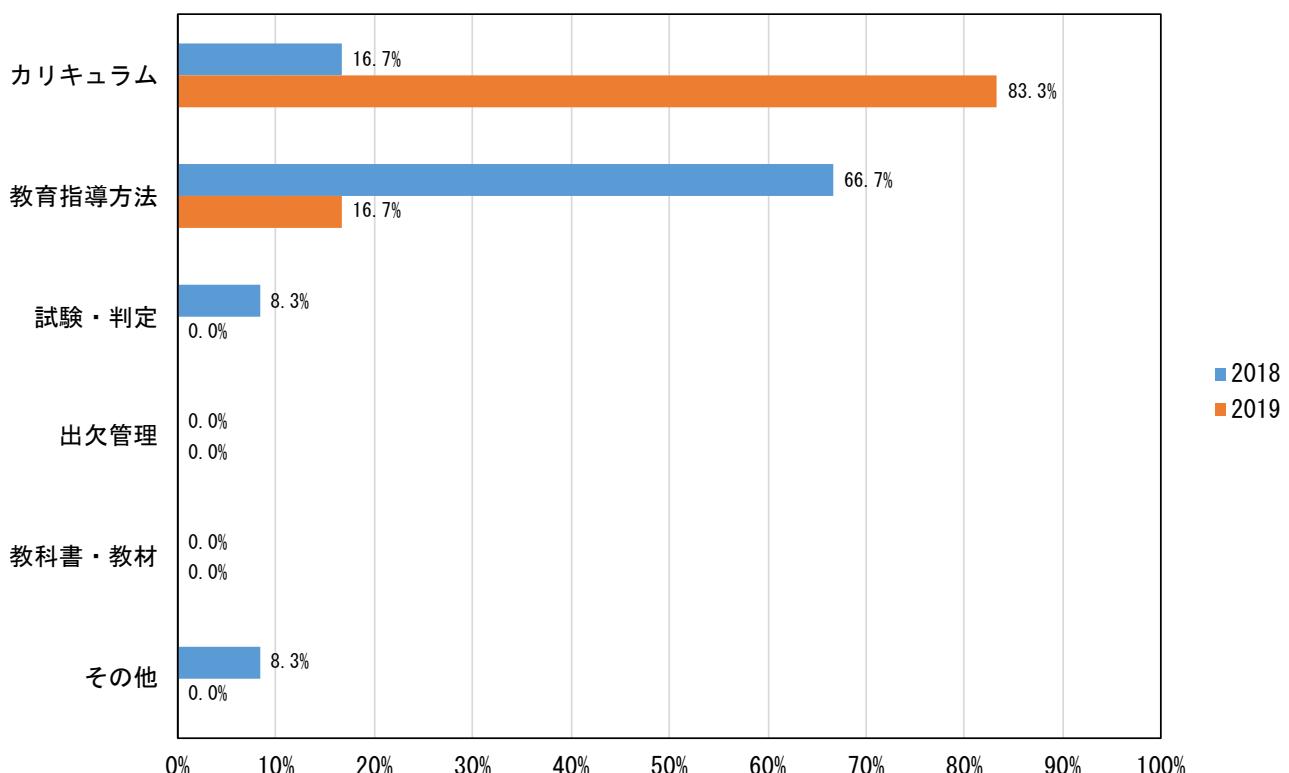
##### 2-2) 教育内容に関する回答内容の内訳

(単位 : 人)

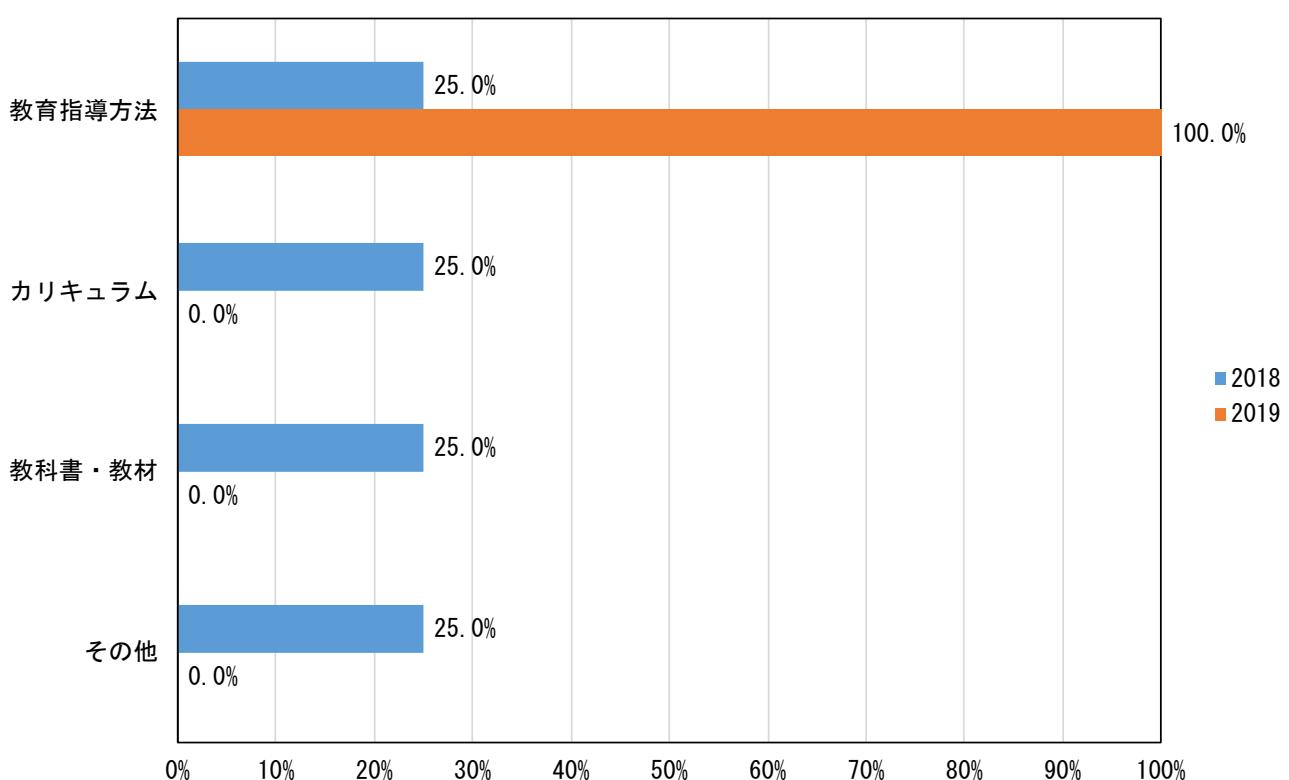


2-3) 教育内容に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較

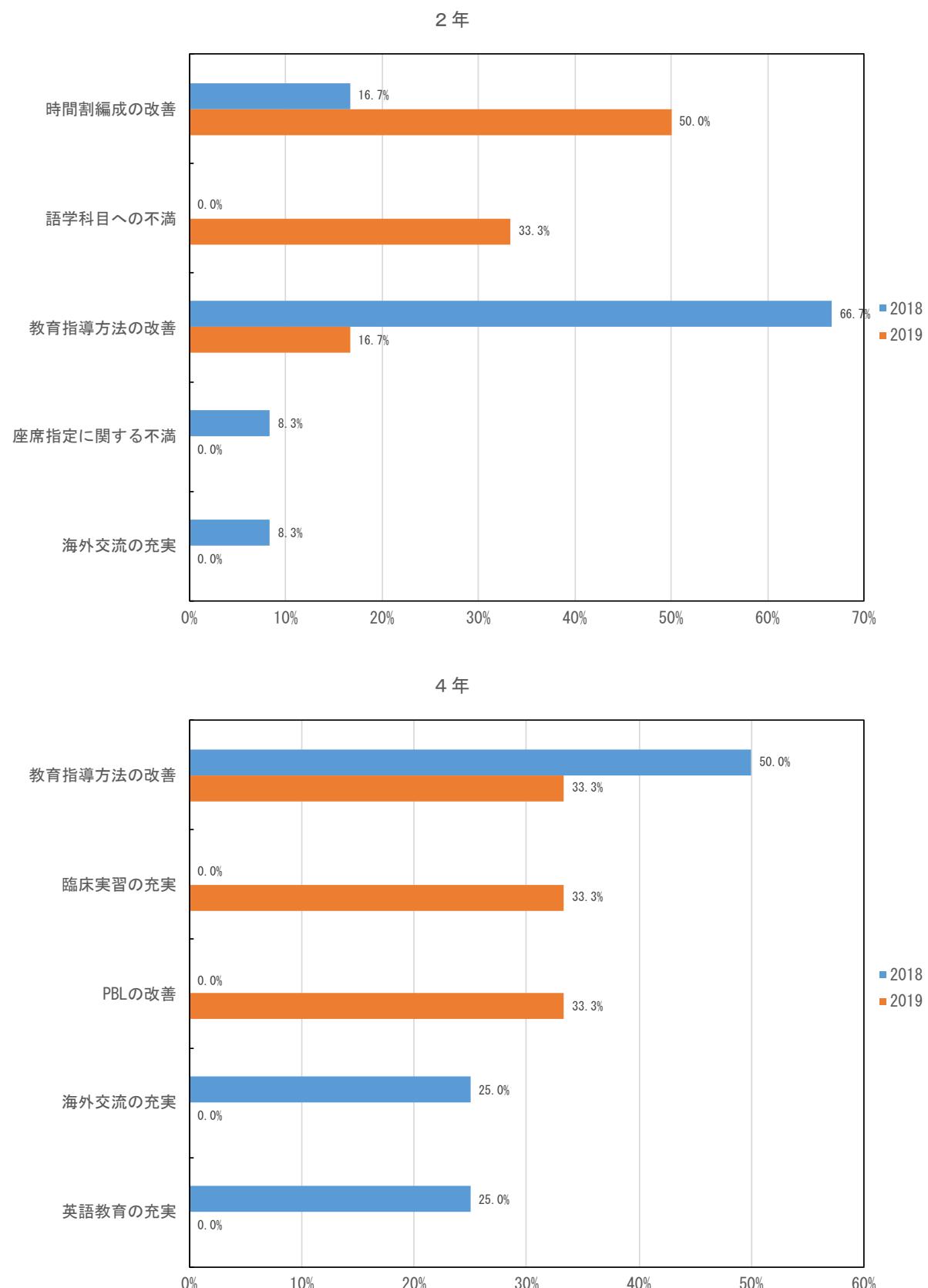
2年



4年



## 2-4) 教育内容に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



## 2-5) 小括

2019年度の回答率は2018年度よりも全体的に減少した。男女差でみると2年生は差が小さく、4年生はすべてが男子の回答であった。回答数が少ないため信頼できる傾向ではないが、2018年度は教育指導方法、2019年度はカリキュラムに関する内容が多い傾向にあった。

回答の詳細項目については、2年生と4年生ともにカリキュラムに関する不満が最も多く、続いて教育指導方法に関する不満が続いた。カリキュラムに関する内容の内訳としては、時間割についてなるべく休みが多くなるように編成して欲しいという希望や定期試験の時間帯の不満（午前を希望）、語学の科目数や必要性に関する意見があつた。

4年生については、教育指導方法について、実験の指導方法に関する不満、2019年度より開始したPBLに関する改善要求、実習先の選択に関して要望があげられた。

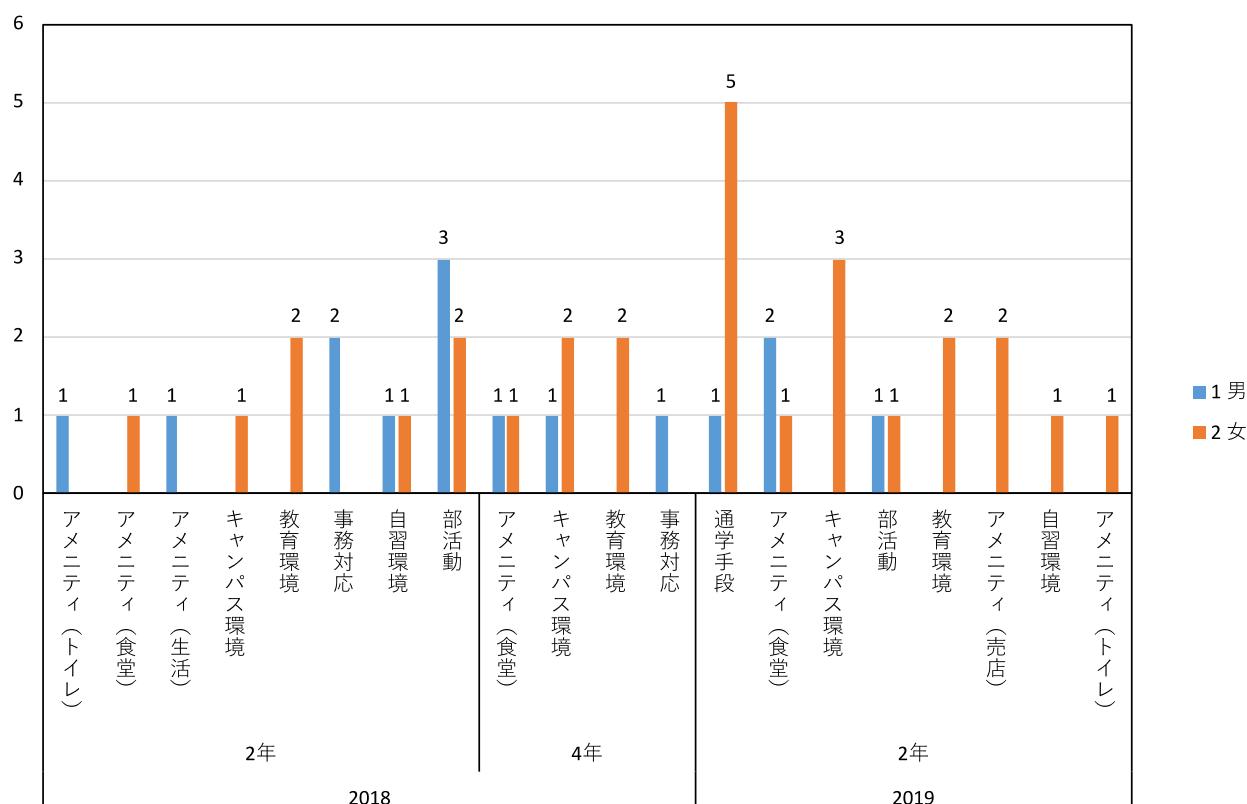
## 3) 生活環境

### 3-1) 回答率

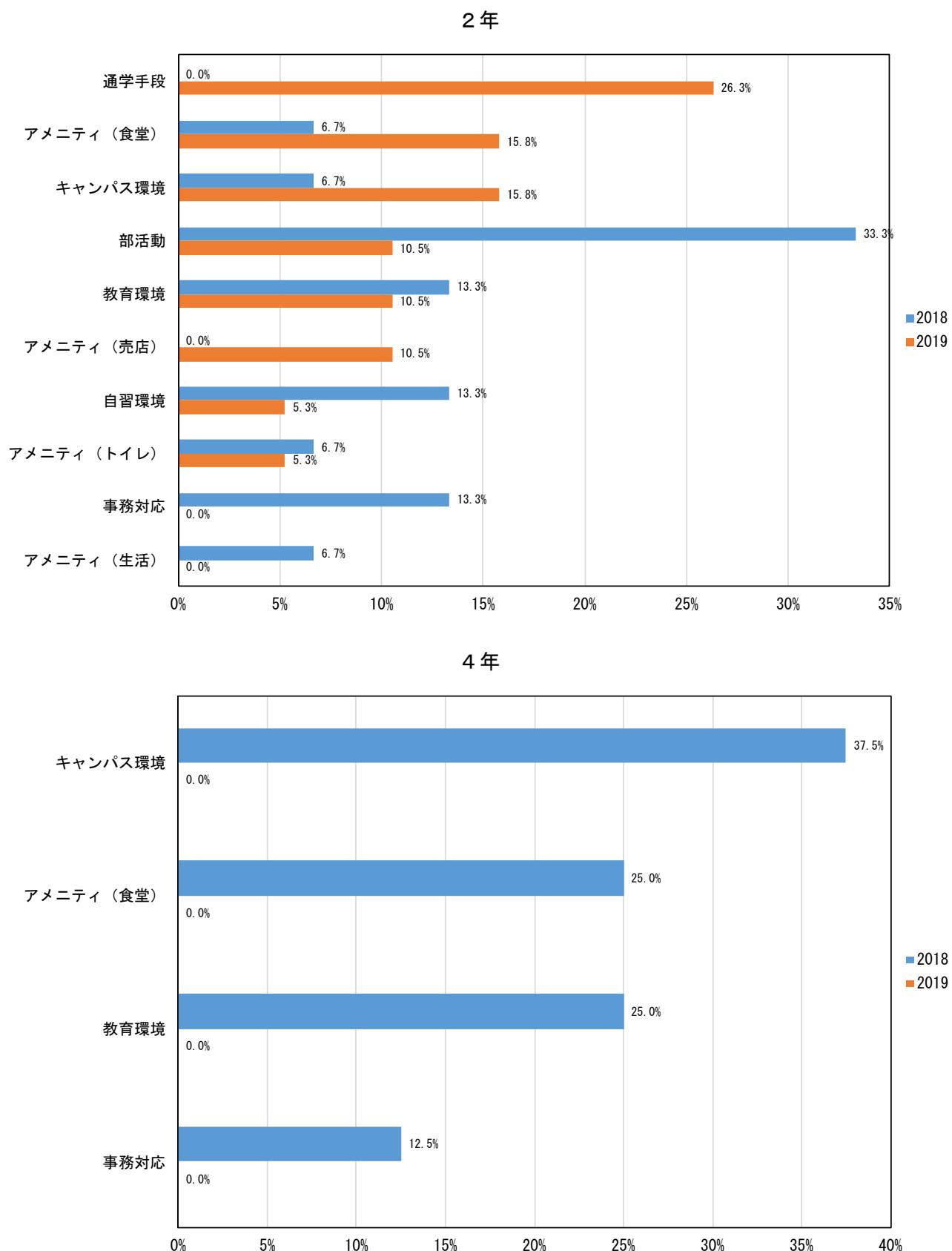
	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
学生数	36	28	31	21	31	33	33	30
回答数	6	7	5	3	4	16	0	0
回答率	16.7%	25.0%	16.1%	14.3%	12.9%	48.5%	0.0%	0.0%
学年回答率	20.3%		15.4%		31.3%		0.0%	

### 3-2) 生活環境に関する回答内容の内訳

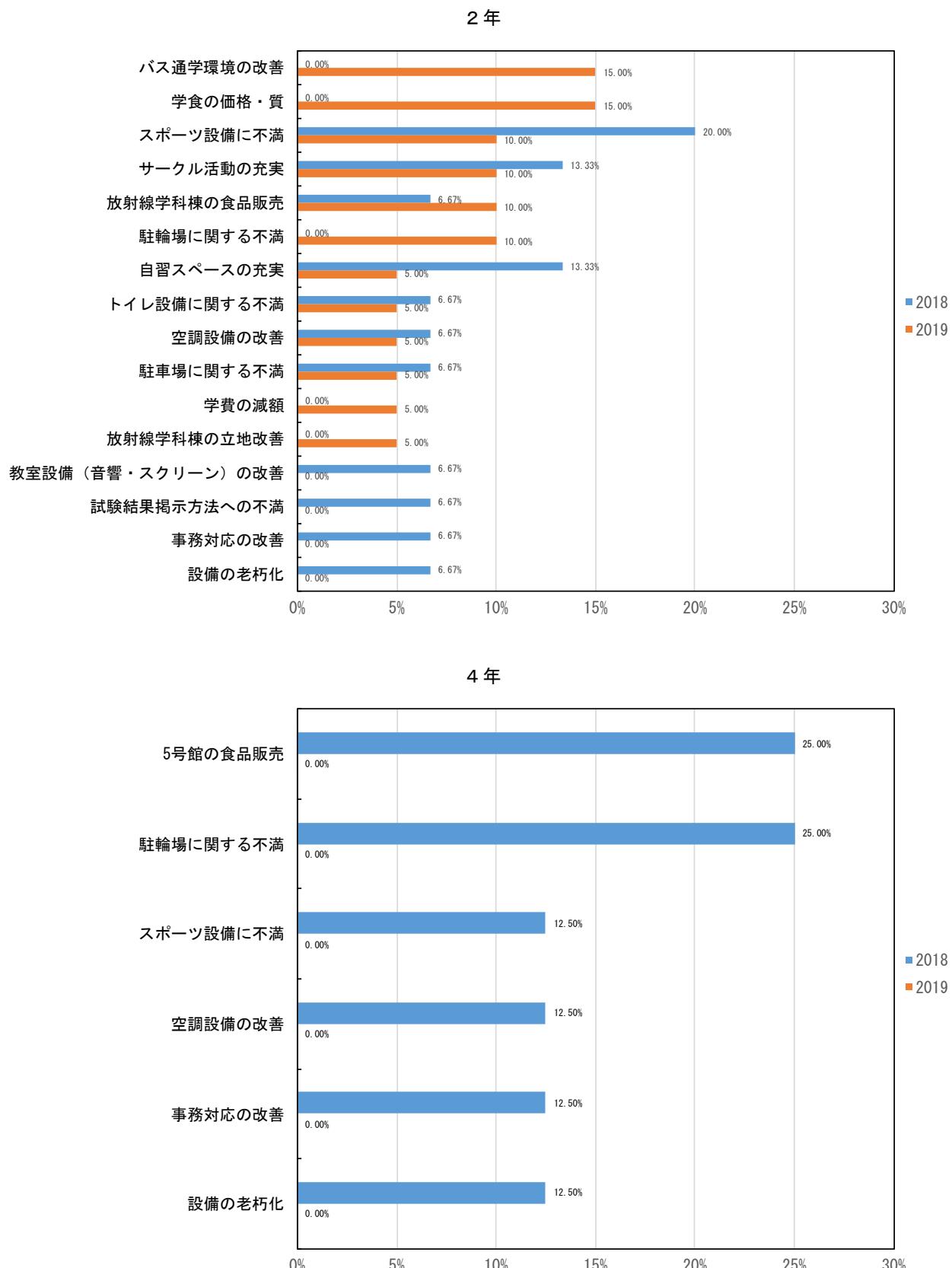
（単位：人）



### 3-3) 生活環境に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



### 3-4) 生活環境に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



### 3-5) 小括

2019年度の回答率は、4年生の回答率がゼロとなった。現在の4年生については3号館完成年度に入学し、11号館も改善を続けているため、自由記載の回答数も少なく、不満をあまり持っていない様子がうかがえる。2年生に関しては、女子の回答が非常に多かった。

回答のあった2年生について、回答内容の内訳をみると、通学手段、アメニティ（食堂）、キャンパス環境に関するものが多かった。

回答の詳細項目については、2年生ではバス通学環境の改善と学食の価格と質の改善を求める声が多かった。自宅通学の学生が多く、朝の駅周辺の混雑は慢性化している。スクールバス等の通学環境の支援が急務である。また、学食がリニューアルして間もないが、味や価格に関する不満が出ている。質の低下が生じていないか、定期的な評価が必要と思われる。

また、放射線学科棟の立地に起因する食事の問題、駐輪場・駐車場に関する不満は以前から根強くあるため、学科間で利用可能なアメニティに不平等が生じないよう配慮が必要である。

### 4) 特色

2018年度、2019年度ともに特色に関する回答者がゼロであった。

### 5) 総括

2019年度の自由記載回答数は29件であり、2018年度と比較すると減少している。学年別に回答数をみると、2年生はほとんど変化がなく、4年生の回答数がゼロとなり大幅減となった。今年度の4年生は入学後から学園内の施設がリニューアルし続けており、改善されていくところを実感しており満足度が向上したことがうかがえる。一方2年生は入学後からアンケート取得まで同じ3号館で過ごしており、大きな環境の変化がないため問題点が抽出されるようになったと思われる。

教育面では、カリキュラムや教育指導方法に関する意見が多く、時間割編成や教育方法の改善を引き続きしていく必要がある。

生活環境では、バス通学環境の改善と学食の価格と質の改善を求める声が多かった。自宅通学の学生が多く、朝の駅周辺の混雑は慢性化している。スクールバス等の通学環境の支援が急務である。また、学食がリニューアルして間もないが、味や価格に関する不満が出ている。質の低下が生じていないか、定期的な評価が必要と思われる。

また、放射線学科棟の立地に起因する食事の問題、駐輪場・駐車場に関する不満は以前から根強くあるため、学科間で利用可能なアメニティに不平等が生じないよう配慮が必要である。

少子化で受験人口は減少し続ける中、診療放射線技師を育成する大学は毎年新設され、今年度より放射線学科の定員が35名増加した。また医療技術の進歩や人工知能の実用化等により、診療放射線技師の働き方にも変化が訪れる可能性が高い。良質な学生を確保し、優秀な人材を輩出するには、時代にマッチした魅力ある大学創りや学生教育が求められる。今回の調査で得られた教育内容、生活環境、特色に関する学生からの意見について、誠意を持って検討を行い、施設の改善や教育内容の充実を行っていく必要がある。

### 3. 3. 臨床工学科

臨床工学科における 2018 年度調査と 2019 年度調査の概要及び比較

#### 1) 対象学生について

学生数 (単位: 人)

	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
学生数	25	23	34	24	27	22	33	20
計		48		58		49		53

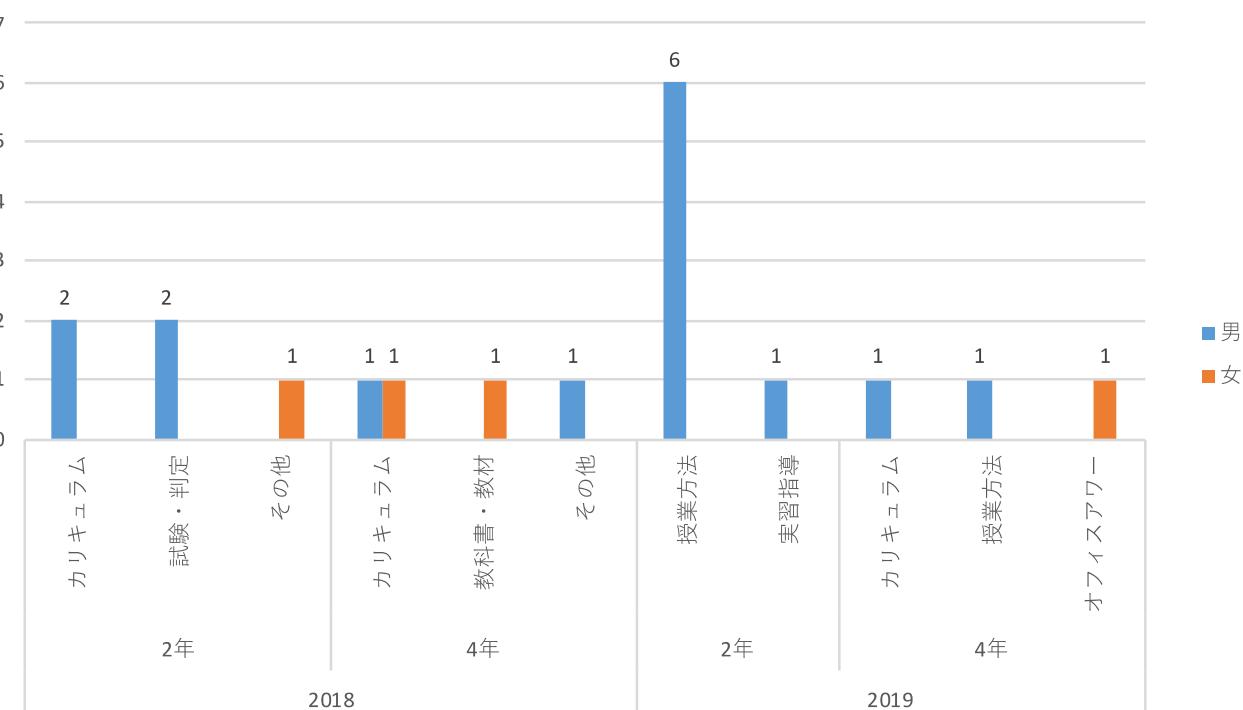
#### 2) 教育内容

##### 2-1) 回答率

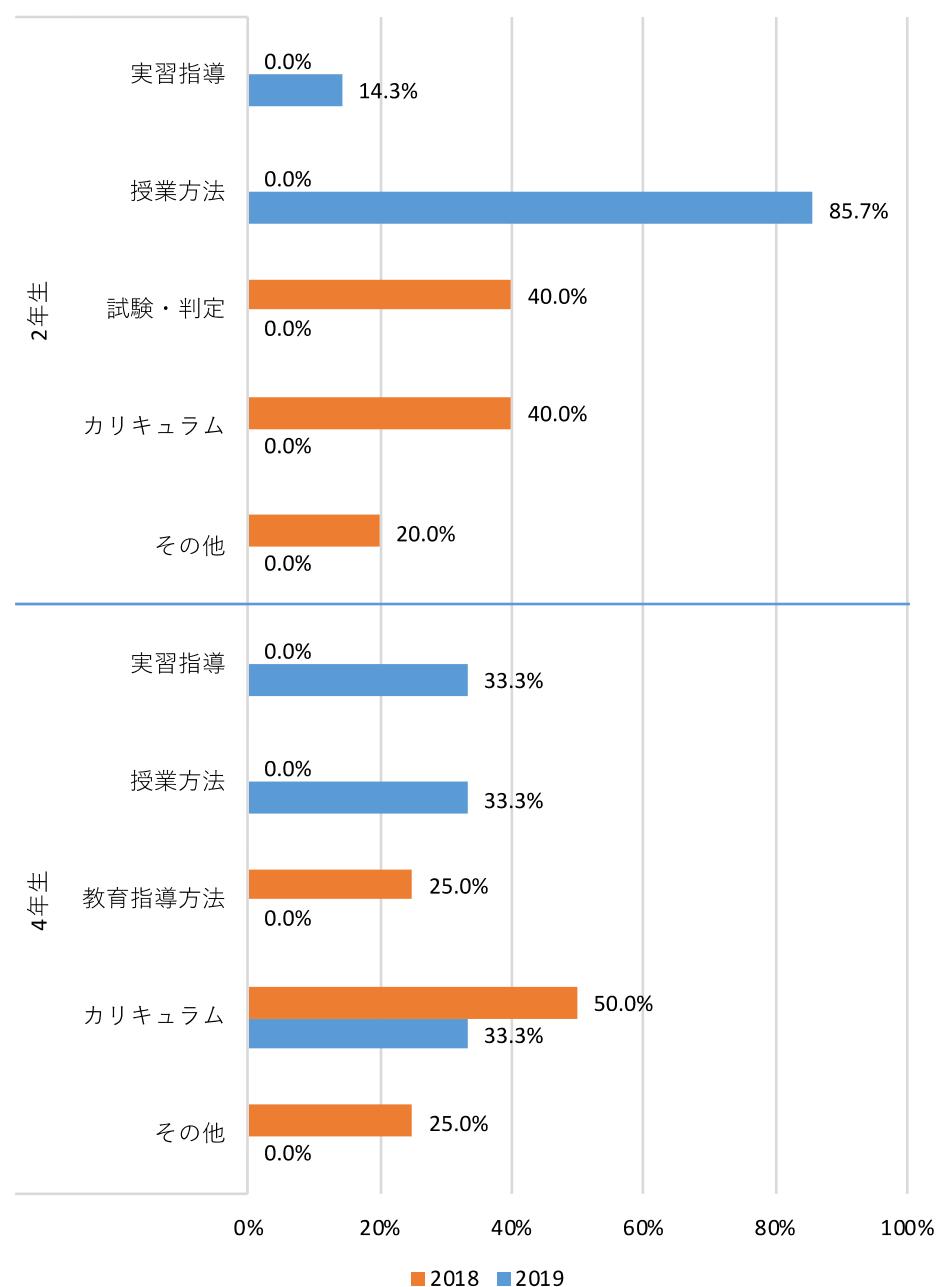
	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
学生数	25	23	34	24	27	22	33	20
回答数	4	1	2	2	7	0	2	1
回答率	16.0%	4.3%	5.9%	8.3%	25.9%	0.0%	6.1%	5.0%
学年回答率		10.4%		6.9%		14.3%		5.7%

##### 2-2) 教育内容に関する回答内容の内訳

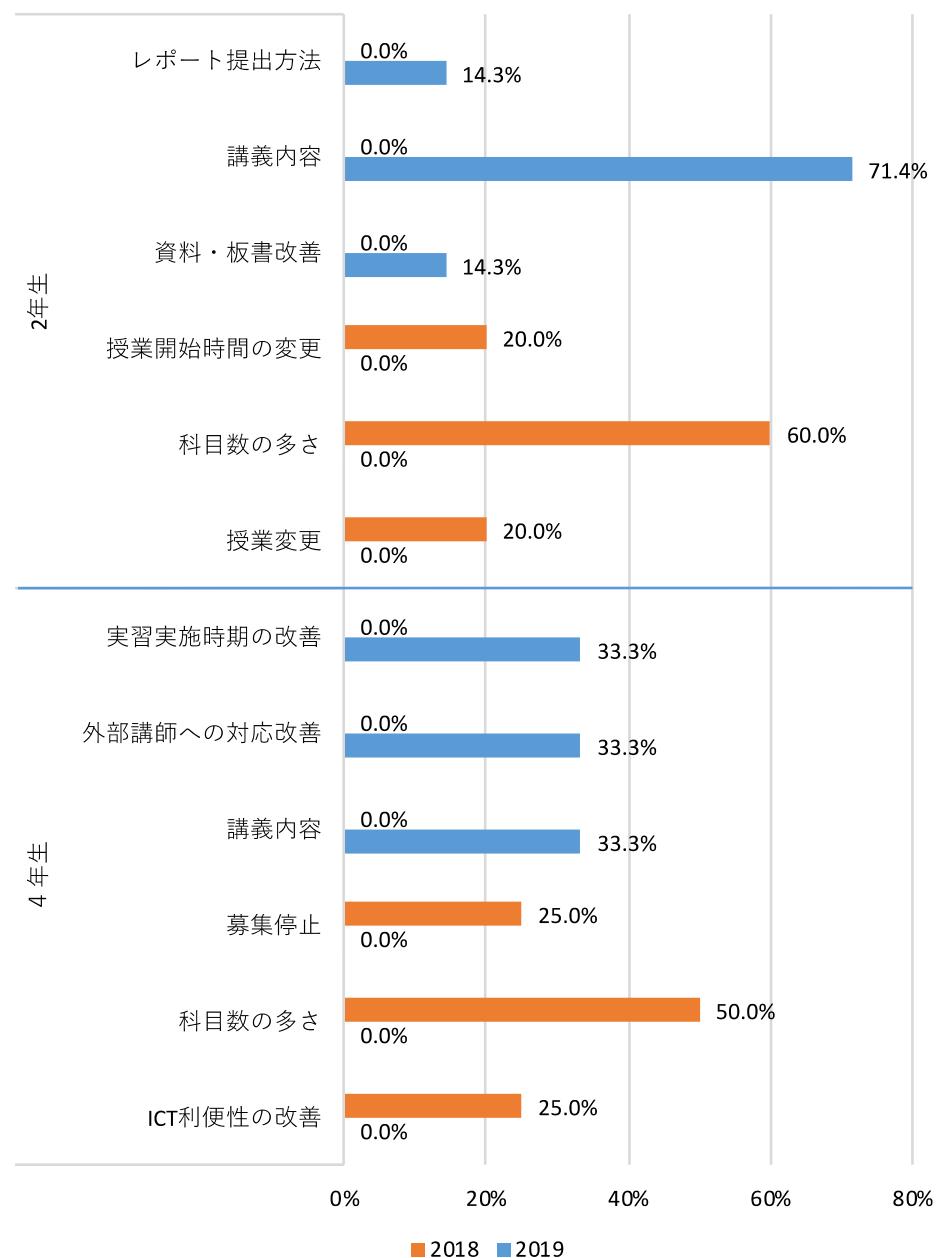
(単位: 人)



### 2-3) 教育内容に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



## 2-4) 教育内容に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



## 2-5) 小括

2019 年度の回答率は 2018 年度に比較し微増したが、回答数はほぼ同等であった。

2018 年度は 2 年生・4 年生ともに教育内容に関する意見が少なく、「科目数の多さ」に関する意見が複数あった。2019 年度は、2 年生・4 年生ともに教育内容に関する意見のみであった。

2 年生の年度毎の比率では、2018 年度は、「カリキュラム」と「試験・判定」に関する意見が出され、総意見数に対してそれぞれが 40.0% を占めた。2019 年度は、「授業方法」に対する意見が 85.6% と多くを占めた。詳細は、2018 年度は「科目数の多さ」が 60%、2019 年度は「講義内容」が 71.4% を占めた。

4 年生は、2018 年度は「カリキュラム」に関する意見割合が 50% であった。2019 年度は「授業方法」、「実習指導」、「カリキュラム」の意見割合がそれぞれ 33.3% で同じであった。詳細は、2018 年度

は「科目数の多さ」に関する意見割合が 50%であった。

意見総数が少ないため、相対的に割合が増える結果となった。しかし、意見内容は、学生が主体的に講義に参加できていないことによる不満と理解できるものであった。学生が有意義と実感できる講義になるよう教育ツールなどを活用した改善が求められた。

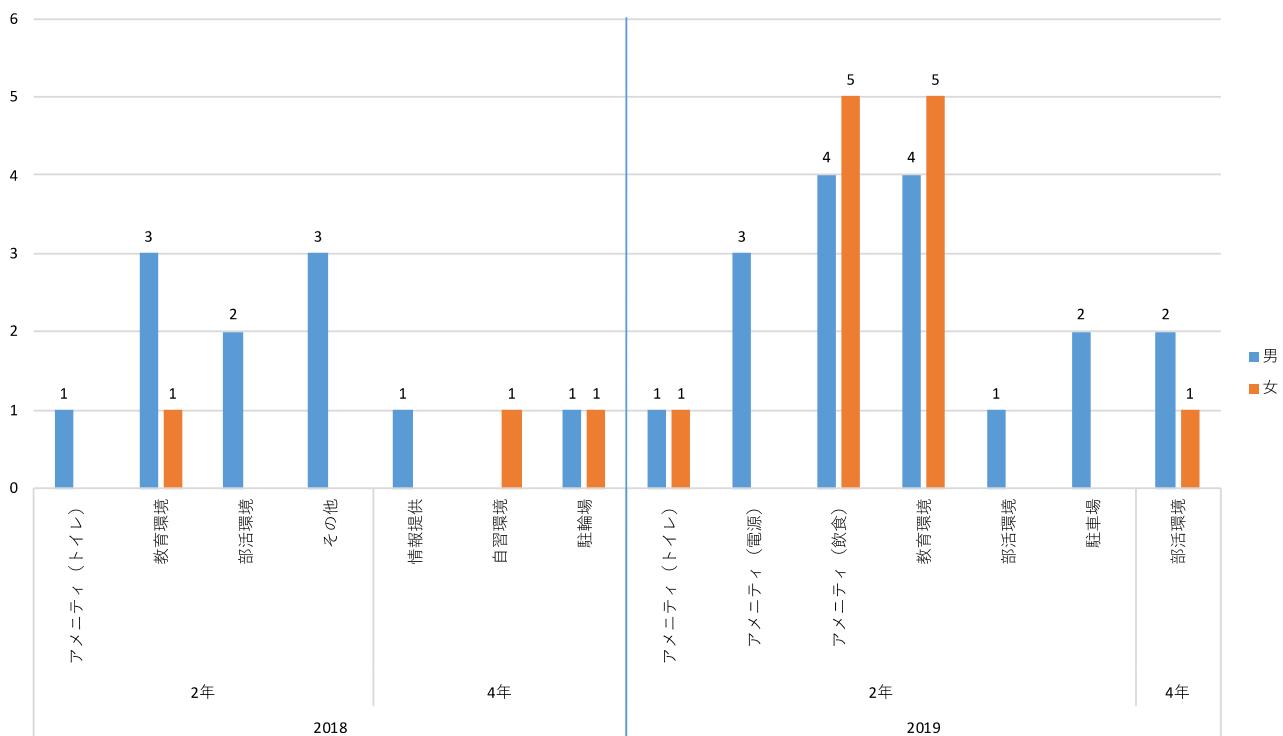
### 3) 生活環境

#### 3-1) 回答率

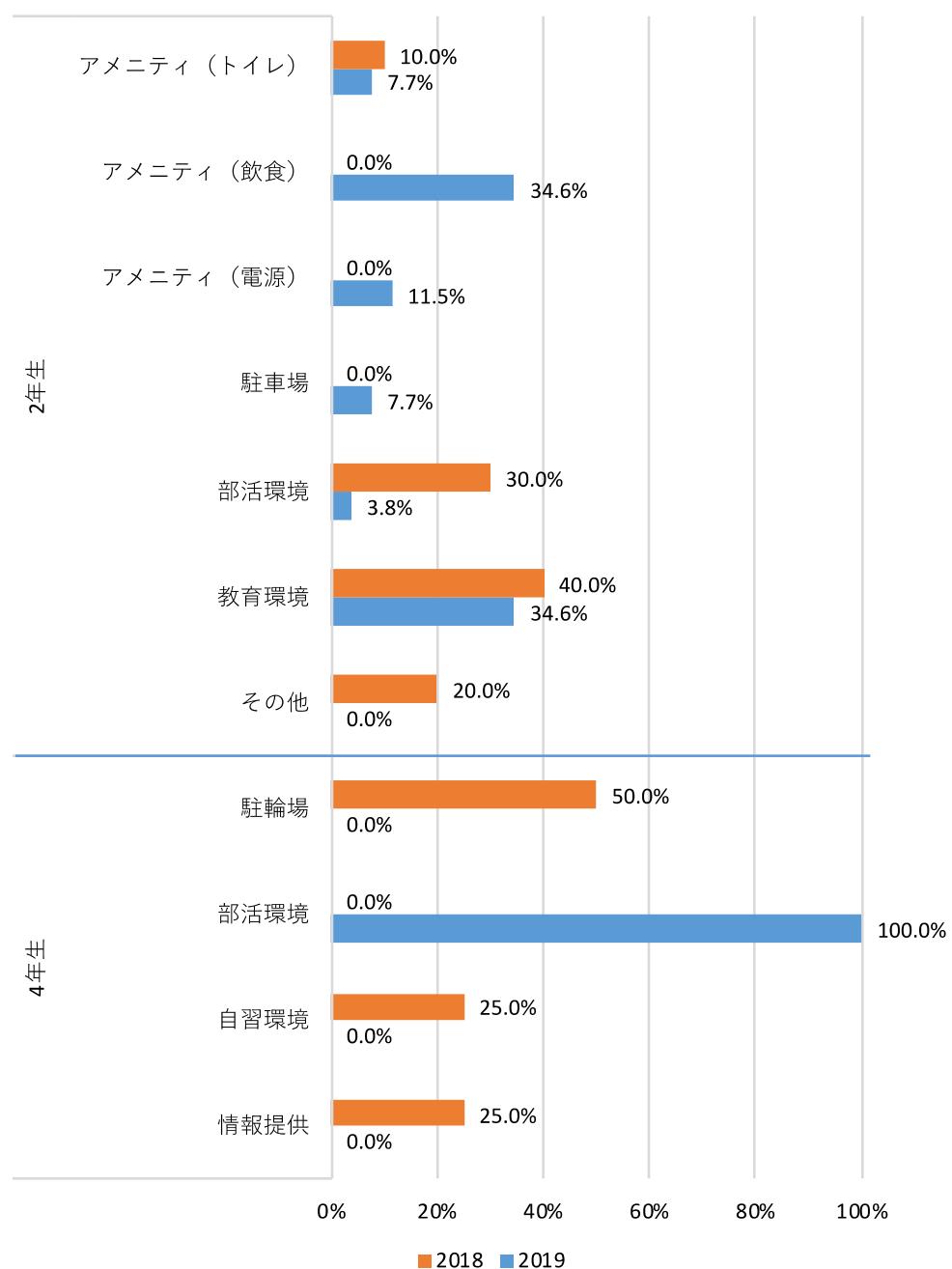
	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
学生数	25	23	34	24	27	22	33	20
回答数	9	1	2	2	15	11	2	1
回答率	36.0%	4.3%	5.9%	8.3%	55.6%	50.0%	6.1%	5.0%
学年回答率	20.8%		6.9%		53.1%		5.7%	

#### 3-2) 生活環境に関する回答内容の内訳

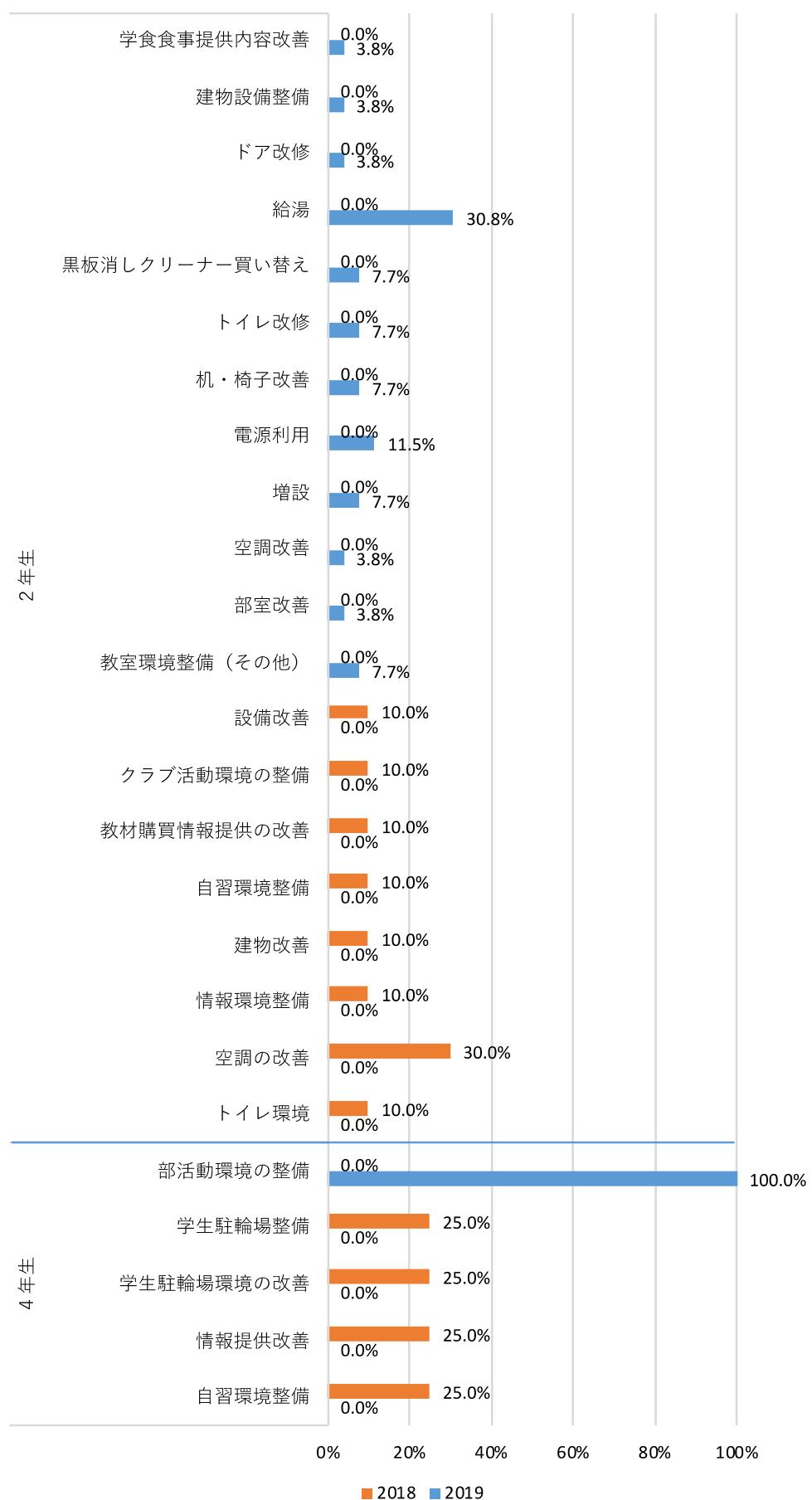
(単位：人)



### 3-3) 生活環境に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



### 3-4) 生活環境に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



### 3-5) 小括

2年生の2019年度の回答数は2018年度の2.6倍に達した。4年生の回答数に変化はなかった。2年生男子の回答数が多い傾向が続いていたが、2019年度は加えて女子の回答が大きく増加した。

回答分野は、2018年度は意見が少なかったためそれは一部に限られた。2019年度は意見が多かったことから多様であった。棟内の設備や教室の環境整備に関する多様な意見が見られた。2年生の主な意見内容は給湯設備の設置で30.8%であった。次いで、「電源利用」が11.5%であった。学生が給湯設備を利用できる棟は1つで他の棟では設備されていない。当学科のみの問題ではないが、食餌に対する考え方があなた様化しており対応が望まれる。商用電源の利用に関しては、当学科では学生全員がPCやPadを利用した講義は実施されておらず、もっぱらスマートフォン充電に利用を求めていると予想する。休憩時間にスマートフォンを操作することが常態化していることから、持参しているモバイルバッテリーでは不足するのであろう。しかしながら、教室にその設備はないが、隣接する学生食堂では、コンセント付きテーブルが十分に設備され、日中はもとより夜21時まで利用が可能である。また、学生食堂のこのようなアメニティに不満はない。よって、学内の他の設備を利用可能であることから、慎重に検討を進めるべきものと考える。

4年生の意見詳細は、部活動に關係した部室、学内施設の利用スケジュール、グランドの芝の人工芝への交換であった。少数意見であるが、部活動は、他の学部・学科の学生とのコミュニケーションの場であり、同じ目標を満足するために求められたと考える。部活動に関するアメニティの充実は、現在大学で検討が進められており、徐々に改善に向かうと予想する。

## 4) 特色

### 4-1) 回答率

	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
学生数	25	23	34	24	27	22	33	20
回答数	0	0	1	0	0	0	0	0
回答率	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学年回答率	0.0%		1.7%		0.0%		0.0%	

### 4-2) 小括

建学の理念に関する回答は、2018年度は1件であったが、2019年度はなかった。このため、回答分布、意見分野と意見の比較グラフは割愛した。

建学の理念に関する意見は非常に少なく、意見は肯定的であった。

## 5) 総括

2018年度の回答総数は24件であった。2019年度のそれは39件であった。2年生の回答数が多くなった一方、4年生の回答数は横ばいであった。各テーマの各分野において全学生数に対する回答率は低く、自由記載から改善すべき課題を見出すのは難しい。

教育内容については、カリキュラムの変更はなかったが「科目の多さ」に対する意見はなくなり、教育方法に対する意見が多くを占め、教育の量から質に変化した。意見の数としては少ないが、注視した

い事項である。講義・実習は、学生による評価そして自己評価が行われており、これらの結果との関連を検討し、教育技術の強化の取り組みを進めていきたいと考える。

生活環境については、アメニティが充実してきているものの、食餉の変化に対応した取り組みに意見があった。棟内での飲食に関しては、ゴミ・残飯の処理など持ち込まれたものの後処理・衛生の課題も出てくる。慎重に検討が進められるべきものと考える。

特色については意見がなく、肯定的に捉えられていると理解する。

臨床工学科は2019年度に学生募集が止まり、新たに設置された医療検査学科に臨床工学プログラムとして再編された。今後は、学生から意見された内容を新たな学科での改善活動に活かし、学生にとつてより良い環境になることが望まれる。

### 3. 4. 医療経営情報学科

医療経営情報学科における 2018 年度調査と 2019 年度調査の概要及び比較

#### 1) 対象学生について

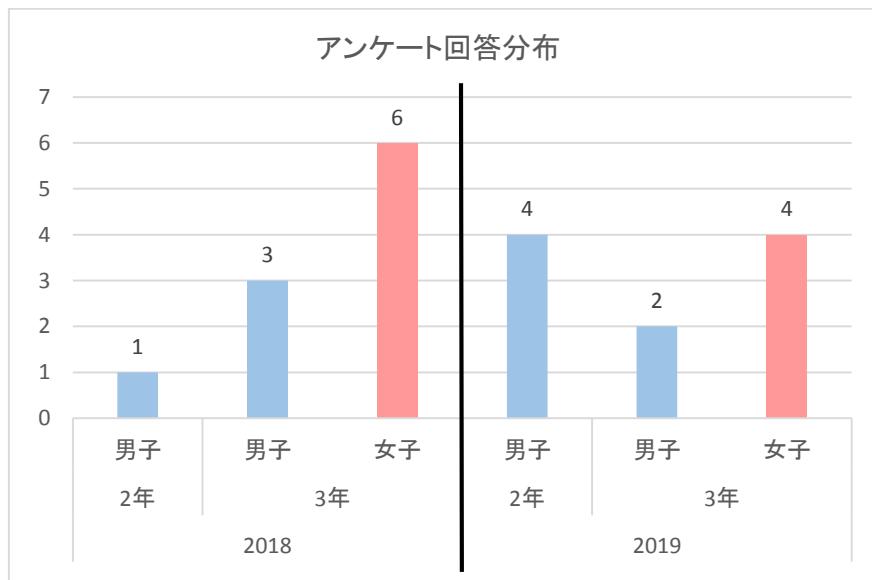
学生数 (単位 : 人)

	2018				2019			
	2年		3年		2年		3年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
学生数	19	25	15	19	18	23	18	25
計		44		34		41		43

#### 2) 教育内容

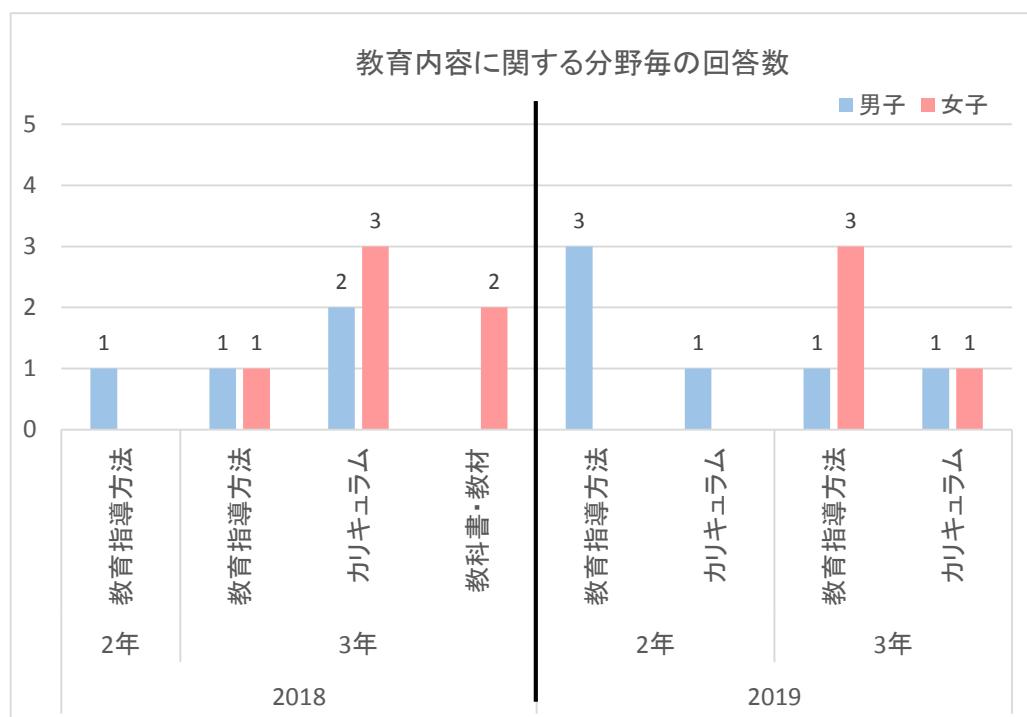
##### 2-1) 回答率

	2018				2019			
	2年		3年		2年		3年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
学生数	19	25	15	19	18	23	18	25
回答数	1	0	3	6	4	0	2	4
回答率	5.3%	0.0%	20.0%	31.6%	22.2%	0.0%	11.1%	16.0%
学年回答率	2.3%		26.5%		9.8%		14.0%	

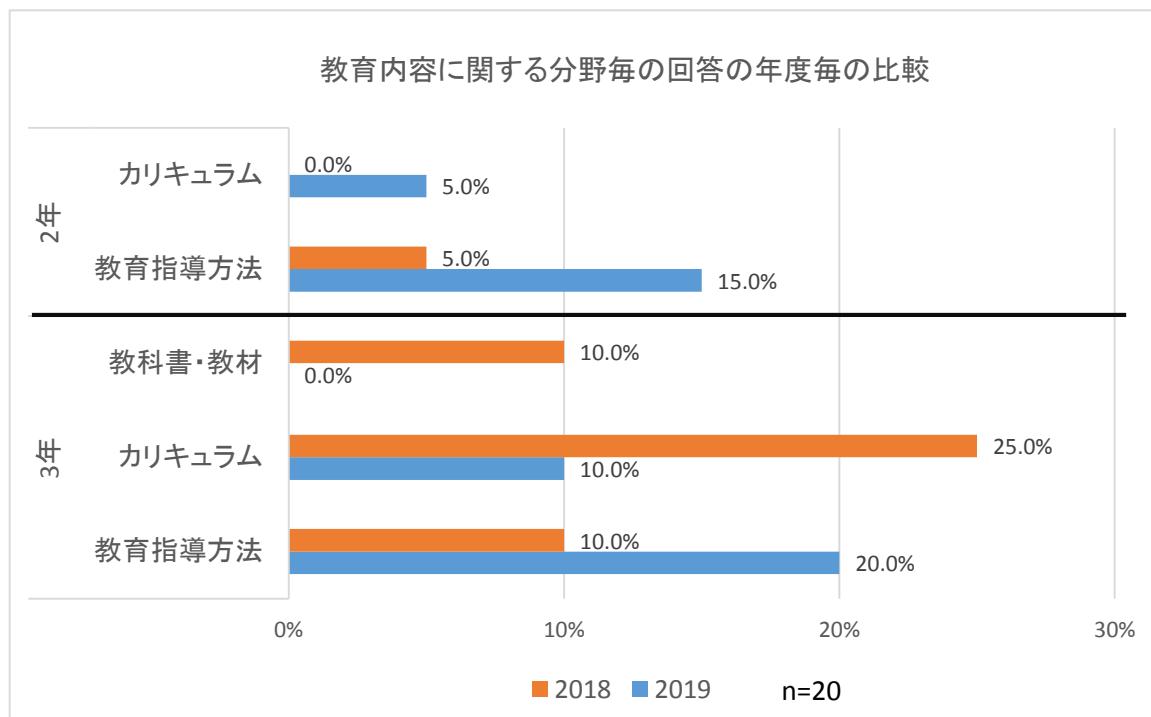


2-2) 教育内容に関する回答内容の内訳

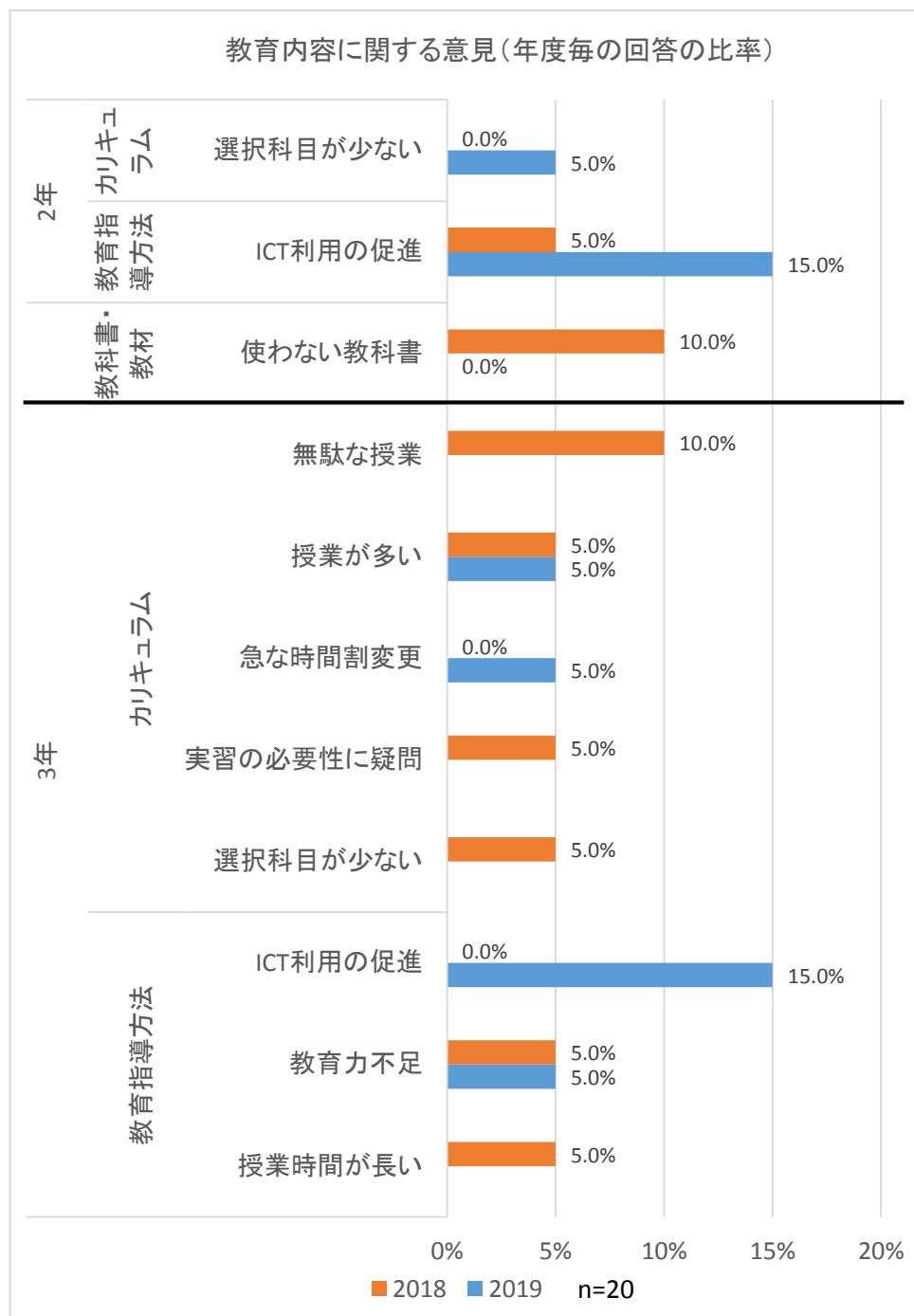
(単位:人)



2-3) 教育内容に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



2-4) 教育内容に関する回答内容の詳細について 2018年度と2019年度の比較



## 2-5) 小括

2018年度2年生、2019年度3年生は同一群である。アンケートの回答数は重複を含み回答者数を意味しないが当該学年の学生数で除し回答率を求める、2年次約2%が3年次約14%と12ポイントあまり増加した。当該群は学修環境に慣れ、いろいろな要求が現れてきた結果であろう。(2-1)

教育内容に関する調査の回答数は、2018年度では10件、2019年度では10件と同数であった。2年生では回答数増、3年生は減少した。2018年度3年生はカリキュラムに対する要望が多い傾向であったが、2019年度では2年生・3年生ともに教育指導方法に関する意見の方が多くなった。(2-2)

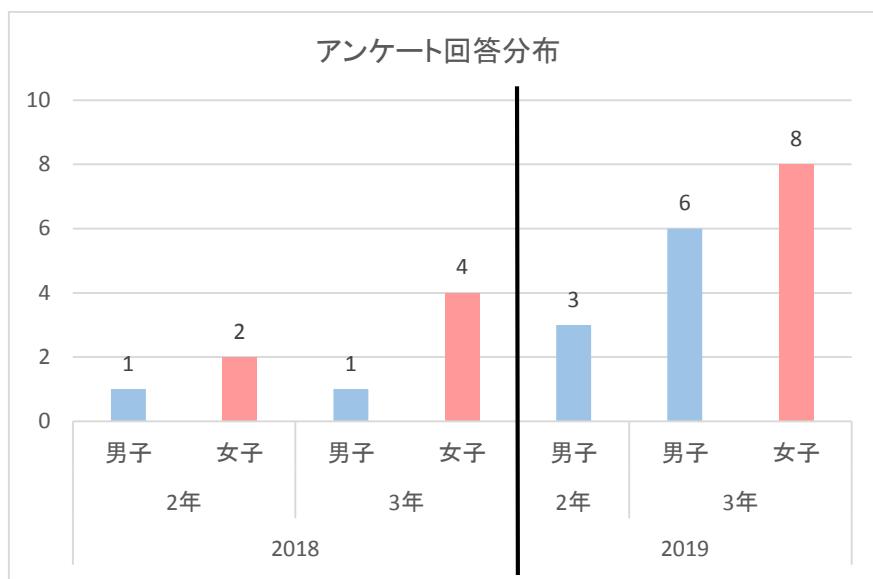
2018年度3年生はカリキュラムに対する意見が多くかったが、2019年度では少なくなり、教育指導方法の方が多く意見がでる結果となった。2年生は全体的に意見が少なかったものの、教育指導方法については意見が出されている。昨年度までの傾向ではカリキュラムに対する意見が多く、本学科のカリキュラム・ポリシーやディプロマポリシーについて、学生の理解が進んでいないことが示唆されていた。しかし、2019年度においてはカリキュラムに関する要望が少なくなってきており、本学科のカリキュラム・ポリシーの学生への周知の効果が現れてきていると考えられる。(2-3)

教育内容に関する調査について、2019年度で多くなった教育指導法に関する意見の詳細回答をみると、2年生、3年生ともに「ICT利用の促進」の意見が全回答の30%を占めていた(n=20)。2018年度の5%から大きく増えており、記述からは「授業資料等の電子データ化」を希望するものがほとんどであった。これは2019年度から医療科学部・保健衛生学部1年生で導入された授業資料配信システムによる授業資料の電子化に影響されているものと考えられた。授業資料配信システムの利用は2019年度以降、新1年生に対して段階的に導入となっているが、在学生についても要望が高ければ導入検討の価値があるかもしれない。また、少數であったが2019年度3年生でも「教育力不足」の意見があり教員の教授法の改善に今後も学科として対応していく必要がある。同様に「急な時間割変更」についてクレームの意見があった。常々、時間割上の「ITH」は授業を実施しないことを表すのではなく、自学自習の時間枠であり授業が開催される可能性があることを説明してはいるが、アルバイトや遊興などの予定をITHの時間割のところで事前に組んでいる学生が多く存在しており、授業変更により自分の予定が狂わされることに不満を感じていると考えられる。近年、台風接近の事前の予報より登校を禁じて授業変更する事例もあり、急な変更が多くなっていることに不満が生じているものと考えられる。学科として、教員都合による授業変更はITHへの移動の前に教員間での授業交代を行うよう対処している。しかし、台風の対応等ではITHを利用せざるを得ない場合があり、学生への理解を求めていく必要がある。また、「カリキュラム」関連の意見は少なくなったが「授業が多い」(5%)という意見があった。昨年度は回答数の16%程の意見であった。医療系大学の特徴でもある本学科の過密なカリキュラムについて、一定程度の理解が得られるようになってきたと考えられる。ただ、大幅なカリキュラム・ポリシーの改訂を行い、大胆なカリキュラム改訂を検討しなければ、これ以上の改善は困難であろう。(2-4)

### 3) 生活環境

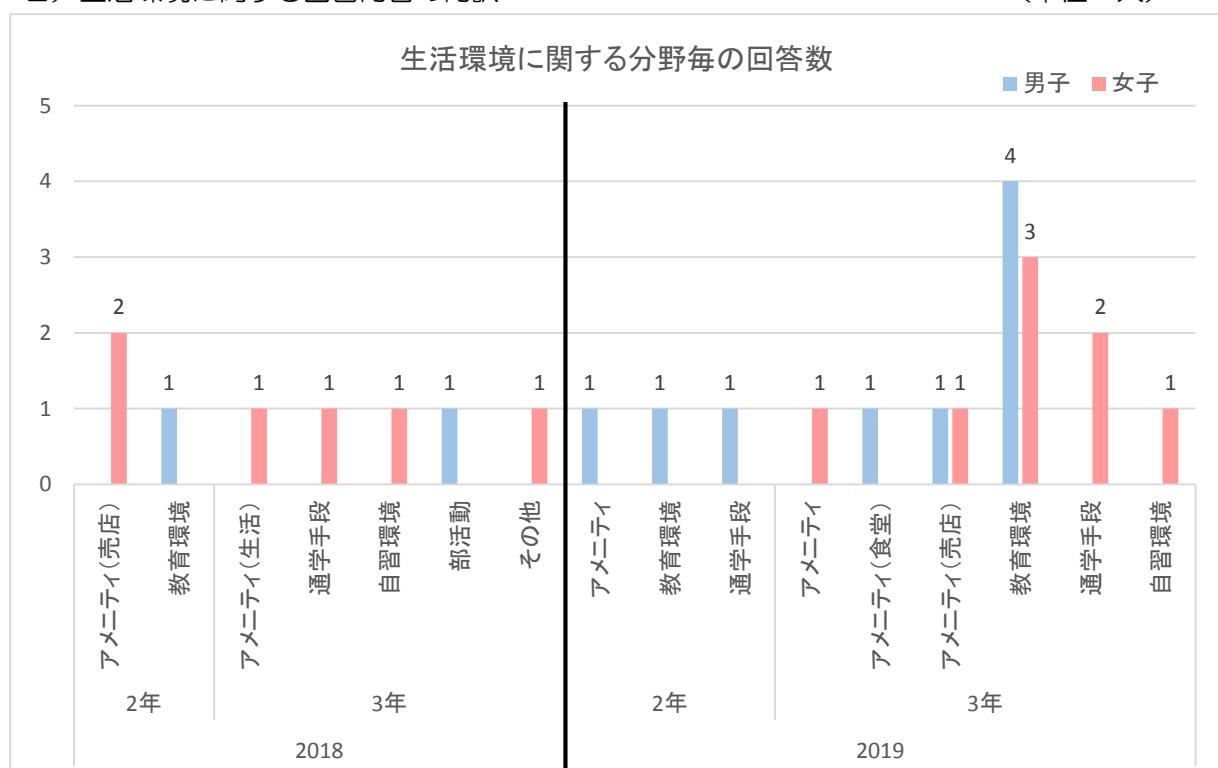
#### 3-1) 回答率

	2018				2019			
	2年		3年		2年		3年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
学生数	19	25	15	19	18	23	18	25
回答数	1	2	1	4	3	0	6	8
回答率	5.3%	8.0%	6.7%	21.1%	16.7%	0.0%	33.3%	32.0%
学年回答率	6.8%		14.7%		7.3%		32.6%	

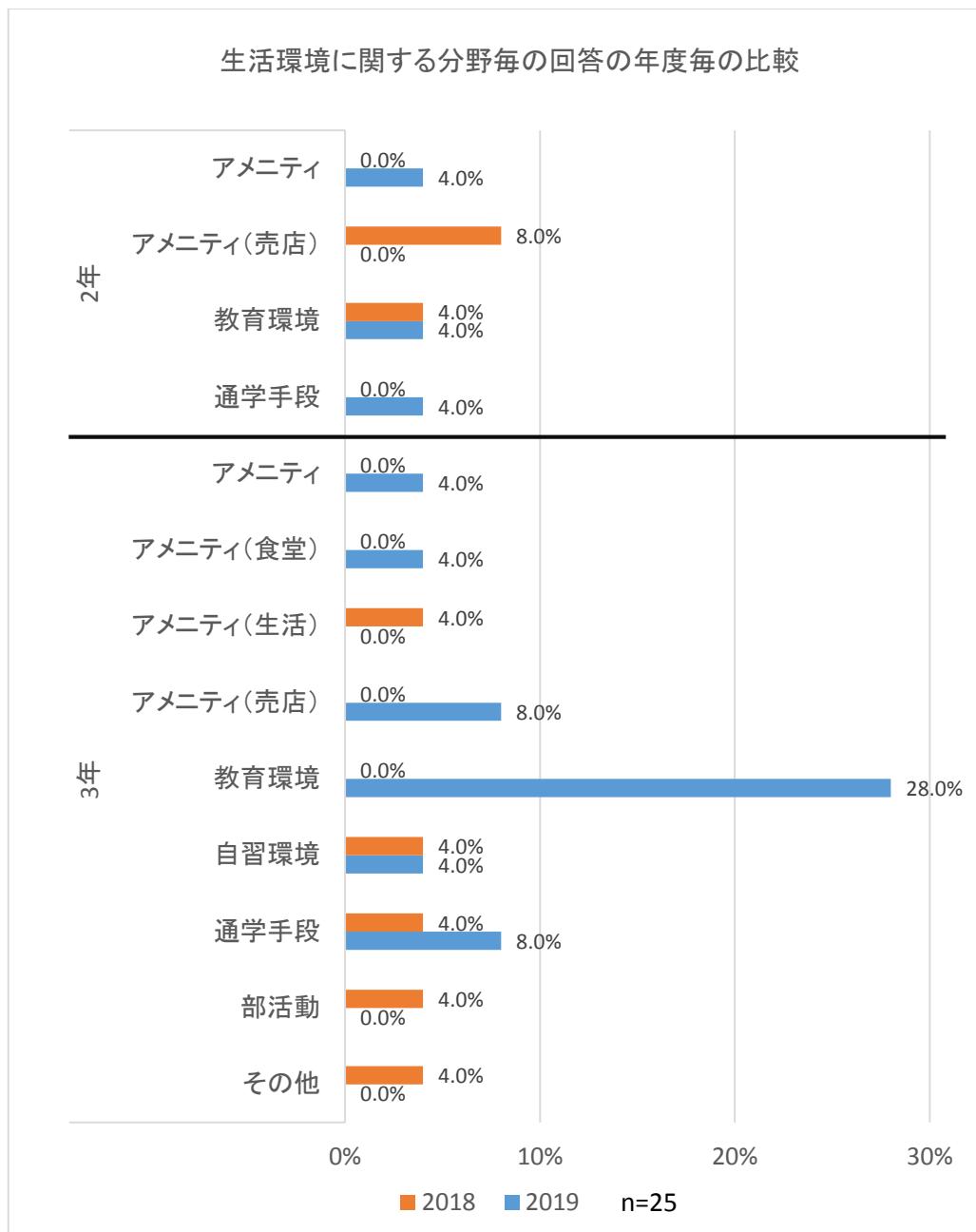


#### 3-2) 生活環境に関する回答内容の内訳

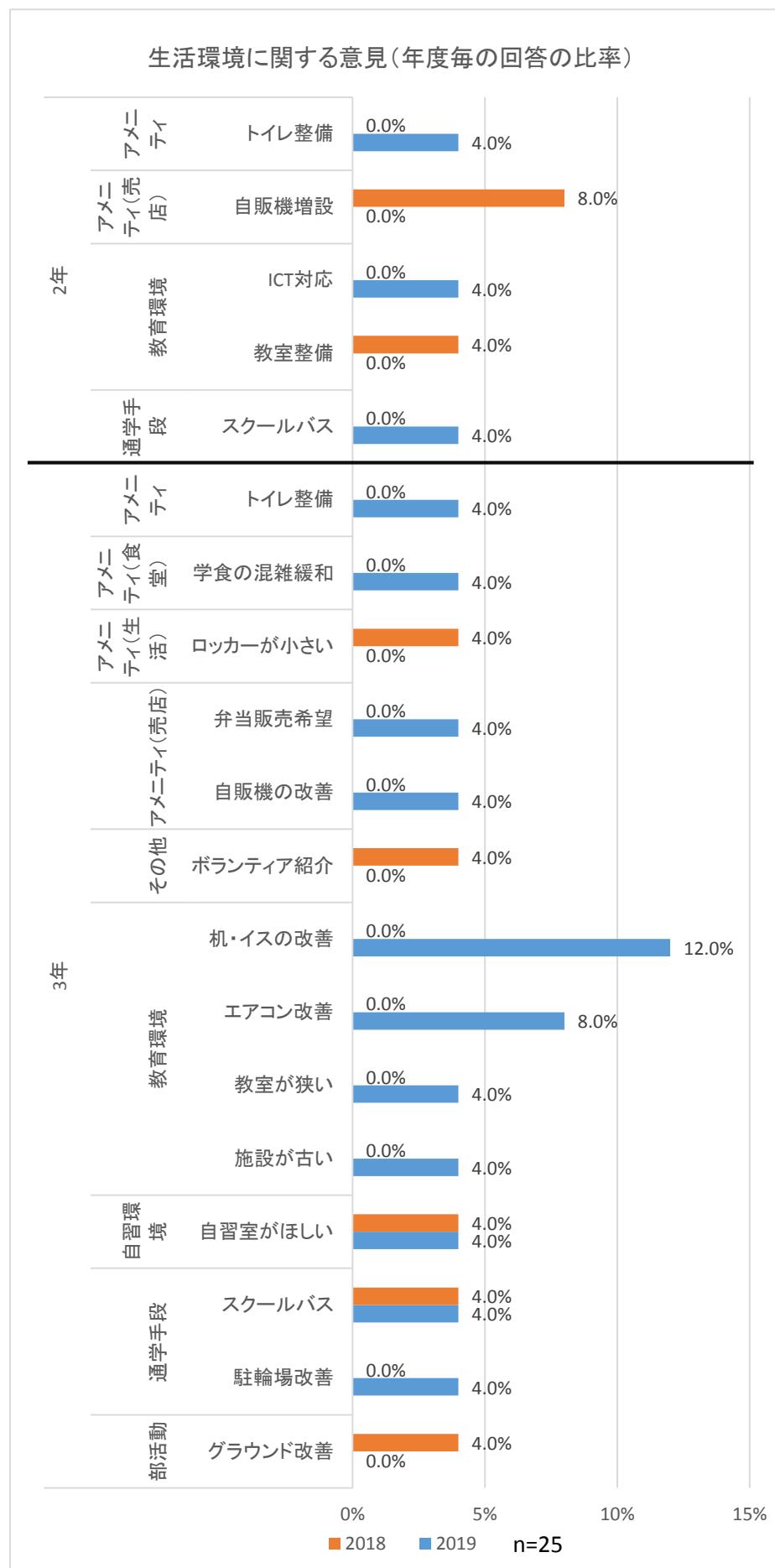
(単位：人)



3-3) 生活環境に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



3-4) 生活環境に関する回答内容の詳細について 2018年度と2019年度の比較



### 3-5) 小括

同一群（2018年度2年生、2019年度3年生）の回答数を比較すると、2年次3件、3年次14件と増加した。2018年度3年生の回答数は5件であり、2019年度3年生の方が多く意見を出だしていた。2年生は、2018年度3件、2019年度3件と同様であった。学園生活に慣れた3年生から、生活環境改善についてより多く要望があると示唆された。（3-1）

2018年度と2019年度を比較すると、2年生は「教育環境」と「アメニティ」についての意見がほぼ同様の傾向、3年生では「アメニティ」と、特に「教育環境」についての意見が多くなった。2018年度の回答は8件、2019年度は17件と生活環境に対する意見は増加した。（3-2）

2018年度と2019年度を合わせて2年生と3年生の意見を比較すると、2年生の意見は全回答の24%、3年生は76%となった。学園生活が長い分だけ生活環境改善の要望があるものと考えられる。（3-3）

生活環境に対する詳細意見をみると、同一群（2018年度2年生・2019年度3年生）からの意見では、「自販機」関連の意見が少なくなり、教育環境関連の意見が多くなった。特に「机・イスの改善」について2019年度3年生から全回答の12%の意見が寄せられた。大学6号館3階、大学7号館2階のPC実習設備においてOAチェアの故障が座面の剥がれが目立っており、修繕・購入の対応が必要である。また「エアコン」についても改善要望があり、特定座席が過剰に寒い・暑いといった事情があるものと推察される。教室設備であり改善は難しいと考えられる。「通学手段」については「スクールバス」の要望が12%あり、過去の調査に比較すれば要望数は減少しているが、根強く要望として挙げられている。大学6号館のトイレは改修されてから3年程しか経過していないが、2018年度では意見がなかった「トイレ整備」の意見が、2019年度は8%となった。設備はまだ綺麗な状態であるが、臭気の問題が発生したことがあり、意見に反映されたと考えられる。その他のアメニティ関連では、「学食の混雑緩和」、「弁当販売希望」などが2019年度に新たに意見が出てきた。3年生で資格試験の対策があり「自習室がほしい」との意見が2018年度と同様に2019年度も意見があった。（3-4）

### 4) 特色

特色についての回答は、2018年度、2019年度ともにゼロ件という結果であった。このため、回答数の表、回答分布グラフ、比較のグラフは割愛する。

### 5) 総括

アンケートの回答群は、2018年度3年生（8回生）、2019年度2年生（10回生）、2018年度2年生と2019年度3年生は同一（9回生）、と3群で構成されている。

教育内容に関する回答について各群の全学生数に対する回答数の割合（回答率）を比較する。3年次の回答率としては8回生26.5%、9回生14.0%とほぼ半減となった。2年次の回答率では、9回生が2.3%に対し10回生は9.8%と増加した。9回生については2年次の回答より3年次の回が10ポイント以上増加した。同一群の回答率が増加した原因としては、2019年度2年生・3年生ともに「教育指導方法」に関する「ICT利用の促進」について要望を挙げる学生が増えたと考えられる。学生は「授業資料等の電子データ化」を希望しており、これには2019年度に医療科学部・保健衛生学部の1年生に導入された授業資料配信システムが影響していると示唆された。「カリキュラム」に対する意見では、8回生ではカリキュラムの過密さやカリキュラム・ポリシーの理解不足からの「授業が多い」「無駄な授業」との意見がみられたが、9回生では「授業が多い」は1件のみとなった。学生へのカリキュ

ラム・ポリシーの周知が浸透してきた効果であろう。また、10回生では「選択科目が少ない」というカリキュラムの自由度の少なさを指摘する建設的な意見がみられた。過去の調査と比較して教員の「教育力不足」の指摘は少なくなってきた。しかし、8回生、9回生で1件ずつ意見が挙げられており、学科として引き続き教員の教育力の改善に努めていきたい。「急な時間割変更」についても昨年度調査より少なくなっているものの、9回生では1件意見が挙げられていた。近年の台風に対する対応などで致し方ない面もあるが、学科として授業変更が生じにくい時間割編成や教員間の調整を行う努力を継続していきたい。

生活環境に関する回答については、2018年度と2019年度を比較すると、2年生は「教育環境」と「アメニティ」についての意見がほぼ同様の傾向、3年生では「アメニティ」と、特に「教育環境」についての意見が多くなった。本学での生活が長くなる3年次にさまざまな意見の回答数が増える傾向がみられた。同一群（2018年度2年生・2019年度3年生）からの意見をみると、特に教育環境関連の意見が多くなった。「机・イスの改善」についてはPC実習設備の老朽化を把握しており早急に対応する必要がある。その他では、過去に比較すれば減少しているものの「スクールバス」の要望は根強い。また、大学6号館のトイレは改修されたばかりだが、2018年度では意見がなかった「トイレ整備」の意見が2019年度には見られた。

特色に関する意見は2018年度と同様に2019年度もなかった。

アンケートの自由回答には特にネガティブな意見はみられなかった。教育内容については、カリキュラムに関する要望は減少傾向、今年度調査では教育指導方法として「ICT利用の促進」を希望する意見が多く挙げられた。生活環境面は教育環境の整備の要望が多く挙げられ、特に「机・イスの改善」についてはPC実習室内設備の老朽化を把握しており、なるべく早急に対応したい。アメニティについても3年次になると要望が多くなる傾向を示したが、早期対応は困難な状況と考えられる。継続的に不満とされる事項は少なくなってきたが、大学側の対応姿勢や考えが学生に見えない状況は、さらに不満を募らせるものと考えられる。大学と学生との間で、思い・考えの交換を活性化させるために、すこしでも大学側が改善を努力し結果を学生に示していく必要があろう。